

帝國議會 貴族院議事速記錄第八號

大正九年七月十二日(月曜日)

午前九時十二分開議

議事日程 第八號 大正九年七月十二日

午前九時開議

公爵德大寺公弘君、侯爵醍醐忠重君、子爵松平康民君、男爵後藤新平君、田邊輝實君、山田春三君、和田維四郎君、下條正雄君、田中源太郎君請暇ノ件

裁判所構成法中改正法律案(政府提出)

第一 後藤新平君、田邊輝實君、山田春三君、和田維四郎君、下條正雄君、田中源太郎君請暇ノ件

定年ニ因ル退職判事檢事ノ恩給ニ關スル法律案(政府提出)

大正八年法律第五號中改正法律案(政府提出)

實業教育費國庫補助法中改正法律案(政府提出)

鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

大正九年勅令第百七十一號(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

大正九年勅令第四十八號(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

明治二十九年法律第十三號中改正法律案(政府提出)

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

(瀬古書記官朗讀)

正三位勳一等功四級 男爵中村雄次郎君

去ル九日願ニ依リ貴族院議員ヲ免セラル
同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

農商務省所管事務政府委員 農商務技師 野間譽雄君

一昨十日豫算委員會ニ於テ決定シタル分科及分科擔當委員ノ氏名左ノ如シ

第一分科(歲入、大藏省、朝鮮總督府、臺灣總督府、關東廳、樺太廳ヲ除ク)

子爵前田利定君 伯爵澤保惠君 伯爵奧平昌恭君

子爵前田安君 仁尾惟茂君

橋本圭三郎君 高田早苗君

安田善三郎君 鎌田勝太郎君

伯爵寺島誠一郎君 淺田德則君 荒井賢太郎君

男爵郷誠之助君 江木翼君 市來乙彥君

伯爵松浦厚君 伯爵寺島誠一郎君 男爵小澤武雄君

子爵酒井忠亮君 子爵伊東祐弘君 河村讓三郎君

石塚英藏君 男爵阪谷芳郎君 男爵船越光之丞君

湯淺倉平君 男爵坂本俊篤君 中村是公君

男爵佐竹義準君 男爵坂本俊篤君 男爵樺本武憲君

伯爵林博太郎君 子爵青木信光君 男爵樺本武憲君

高崎親章君 北里柴三郎君 江木千之君

男爵千秋季隆君 男爵島津久賢君 阪本鉄之助君

伊澤多喜男君 鎌田榮吉君

伯爵松浦厚君 岡田良平君 山之内一次君

高田早苗君

子爵樋口誠康君 大河内正敏君 男爵村上敬次郎君

和田彦次郎君 男爵宇佐川一正君 男爵坂本俊篤君

江木翼君 市來乙彥君

子爵井上匡四郎君 子爵八條隆正君 男爵斯波忠三郎君

子爵牧野忠篤君 若槻禮次郎君

子爵藤村義朗君 鎌田勝太郎君

若槻禮次郎君

星島謹一郎君

鎌田勝太郎君

大正九年勅令第四十八號(承諾ヲ求ムル件)

第五分科(農商務省、遞信省)

子爵井上匡四郎君

淺田徳則君

小松謙次郎君

岡田良平君

男爵平野長祥君

男爵斯波忠三郎君

男爵郷誠之助君

石渡敏一君

星島謹一郎君

兼務

中村圓一郎君

橋本辰一郎君

勝田銀次郎君

子爵大河内正敏君

石塚英藏君

男爵千秋季隆君

男爵藤村義朗君

藤田四郎君

伊澤多喜男君

鎌田榮吉君

安田善三郎君

荒井賢太郎君

子爵稻垣太祥君

圭資君

第三分科(鐵道省、朝鮮總督府、關東廳、臺灣)

中村是公君

男爵福原俊九君

男爵佐竹義準君

男爵藤堂高成君

藤田四郎君

山之内一次君

男爵小澤武雄君

小松謙次郎君

男爵東郷安君

仁尾惟茂君

阪本鉄之助君

湯淺倉平君

同日決算委員分科會ニ於テ當選シタル主査ノ氏名左ノ如シ

第一分科主査子爵本多忠鋒君

第二分科主査男爵若王子文健君

第三分科主査安立綱之君

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

大正九年勅令第八十七號(承諾ヲ求ムル件)特別委員會

委員長伯爵松浦厚君 副委員長服部一三君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

明治二十九年法律第十三號中改正法律案可決報告書

同日議員前田正名君ヨリ三十一名ノ賛成ヲ以テ國運發展ニ適切ナル社會組

織及風俗慣習調査機關設置ニ關スル建議案ヲ發議セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

實業教育費國庫補助法中改正法律案

鐵道敷設法中改正法律案

大正九年勅令第百七十一號(承諾ヲ求ムル件)

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、若槻禮次郎君ニ伺ヒタク存ジマスガ、土曜日ニ御述べニナリマシタ質疑ヲ御繼續ニナリマスカ、モウ濟ンダト考ヘテ宜シウゴザイマスカ
トハマダアルノデアリマスガ、御答辯ガドウモ要領ヲ得マセヌ、肯綮ニ當リマセヌカラ、此以上ニ御尋不申上ゲタ所ガ適當ナ御答ヲ得ルコトハ出來ヌト考ヘマスノデ、私ハ質問ハ止メル積リデゴザイマシタガ、唯總理大臣ノ御言葉ノ中ニ、私ノ云フヤウニスレバ、社會主義者ノ主張ヲバ其儘放任シテ、是ガ取締ヲセナイヤウニシナケレバナラスト仰シヤツタ、其一言ダケハ、私は非一言申上ゲタイト思ヒマシテ、發言ヲ求メタ次第デアリマス、ソレダケヲ此席デ申上ゲテ置キマス、社會主義者ガ、今日ノ教育ガ高等教育ニ偏シテ居ル、物價ノ騰貴ヲ政府ガ助成セラレルノハ、一部ノ富豪ニ媚ビラレル爲デアル、徵兵ガ下等社會ニ片寄ッテ居ルト云フノモ、亦サウ云フ意味デアルト云フコトヲ唱ヘル、社會主義者ガサウ云フコトヲ唱ヘルノダカラ、其事柄ガ若シ格別サウ云フ議論ヲシテモ差支ヘナイト云フコトデアレバ、社會主義者ノ主張ヲ其儘ニ放任シナケレバナラヌコトニナルト、仰セニナリマシタガ、ソレハドウ云フヤウナル論法カラ來ルノデアリマスカ、社會主義者ノ主張其モノハ、私共ハ餘リ感心セナイノデアリマス、私有權ヲ廢メヤウナント云フヤウナ主張ニ至ツテハ、殊ニ私共ハ左様ナコトニ同意スルコトハ出來ナイノデアル、サフ云フコトデ社會ノ組織ヲ亂スト云フコトナラバ、十分御取締ニナルノガ當然デアルト思ヒマスガ、思想ノ動搖スルコトニ付テ大變憂慮シテ居ラル、此貴族院議員諸君ノ前ニ於テ、社會主義ノ取締レスコトニナルト仰シヤルト云フコトハ、大變貴族院ニアツテハ、私ノ申述ベタコトガ、左様ナ過激ナコトデアツタカト云フ感シヲ與ヘルノデアリマス、左様ナコトハ少シモナイノデアリマス、社會主義者ノ主張ノ中デ殊ニ危險ナル主張ガアル、ソレハ固ヨリ御取締ニナラヌケレバナラヌ、併シ社會主義ヲ唱ヘルモノモ人間デアリマスカラ、其人間ノ唱ヘルコトガ悉ク惡イト云フ譯デハナイ、其人ノ言ウテ居ル中ニ道理ノアルコトガアレバ、ソレハ咎メルコトデハナイト思ヒマス、今日ノ教育ガ高等教育ニ偏シテ國民教育ニハ薄イト云フ批評ガ、若シ社會主義者

ノ中カラ出タシテモ、ソレガ事實デアルナラバ之ニ省ミテ矯正ナサルガ宜シイ、是ガ事實デナイナラバ、サウ云フコトハナイト云フコトヲ、仰シヤレバソレデ惑ヒガ解ケルノデアリマス、其事自體ハ何モ差支ナイノデアリマス、サウ云フコトヲ社會主義ガ言ツタカラト云ッテ、其事ヲ引用シタ爲ニ社會主義ノ取締ガ出來ヌト云フコトハ、何所カラ出テ來ルノデアリマスカ、私ドウシテモ了解ガ出來ヌノデアリマス、總理大臣ノ御論法ヲ其儘ニ適用シテ參リマスト云フト、泥棒ガ忠孝ノ道ハドウシテモ之ヲ盡サヌケレバナラヌト云フコトヲ申シタ場合ニ、泥棒ノ口カラ出タカラ忠孝ト云フコトハ良クナイ、危險思想デアルト云フコトヲ、總理大臣ハ仰シャルノデアリマスカ、サウ云フ議論ハドウシテモ出テ來ル筈ハナイト存ジマスガ、私ガ申上ダマシタコトニ付テ、左様ナコトヲ言フト云フト社會主義ノ主張ヲモ其儘放任シテ取締ラヌ、デ置カヌケレバナラヌト云フコトヲ仰セニナルノハ、ドウ云フ次第デサウ云フコトニナルノデアリマスカ、其事柄ヲ私一々御尋ネスルノハ、貴族院ニ於テ斯様ナコトヲ仰シャルノハ、何等カ貴族院議員諸公ノ主張ヲ脅カスカノ如クニシテ、反對ノ議論ヲ抑ヘ付ケルヤウナ御議論デアルヤウニ私ハ思ヒマスノデ、是ハ總理大臣ノ御説明トシテハ誠ニ穩カナラヌト考ヘマスカラ、其點ダケヲ伺ヒタク考ヘテ居ツタノデアリマスガ、土曜日ニハ時間ガナカッタ爲ニ、私ハ止メル積リデアリマシタガ、唯今議長カラ御尋ネニナリマシタカラ此點ダケハ一言御説明ヲ願ヒタイ

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 唯今若櫻君ノ御質問デアリマスルガ、ソレハドウ云フ點ヲ御答ヘイタセバ宜シイノカ判然イタシマセヌケレドモ、私ノ申シタ趣意ヲ重ねテ申セバ御了解ヲ得ルデアラウト思フ、若櫻君ノ御議論デハ、島田三郎君ガ普選問題ヲ提出スル理由トシテ唱ヘタ所ノ、教育ハ上流ニ偏シテ居ルト云ツタ所デ差支ハナイ、物價調節モ上流ニ媚ビテシナイト云ウテモ差支ヘナインカ、斯ウ云フヤウナ御説デアリマス、ソレハ唯唱ヘヤウニ依ツテ、個人トシテ單純ニ唱ヘテ居ル間ニハ、サマデノ危険モ無論ナイデアリマセウケレドモ、左様ナル主義ニ依ツテ階級ヲ打破イタシテ、社會ノ組織ヲ一變イタサナケレバナラヌト云フヤウナル結論ヲ見ルガ如キ議論ヲ、普選ノ理由ト致スト云フコトハ、甚ダ不穏ナリト私ハ考ヘタノデアリマス、若シ其主張ヲ擴

メマシテ、段々國民ノ誤解ヲ釀スニ至リマシタナラバ、實ニ危險ナル結果ヲ生ジハシナイカト悶レルノデアリマス、ソレ故ニ私ハ是ハ普通選舉ヲ今日實施スルト云フコトハ、議論ノ上ニ於テ同意ノ出來ナイノミナラズ、此趣意ハ甚ダ國家ノ爲ニ不穏ナリト私ハ認メテ、解散ノ理由ノ一ニ數ヘタト云フコトヲ説明イタシタノデ、ソレニ對シテ若櫻君ハ、教育ハ上流ニ偏スルト云ウテモ差支ナイ、物價調節ハ上流ニ偏スルガ爲ニ調節ヲシナイト云フコトモ差支ナシ、徵兵ハ上流ハ免ル、虞ガアルト云ツテモ差支ナイト云フ御議論デアルナラバ、サウ云フ御説デアルナラバ、何ヲ言ウテモ差支ナイト云フコトニ相成リハシマスマイカ、ソレナラバ假ニ社會主義者ガ色々唱ヘテ居ツテ、唱ヘテ居ル分ニハ差支ナイジャナイカト云フコトニ考ヘマスルガ、凡ソ議會ヲ解散スル、國民ノ思想ヲドウスルト云フコトハ、皆總テ乾燥無味ナル法律論ニアラズシテ政治問題デアル、此政治ハ活キタ社會ニ處シテ相當ナル道ヲ執ラナケレバナラヌカラ、假リニ上述ノ論ヲ單ニ唱ヘテ居ル間差支アルマイト云フヤウナコトデ、之ヲ律スルコトハ出來ナイト云フ趣意ヲ申シタノデアリマス此趣意ニ依ツテ御了解ヲ願ヒタイ

○若櫻禮次郎君 唯今總理大臣ノ御話ヲ伺ヒマシテ、ドウシテモ今一遍御尋ねシナケレバナラヌコトニナツタノデアリマス、日本ノ今日ノ教育ハ高等教育ニ偏シテ居ルト云フダケノ批評カラシテ、何所カラソレガ危險ナル思想デアルト云フコトマデ論結シナケレバナラヌノデアリマスカ、總理大臣ハ、高等教育ニ偏シテ居ルト云ツタカラ、ドウシテモ共產主義ニマデ結論シナケレバナラヌト云フコトニナルカラ、危險ダト仰シャル、物價調節ヲ政府ガ怠ツテ居ラル、之ニ付テハ私ドモ一兩人バカリデハナイノデアリマス、殆ド天下ノ者皆囂々トシテ一日モ速カニ調節ヲ望ンダノデアリマス、貴族院ノ議員諸公有志モ、政府ニ向ツテ勸告ヲナサレタノデアリマス、ソレ位ノ問題ニ付テスラ政府ハ之ヲ實行ナサラヌカラ、何カ何所カラ憚ツテ實行ナサラヌデアラウ、斯ウ云ウタ所デ、其事が危險思想ニナルノデアリマスカ、私ハ總理大臣ノ御論ハ、丸デ關係ノナイ所ニ持ツテ行ツテ意味ヲ附ケテ、ソレガ危險デアルト云フヤウニ仰セニナルト思フ、徵兵ガ上流ノ者ニ少クテ、下層階級ノ方ニドモ、左様ナル主義ニ依ツテ階級ヲ打破イタシテ、社會ノ組織ヲ一變イタサナケレバナラヌト云フヤウナル結論ヲ見ルガ如キ議論ヲ、普選ノ理由ト致スト云フコトハ、甚ダ不穏ナリト私ハ考ヘタノデアリマス、若シ其主張ヲ擴

ルト云フコトニナルトハ、ドウ云フコトデアリマスカ、私ニハドウシテモ分
ラヌノデアリマスガ、同ジコトヲ繰返スヤウニナツテハ却ツテイケマセヌカラ、
同ジ御答辯デアリマシタナラバ是ダケデ宜シイノデアリマス、唯先達テ申上
ゲマシタ通り、大蔵大臣ハ此度所得税ノ改正案ヲ御提出ニナツテ、是マデハ税

ナル議論トハ見ナイノデアリマス、説ハ付ケヤウニ依ツテ色ミアリマスルケレドモ、此精神ニハ私ハ御同意ガ出來ナイノデアリマス、ソレカラ先キハ御議論ガ違ツテ居ルト思ヒマス、從ツテ御答ハイタシマセヌ

ゲマシタ通ツ、大藏大臣ハ此度所得税ノ改正案ヲ御提出ニガテ是マテハ稅

カ擔税能力ニ比例シテ居ナイ、期ウニコトニ仰シヤ、夕其言葉ニモウ一
ツ言葉ヲ換ヘテ申セバ、現在ノ課税ハ上ノ方ノ者ニハ割合ニ輕ク、下層ノ者
ニハ割合ニ重イ、是ガイケヌカラ改正スルト云フ御論デアラウト思フ、此

〔男爵目賀田種太郎君發言ヲ求ム〕
○議長（公爵徳川家達君）　阪本彰之助君ヲ
ス、

批評ヲシタノト、何所ガ違フノデアリマスカ、教育ノコトヲ批評スルノガ社會ニ對シテ危險ダト仰シャルナラバ、大藏大臣ノ其御説明モ危險ナ説ト云ハナケレバナラヌ、ソンナ可笑シナ論法ハアルベキモノデナイト思フ、大藏大臣ノ御説明ハ、私ドモハ大藏大臣トシテ當然ナコトヲ御話ニナッテ居ルト思フ、ソレヲ御考ヘニナツタナラバ、島田君ノ言フタコトガ、私ドモ此議場ニ於テ御尋ネスルコトハ、何等差支ナイコトデアルト云フコトハ、御分リニナラウト思フ、ソレヲ理由トシテ議會解散ヲナサレタト云フコトデアルカラ、議會解散ノ不當ダフン、云フコトハ、金、用意ニシツタム、ム、思フ、デマリマス、

卷之三

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（原敬君）　若櫻君ノ御議論デアリマスガ、是ハ私トハ說ヲ異ニシテ居ル、幾ラ質問應答ヲ重ネマシテモ一致ハ見出サヌカモ知レマセヌガ、私ノ申シタ趣意ハ、教育ハ上流ニ偏シテ居ルト論ジタ所デ、ソレダケノコトデハ危險ハアリマスマイ、又物價調節ハ上流ニ偏シテ居ルト論ズル人ガアリマシタ所デ、ソコダケノ間ニハ危險ハアリマセヌ、徵兵ハ上流ニ偏シテ居ル虞レガアルト言ツタ所デ、ソレヲ唱ヘテ居ルソコダケノ意味ニ於テハ危險ハアリマスママイガ、斯様ナ虞レガアルガ故ニ由ツテ以テ階級ヲ打破モシナケレバナラヌ、階級ヲ打破スルガ爲ニハ普通選舉ニシテ……普通選舉ヲ行ウテ多數ノ國民ノ力ニ依リ、此階級ヲ打破スルト云フ結論ニ歸著スル順序トシテ唱ヘタ議論ニモ、不穩ノ意味ハナイト云フ御議論デアリマス、是ハ見解ハ違フノデアリマス、御答ヲ致シタ所デ一致ヲ見出シ難イト考ヘマス、併シナガラ私ハ斯様ナ趣旨ニ依ツテ階級ヲ打破シ、現在ノ社會ノ組織ニ脅威ヲ加ヘルヤウナ理由ニ依ツテ普通選舉ヲ實行シヤウト云フナラバ、我ミハ之ヲ決シテ穩當

○議長（公爵徳川家達君） 唯今阪本君ノ御名ヲ呼ビマシタ後トデ、目賀田男爵ガ發言權ヲ求メラレマシタカラ、阪本君ノ御名ヲ呼ビマシタカラ後デ願ヒタイト申シマシタガ、阪本君ハ外務大臣ガ出席セラレネバ、質疑ハサレナイト云フコトデゴザイマスカラ、此際目賀田男爵ニ發言ヲ許サウト考ヘマス

〔阪本彰之助君演壇ヲ降ル〕

○男爵目賀田種太郎君 前日財政當局ニ質問イタシマシタニ對シテ、大藏大臣ハ後トデ答ヘルト云フコトデゴザイマシタ、此際御答ヲ願ヒタイト思ヒマスカラ、大藏大臣ノ説明ヲ願ヒタイノデアリマス

〔國務大臣男爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

〔阪本釤之助君演壇ヲ登ル〕
（公爵徳川家達君） 唯今阪本
發言權ヲ求メラレマシタカラ、
申シマシタガ、阪本君ハ外務大
トデゴザイマスカラ、此際目
〔阪本彰之助君演壇ヲ降ル〕
高日賀田種太郎君 前日財政當
及トデ答ヘルト云フコトデゴザ
、大藏大臣ノ説明ヲ願ヒタイ
〔國務大臣男爵高橋是清君演

○男爵目賀田種太郎君 前日財政當局ニ質問イタシマシタニ對シテ、大藏大臣ハ後トデ答ヘルト云フコトデゴザイマシタ、此際御答ヲ願ヒタイト思ヒマスカラ、大藏大臣ノ説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○國務大臣(男爵高橋是清君) 先日目賀田男爵ノ御尋ノ終リノ所ハ、憲法ト
會計法トニ基イテノ御尋デアリマシタガ、其意味ガヨク私ニ判リマセヌノデ、
ドウカ其御尋ノ要點ヲモ一度承ハリタイノデアリマスルガ、若シ憲法ノ解釋
トカ會計法ノ解釋トカ云フ、法律ノ解釋トカ研究トカ云フコトニナリマスト、
私ハ其方ハ甚ダ不得手デス、法律ノ研究ノコトニ付キマシテハ……ドウ云フ
點ニ付テ大藏大臣ニ御尋ネニナルノデアリマスカ、要點ヲ簡明ニ更ニ御述べ
ヲ願ヒタインデアリマス

○男爵自賀田種太郎君　登壇イタシマス

〔男爵目賀田種太郎君演壇ニ登ル〕

○男爵目賀田種太郎君　本員が前日財政當局ニ御尋ねイタシマシタノハ、近來憲法ノ施行ニ付テ、兎角行政ガ之ニ率由セザルヤウナ感ガアル、無論申ス迄モナク憲法ハ行政殊ニ財政ノ大基準デアル、示ス所ガゴザイマス、施行ノ標準デアル、其一トシテ例ヘバ歳入ノ算定ノ如キハ、憲法ノ趣意ニ依レバ、適實ニ調査セラレ剩餘ノ出ナイヤウニナルベキガ當然デハナイカ、又追加豫

算ナルモノハ元來憲法ニハ規定ハナイ、會計法ノ五條ニ依ツテ規定シテアル、

五條ノ二項ニ於テ規定シテアル、全ク其年ノ測リ知ルベカラザル經費カ、或ハ法律契約ニ定メタル經費ノ不足ニ對シ提出セラルベキモノデアル、ソレ故ニ憲法ニ於テハ追加豫算ノコトハ規定ハナイ、所ガ追加豫算ガ出テ、之ニ繼續費ヲ包含スルトキハ憲法六十八條ヲ適用セニヤナラヌガ、豫算ハ會計法ニ

依ツテ提出シテ、其動キハ憲法ニ據ルノデスガ、ソレハドウモ少々分リ難イガマセヌ、元來憲法ハ財政ニ對スル施行標準ナルガ故ニ、一言伺ツテ置キタイ、ト云フコトデアリマス

マセヌ、元來憲法ハ財政ニ對スル施行標準ナルガ故ニ、一言伺ツテ置キタイ、斯ウ申シタノデアリマス

〔國務大臣男爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵高橋是清君) 唯今ノ御尋ハ、私モ目賀田男爵ト同ジヤウニ考ヘテ居リマスルガ、憲法ノ上デ求ムレバ六十八條「特別ノ須要ニ因リ政府ハ豫メ年限ヲ定メ繼續費トシテ帝國議會ノ協贊ヲ求ムルコトヲ得」繼續事業ニ付テ此臨時議會ニ追加豫算ヲ提出シマシタノハ、憲法ニ付テハ何ヲ基礎トルカト申セバ、唯今御詰ノ六十八條ニ依ツテアリマス、繼續事業ニ付キマシテハ……ソレカラ追加豫算ノコトハ全ク會計法第五條ニ依ル「必要避クヘカラサル經費及法律又ハ契約ニ基ツク經費ニ不足ヲ生ジタル場合ノ外追加豫算ヲ提出スルコトヲ得ス」、之ニ從ツタ、即チ必要避クベカラザル經費ヲ追加豫算ニ計上シタノデアリマシテ、而シテ此繼續事業ニ關ハルモノハ此憲法ノ唯今申シタ條項ニ依ツテ提出シタト、斯ウ考ヘテ居リマス、左様御承知ヲ……○男爵目賀田種太郎君 最後ノ所ガチヨット小聲デ聽エ惡ウゴザイマシタガ、モウ一遍御説明……

〔國務大臣男爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵高橋是清君) 御尋ノ追加豫算ニ於テ繼續事業ノコトヲ掲ゲマスノハ、憲法ニハ追加豫算ノコトハナイ、サウシテ繼續事業ノ計畫ヲ追加豫算ニ上セマシタノハ、憲法第六十八條デスカ、ソレニデスナ「特別ノ須要ニ因リ政府ハ豫メ年限ヲ定メ繼續費トシテ帝國議會ノ協贊ヲ求ムルコトヲ得」トスウ書イテアリマス、是ハ通常議會ニ出ス豫算ニ限ルトモ書イテアリマセヌ、追加豫算ニ掲ゲテハナラヌト云フ意味ニモナツテ居ラヌ、既ニ追加豫算ヲ會計法第五條ニ依ツテ出シマスル以上ハ、即チ其ノ追加豫算ニ繼續事業ノ計畫ヲ掲グルコトハ何等憲法ノ上ニ於テ差支ナイ、斯ウ解釋ヲ致シテ居リ

マス

○阪本鉄之助君 巳ムヲ得マセヌカラ、登壇ハ御許シヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 質疑ヲシテ居ラル、中ニ外務大臣ガ來ラルレバ宜シウゴザイマスガ……

○阪本鉄之助君 來マセナングラ又保留シテ置キマス、兎ニ角……

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス、阪本鉄之助君

〔阪本鉄之助君演壇ニ登ル〕

○阪本鉄之助君 諸君、尼港問題ノ責任ノ有無ニ付キマシテ、數日間質問應答ガアリマシタガ、本員ハ初メヨリ當局ニ責有リト認メテ居リマスルガ故ニ是ニ付テ最早質問ノ要ハ無イト存ジマスノデアリマス、唯事ノ官紀ニ關シ、又

將來ニ及ボシマスルト存ゼラレマス事柄ニ付テ、二三當局大臣ニ御尋ネシテ見タイト存ジマスノデアリマス、多クハ海軍ノ方面ニ向ツテ御尋ネヲ致スノデアリマスルガ、是ニ先ダチマシテ、一言外務大臣ニ御尋ネヲ致シタノデアリマスルガ、マダ御出席ガアリマセヌカラ、已ムヲ得ズ後ニ廻シマシテ進ミマスルデアリマス、一昨年ノ九月尼港ノ陸戰隊ト歩兵ノ第二十四聯隊ノ二箇中隊アリマスルガ、マダ御出席ガアリマセヌカラ、切メテ砲艦ノ一隻ナリトモ尼港ニ留メテ貴ヒタイト云フ要求ガアッタ、所ガ海軍側ハ之ニ應ジナカッタト云フコトヲ聞イテ居リマスルガ、是ハ虛實如何カ存ジマセヌガ、果シテ眞ナリトセバ、ドウ云フ御詮議振リデアッタノデアリマセウカ、而シテ昨年ノ五月、此二十四聯隊ノ二箇中隊ト、新ニ第二聯隊ノ二個中隊トガ交代ヲ致シマシテ殆ド是ト同時ニ又海軍ノ方カラハ、再び第三艦隊ノ主力ト第三水雷艇隊ト尼港ニ派遣サレテ守備ノ任ニ當ラレタト申スコトデアリマス、ソレニ拘ハラズ十月中旬即チ結水前ニ當リマシテ、艦隊ヲ總テ撤退セラレタノハドウ云フ理由デアリマセウカ、前ノ陸軍ノ守備隊ハ戰時編成デアリマシタノデ、兵數モ二個中隊トハ申シナガラ約六百、ソレニ機關銃ガ四ツ附イテ居ツタコトデアリマスルガ、後ニ交代イタシタ守備隊ハ、平時ノ編成ニ改メマシテ其兵數ハ三百ニ減ジマシタ、機關銃モ二ツト云フコトニナツタト申スコトデアリマシテ、甚ダ手薄ニ相成リマシタニ拘ハラズ、海軍ハサツサト艦隊ヲ撤退セラレテ、之ニ協力セラレナカッタト云フコトハ如何ナル事情ガ存スルノデアリマセウカ、又聞ク所ニ依リマスルト、昨年ノ夏、尼港在留邦人ノ王トモ稱セラレテ居ル所ノ島田某

ガ上京ノ際ニ、冬季結氷中ニハ餘程尼港ハ危險ニ陥ル。デアラウ、甚ダ之ヲ憂慮スルカラ、ドウカ相當ノ措置ヲ執ッテ貰ヒタイト云フコトヲ、當局ニ向ッテ力說イタシタルト云フコトヲ傳聞イタシテ居リマスルガ、當局ハ一向之ニ耳ヲ假サズ、等閑ニ付セラレタト云フヤウニ存ジマスルガ、是ハドウ云フコトデアリマセウカ、是ハ無論陸海共通ノコトデアリマスルガ、兎ニ角此島田某ハ尼港ニ於テ最モ有力ナル位置ヲ占メ、又其言フ所ハ信ズベキモノデアルダウト存ジマスルガ、ソレ等ガ懇願ヲ致スコトニ多少ノ耳ヲ御傾ケニナッタナラバ、今日ノ如キ慘状モ、或ハ免カレルコトガ出來ヤシナカツカト存ジマスルガ、是等ノ言ニハ耳ヲ御假シガナカツタノハ、是ハドウ云フ次第デアッタノデアリマセウカ、先月二十三日ニ至リマシテ、陸軍省海軍省ノ名ヲ以テ發表セラレマシタ所ノ印刷物、即チ此第一ト申ス所ニ書イテアリマスル、其末文ニ「我艦隊八月中旬結氷直前尼港方面ヲ撤退ス云々」其ノ第二ノ末文ニハ「又臨時海軍派遣隊ハ哈府ヲ根據トシ黒龍江系上流水路ニ活動シテ陸軍トノ協同作戦ニ從事セリ」斯様ニ書イテアリマス、即チ黒龍江系上流水路デ活動サレ、且ツ陸軍ト協同作戦ニ從事セラレタト云フコトデアリマス、是ハドウ云フ活動ヲ爲サレ、ドウ云フ協同作戦ヲ爲サレタノデアリマセウカ、是ガ尼港ト如何ナル關係ヲ持ッテ居ルノデアリマスルカト云フコトヲ、主トシテ御尋ネイタシタイ、臨時海軍派遣隊ト申スノハ、蓋シ露國カラ捕獲セラレタ所ノ河用砲艦ヲ基頓トスルモノデアルカト想像イタシマスルガ是ハ相應ニ優勢ナモノデアリマシテ、用ヲ爲スモノデアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、此即チ派遣隊ガ「ハバロフスク」ニ固著セズニ、結氷前ニ早ク尼港ノ方ヘ幾分ナリトモ廻航イタシテ、守備ニ任ゼラレテ居ツタナラバ、今回ノ事件ニ對シテハ如何ニ有力ナ援護ニナツテ居ッタデアラウカト云フコトヲ、今更ナガラ遺憾ニ存ジマスル同時ニ、當局ノ意思ノ存スル所ヲ知ルニ甚ダ苦ムノデアリマス、元來私共素人ノ見マスル所ニ依リマシテ、交通ノ便利デアル解氷期中ナラバ、多少陸上トモ致方ガナイ、即チ今回ノ事件ニ付テハ政府側ハ不可抗力デ有ル無イト云シ得ルカモ知レマセヌガ、結氷ヲ致シテ海陸共ニ交通ノ止マテ居ル時ニ如何ニ至テ、初メテ尼港ノ危急ナル報告ニ政府ハ接シタ、斯ウ云フコトガ書イ

ガ頗ル不便デアル、然ルニ其時ニハ海軍ハサツサト引揚ゲテシマッテ、陸上ニズット手薄ノ兵ホカ置イテ置カヌト云フコトハ、常識ノ判断トシテ洵ニ分ラヌコトデアルト存ジマスルガ、而モ哈府ノ附近ニハ河用砲艦ガ居リマシテ、此「ニコラエウスク」附近ニ分遣セラレナカツタノデアルカ、偶然トハ申シナガラ支那ノ淺吃水砲艦隊ガ、此報告書ニモアリマスルガ、十月下旬ニ黒龍江ヲ溯ラムト致シテ哈府ノ下流ニテ露軍ニ妨グラマシテ、再ビ尼港ニ歸港イタシテ冬營ヲ致シテ居ツタト云フコトデアリマス、此支那ノ軍艦ガ尼港附近ニ冬營イタシテ居ルコトガ出來ルナラバ、日本ノ軍艦ガ其邊ニ來テ冬營スルコトガ出來ナイト云フコトハナيدラウト私ハ思ヒマスガ、如何ナルモノデアリマセウカ、事ノ序ニ伺ツテ見タイト思ヒマスガ、此支那ノ艦隊ナルモノデ・艦隊ト申スホドモナイカ知レマセヌガ、支那砲艦ガ事變ニ際シテ陸上ニ向ツテ發砲イタシテ我軍及ビ居留民ニ危害ヲ加ヘタト云フ説ガ一時專ラ傳リマシタガ、今日ハ一向杳トシテ其消息ヲ聞キマセヌ、此「尼港事件ノ顛末」ト題スル政府ノ報告書ニモ、此事ハ何等記載ガ見エマセヌガ、是ハドウ云フコトデアリマカ、全ク虛構ノ事デアリマシタラウカ、或ハ御都合ガアッテ暫ラク引ッ込マシテ御置キニナルノデアリマセウカ、是モ相叶ヒマスレバ承ハリタイノデアリマス、扱本年ノ一月ト相成リマシテハ最早大事既ニ去レリ、先キニ外務大臣ニ御尋ネシマシタコトハ是ニ關係イタスノデアリマスカラ、後ニ申シマスガ、其時分ニ石田副領事カラモ度々情報ガアリ、此處デ申述ベマスコトハシガ、即チ海軍側ノ三宅海軍中佐ヨリ……少佐デアリマス、海軍軍令部長ニ向ツテ屢々此尼港ノ危急ナルコトヲ報告セラレ、陸戰隊派遣ヲ希望シテ、其即チ上陸ハスノ如キ地點デ御ヤリニナリ、斯ウ云フ道ヲ取ツテ御出ニナレバ、尼港ニ達セラレヌコトハナイト云フ意見ヲモ具申シテ來タト聞イテ居リマスガ、之ニ對シテ此即チ陸海軍省ノ公表ニ依リマスルト、少シコ、ハ先程外務大臣ニ御尋ネシテ居ラヌカラ判明ヲ缺キマスガ、一月七日ニ石田副領事ガ電信ヲ發シテ、頗ル尼港ハ危險ノ狀態ニ近ヅキツ、アルカラ居留民ヲ引揚ゲサセタイト思フ、今ノ中ナラバ十分ソレノ出來ル見込ガアルカラ、折返シテ訓電ヲ請フト云フコトヲ外務大臣ニ申シ來タツタト云フコトヲ承ハッテ居ルノデアリマスガ、其事ハ此報告書ニハント見エテ居ラヌ、唯一月二十四日及ビ二十六日ニ至ツテ、初メテ尼港ノ危急ナル報告ニ政府ハ接シタ、斯ウ云フコトガ書イ

テアルノデアリマス、ソレニ至ッテ「我ガ海軍ハ……二月上旬軍艦三笠及ビ見島ヲ亞港方面ニ行動セシメ」云々ト書イテアリマス、本員ハ此間ニ頗ル疑團ヲ懷ク者デアリマス、本員ノ竊ニ聞ク所ニ依リマスト、當時海軍部内ニ於テハニ三回モ會議ヲ開カレマシテ、即時救援軍ヲ派遣スルガ必要デアルト云フコトヲ主張スル人ハ、多クハ少壯若シクハ露國事情ニ通ジテ居ル將校方デ、此人ハ即時救援軍派遣説ヲ主張セラレタト云フヤウニ漏レ聞キマシタ、所ガ形勢觀望、先づ暫ク此儘見ヤウデハナイカト云フ説ト、兩説相鬭ッテ容易ニ決定シナイ、彼此スル中ニ遂ニ機宜ヲ失タト云フコトヲ傳聞イタシテ居リマスガ、此間ノ消息ニ付テ當局ハ如何ナル御感覺ガアリマスカ、一月七日ト云フノニ石田副領事カラ居留民引揚ノコトヲ訓電ヲ請ハレタト云フ消息ガ、外務省ト海軍省トノ間ニ敏捷ニ氣脈ガ通ジテ居ル、此即チ一月七日ノ副領事ノ電報ナルモノガ徹底イタシテ居ツテ、此時直チニ居留民ハ引揚ゲ、後ハ相當ノ處置ヲ執ラレタナラバ、少クモ居留民モ無事ニ助カリ、又守備兵モ相當ノ行動ガ執レタノデハナイカト存ジマスガ、是カラ起算イタシマスト、二月上旬ト申シマスト、居留民引揚ノ必要ヲ感ジタ以來、一箇月ヲ經タ後ニ漸ク軍艦派遣ノコトヲ決行イタサレタノデ、甚ダ手緩キ處置ト考ヘマズ、而モ十分ナルジヤナイ、全ク救助スルコトガ出來ナカッタノデアリマス、此即チノデアリマセウカ、是ハ海軍省側トシテ伺ッテ置キタイノデアリマス、尙其後新聞ヲ見マスト、「オコック」方面ニ於テモ「バルチザン」ガ跳梁イタシテ、我國ノ出稼人工場等ヲ燒拂ヒ、相當ノ慘狀ヲ呈シテ居ルコトヲ認メタ者ガアルト云フコトデアリマスガ、是ハ其後政府ニハ何カ報告ニナッテ居ルコト、存ジマスガ、是ハドウ云フコトデアリマセウカ、又之ニ付テ防備ヲ如何ニナサレタカト云フコトヲ併セテ承ハリタイノデアリマス、外務大臣ガ御出席ニナリ、唯一箇條ヲ承ハル爲ニ御多用中ニ御出席ヲ煩ハシテ甚ダ恐縮ニ存ジマスガ、是ハ重大ナル關係ガアルコト、存ジマス故ニ、是非一應伺テ置キタイノデアリマス、唯今端緒ヲ申シマシタ即チ本年一月七日ニ、尼港ノ石田副領事ノ發シタ電信ナルモノハ外務大臣ハ之ヲ御接受ガアッタカナイカ、斯ウ云フコトヲ承ハリタイノデアリマス、此即チ報告書ニゴザイマセズ、又是ハ陸海軍省ノ報告書デアリマシテ外務ノ事ハ御書キニナラナンダト云フコトデアルカ

モ知レマセヌ、或ハソレハ知ラヌト仰シャルカモ知レマセヌガ、是ハ十分ニ一つ責任ヲ以テ御答ヲ願ヒタイ、即チ其電報ナルモノハ、昨年十月頃カラ尼港ハ西比利亞ト薩哈連州ノ過激派ノ夾撃ヲ受ケテ、形勢刻々危險ガ切迫シテ居ルノデアルト石田副領事ハ認メテ、今ノ中ニ在留邦人ハ全部引揚ヲ決行シナケレバ、如何ナル悲慘ノ状態ニ陥ルモ測リ知ルコトガ出來ナイ、尙ホ直チニ引揚ゲテ差支ナイノデアルナラバ其方法ハアルノデアルカラ、折返シテ訓電ヲ待ツト云フコトヲ申出タト云フコトデアリマス、所ガ其筋デハ當時事態ヲ輕ク見テ御居デニナッタノデアリマスカ、追テ何等カ訓電ヲスルカラソレマニ機宜ノ處置ヲ執ツテ居レト云フ返電ガ參ッテ、其儘ニ過去ラレテ、即チ此報告書ニモアリマスル丁度二十日ホドモ經マシタ後、一月ノ二十四日、二十六日ノ兩回ノ報告ニ接シテ大ニ驚カレタヤウニ見エマスノデアリマス、マサカニ此重大問題ヲ御忘レニナッテ居ツタト云フコトハナカラウト存ジマスガ、隨分外務省モ御多用ノヤウデアリマスカラ、或ハ一月七日ニ總テ……總ラハアリマセヌ、此御返事ガ參ッテ居リマスルガ、マア～ト云フコトデ其日ヲ送ツテ居ツタ中ニ、一月下旬ニ大騒動ガ起ツタヤウナ事實デハアリスマイカ、是ハ私ハ相當ノ根據アル報道ヲ得テ居ルノデアリマスガ故ニ……何分死人ニ口無シ、ソソナラバドウ云フコトカト言ハレタ處デ、其即チ證據人タル三宅中佐モ石田副領事モ存在致シマセヌガ、種々ナル材料ヲ綜合致シテ根據アルモノト存ジテ居リマス、而モ外務大臣ハ一月七日ニ石田副領事ノ電報ニ接シナカッタト云フコトヲ仰シヤルカ、或ハ接シタケレドモ斯クノコトデアルト云フ御答ヲ得ルノデアリマセウカ、之ヲ承ハリマシテ尙ホ海軍トノ關係ヲ承ハリタイト思ツテ居リマス、終リニ臨ミマシテ一言附加ヘタイノハ、哈シテ居ラレルノデ、夫ガ即チ基礎ハ皆信ズベカラザル革命軍司令官ヲ信ジテ、アリマス、諸君モ御承知ノ如ク、師團長及び旅團長ヨリ二回、尼港ノ守備隊ニ向ツテ訓令若クハ勸告ナド、云フコトガ此所ニ書イテアリマス、電報ヲ發シテ居ラレルノデ、夫ガ即チ基礎ハ皆信ズベカラザル革命軍司令官ヲ信ジテ、是ト條約體ノモノヲ結バレテ講和ノ命令ヲ下シ、後ニハ最早彼ノ地ニ於テハ殺シ盡クサレテ、僅カニ殘留居留民等ガ残シタ兵士ト共ニ戰ツテ、最早戰場ノ露ト消ユルベキ覺悟ヲ致シテ居ル際ニ、休戰ノ勸告ト云フコトハ、實ハヲカシナコトデアリマシテ、軍ノ長官ハドウ云フ御考デアルカ、命令デアリサウ

ニ此戰ヲ止ムルノ已ムヲ得ザルニ至ッテ、遂ニ夫ガ監獄ニ投ゼラレテ後ニ慶殺セラレタノデアリマス、其時ノ隊長タル河本中尉ト云フ人ノ手帳ト云フモノガ後ニ殘ツテ居ツテ、其ヲ發見シタト云フコトデアリマスガ、其記事等ヲ見マスト、其河本中尉ノ進退谷マツタ模様ハ、實ニ同情ニ耐ヘマセヌノデアリマス、ケレドモ長官ノ命ズル所、我ガ軍人ノ氣質トシテ一面服從ヲシテ見ルモノ、果シテ是ガ正確ノモノデアルカ否ヤト云フコトヲ大ニ疑ツテ居ラレタモノト思ハレル、異境ニ恨ヲ呑ンデ休戦ヲシタノデアリマス、夫ハ本月三日ノ政府ノ公表セラレタモノニ全部皆見エテ居リマスガ、夫ニモ「涙ヲ呑ンデ」云々ト云フコトヲ、政府ノ人サヘ……當時ノ守備隊長ハ涙ヲ呑ンデ、ト思ハズ知ラズ書カレタ、眞ニ同情サレタノデアリマセウ、涙ヲ呑ンデ休戦シナケレバナラヌト云フヤウナコトハ、尼港ノ情報ガ確カリ分ツテ居ラナイカラ、哈府ニ居ル官憲ガ勸告トカ命令ヲ發シタト云フコトハ、ドウ云フコトデアルカ、誠ニ不思議千萬ノコトデアリマシテ、痛恨極マルコトデアリマス、若シ春秋ノ筆法ヲ以テ書キマスレバ、哈府派遣ノ官憲ハ尼港七百ノ生靈ヲ殺スト書イテモ宜クハナイカト思フ位、即チ哈府ニ居ル所ノ陸軍官憲ハ、或ハ之ヲ拒ムコトハ出來ナイデハナイカト迄ニ存ジマス、是ハ唯私ノ戰死者ニ對スル同情ノ餘リ、一言附加ヘテ置ク次第デアリマス

〔國務大臣子爵内田康哉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵内田康哉君) 唯今阪本君ノ御質問ニ御答シマスガ、今朝或ル外國公使カラ急用ガアツテ是非會ヒタイト云フコトデアリマシテ、本院へ罷出マスコトガ遲刻イタシマシタ、御質問ノ點ヲ十分ニ聽取リ兼ネテ居リマス、出席イタシマシタ後ノ御演説ニ依リマスト云フト、一月七日居留民引揚ノ請求ノ電報ガ達シテ居ルノデハナイカ、果シテ事實デアルカナイカト云フコトガ御質問ノ主點ト聽取リマシタカラ、其點ニ對シテ御答ヲ致シマス、實ハ二三日前ノ新聞紙、或新聞紙ニ此コトガ出テ居リマシテ甚ダ驚イタシマス、早速事實ニ非ラザル旨ノ取消ヲ命ジテ居リマス次第デアリマス、日本席ニ於テ明確ニ其事實デナイト云フコトヲ申上グル機會ヲ與ヘラレマシタコトハ、甚ダ仕合セト存ズル次第デアリマス、本年ニ入リマシテ石田領事ヨリ始メテ受ケマシタ電文ハ、先方ヲ一月十一日ニ出テ居リマシテ、十五日ニ此方ニ著イテ居ル話デアリマス、其以前ニ本年ニ入リマシテ電報ハ出テ居リマセヌ、是ガ即チ第一號デアリマス、電報モ唯今御質問ノ趣旨ニ關スル

電報デハアリマセヌ、無論先方ノ情況ハ報ジテ居ル電報デアリマス、其電報ノ中ニハ目下危險ト云フ程デハナイガ、形勢ハ惡化シツ、アルト云フコトデアリマス、夫デ詰リ陸戰隊ヲ送ツテ費ヒタイト云フコトノ電報ハ、確カニ二十二日カ三日ト思ヒマス、ソレニ出テ此方ニ二十六日ニ著イテ居ル、デ此コトハ既ニ公言イタシテ居リマス次第ノヤウナコトデアリマス、ソレガ始メテ陸戰隊ノ派遣ヲ請求ヲシタコトデアリマス、民留民ノ引揚ゲニ付イテノ電報ニハ接シテ居ナイ次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒタイ、尙ホ支那砲艦ノ我軍民ニ對シテ砲擊シタト云フコトニ付テ御質問ガアリマシタガ、其コトガ若シ事實ト致シマスレバ誠ニ不祥ナコトデアツテ、我ガ隣邦支那ノ爲ニ甚ダ遺憾ニ存ズル次第デアリマスケレドモ、事甚ダ重大ナルコトデアリマスカラ、目下專ラ調査ヲ進メツ、アル次第デアリマス、我軍ガ先方ノ尼港ニ到ルヤ否ヤ、得マシタ處ノ我ガ兵士ノ日記ニ、支那軍艦ヨリ砲擊ヲ受ケタト云フコトヲ記載シテアリ、且ツ露西亞人又他ノ支那人ヨリ同様ナコトヲ聞イタト云フコトデアリマスカラ、或ハ事實ニ非ラサルカト云フコトノ疑ヲ生ジマシテ、直チニ嚴密ナル調査ヲ爲スヤウニ命ジテアリマス、段々其調査ハ進行シツ、アル次第デアリマス、今日マダ此席ニ於テ確言ハ致シ兼ネマスル、啻ニ我國派遣イタシマシタル書記官ガ、支那砲艦ニ就テ既ニ談モ聞イテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、早晚明確ナル事實ガ分ルデアラウト思ヒマス、其事實ニ依ツテ勿論十分ナル處分……處置ヲ取ル積リデゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

〔國務大臣加藤友三郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(加藤友三郎君) 唯今阪本君ヨリ數多ノ御質問ニ接シマシタ、大體書留メタ積リデアリマスカラ、其順序ニ依ツテ御答ヲ致シマス、若シ抜ケマシタラ更ニ御質問ヲ願ヒマス、第一ニ、一昨年海軍ノ陸戰隊ヲ引揚グ艦隊ヲ引揚グマシタ際ニ、陸軍ヨリ砲艦ノ一隻デモ冬營サシテ費ヒタイト云フ交渉ガアツタト云フコトヲ聞クガ如何、斯ウ云フ御質問デアリマス、左様ナ交渉ニ接シタコトハゴザイマセヌ、其次ニハ一昨年ノ結氷期ニハ陸戰隊モ艦隊モ引揚ゲ、昨年解氷期ニ至ツテ、更ニ艦隊ヲ該方面ニ派遣シテ、昨年ノ暮ノ結氷期ニ又之ヲ引揚グタノハドウ云フ譯カ、斯ウ云フ意味ノ御質問ノヤウニ拜居リマセヌ、是ガ即チ第一號デアリマス、電報モ唯今御質問ノ趣旨ニ關スル

是ハモウ説明ヲ要スマイト思フ、「ニコラエウスク」ニ就テ申スモ同様デアリマス、一昨年ノ暮、海軍ガ警備ノ任務ヲ果スコトガ出来マセヌカラ、陸軍ト協議ノ上、陸軍ノ守備隊ヲ派出シテ貰ッテ交代シテ、海軍ガ全部引揚ゲタト云フ譯デアリマス、昨年モ解氷中ハ海軍ガ該方面ニ艦隊ヲ派遣シタノハ、單ニ「ニコラエウスク」居留民保護ト云フダケノ意味デハナイ、御承知ノ通り解氷期ニナリマスト漁業ハ各方面ニ於テ隨分盛デゴザイマス、又浦潮斯德ニハ昨年來終始一艦若クハ二艦ガ派遣シテアルノデアリマス、又浦潮斯德ヨリ「ニコラエウスク」ニ至ル沿岸ニ於キマシテ、若干ノ居留民モ居リ漁業者モ居ルノデ、是等モ時々海賊的ノ者ニ襲撃サレルト云フ情報モアルノデアリマス、解氷期ニ於キマシテ斯様ニ沿岸ノ所々ニ散在イタシテ居リマス居留民若クハ漁業者等ヲ保護イタシマスノハ、海軍ノ任務ト考ヘテ居リマス、此意味ニ於テ解氷中艦隊ヲ該方面ニ派遣イタシマシタノデゴザイマス、結氷期ニ至リマスレバ是等ノ任務ヲ果スコトガ出來ナクナルノデ、一昨年ノ暮ニ艦隊ヲ引揚ゲタト同様ノ意味ニ於テ引揚ゲマシタノデゴザイマス、併ナガラ浦潮斯德附近ノ結氷セザル海面ニ於テハ、小艦艇ハ常ニ活動シテ居タノデアリマス、次ニ昨年八九月頃島田某ガ「ニコラエウスク」方面ノ狀況ヲ申述べテ危險デアルカラモウ少し兵力ヲ増シタラ宜カラウト云フコトヲ、當局者ニ言ウタヤウニ聞イタガドウカト云フコトデアリマス、私ハ斯様ナコトヲ聞イタコトハゴザイマセヌ、其次ノ御質問ハ能クハツキリ聽取レマセヌデアリマシタガ黒龍江ニ露西亞帝政時代ノ艦隊ガアル、結氷前ニ此艦隊ヲ「ニコラエウスク」方面ニ派遣シタナラバ、相當ノ聲援ハ與ヘタラウ、ソレヲシナカツタノハドウカ、又結氷後ニ於テ此艦隊ガ海陸協同ノ作戦ニ從事シタト云フコトガアルガ、是等ハドウ云フコトカ、斯ク云フ御質問ノヤウニ拜聽シタ、此艦隊ハ御承知ノ如ク露西亞ノ帝政時代ノ所謂黒龍江艦隊ノ一部デ、革命前ニ於キマシテハ此艦隊ハ河川ニアリマス艦隊トシマシテハ、最モ有力ナモノデアッタノデ、五百噸餘リノ砲艦ガ確カ八隻、二百噸内外ノ砲艦ガ十隻、又其他ニ小サナ通報艦十隻ヲ以テ一艦隊ヲ編成イタシ、其根據地ヲ「ハバローフスク」ニ置キマシテ、ハバローフスク」ニハ相當ノ修理工場モ持ツテ居リマス、一昨年陸軍ガ「ハバローフスク」ヲ占領イタシマシタ時ニ、此艦隊ノ大部分ハ自爆イタシマシテ、乘員ハ逃走イタシ、陸軍ニ依ツテ是等ノ船ハ押收サレタノデアリマス、其後海軍ガ臨時派遣隊ヲ編成イタシマシテ、「ハバローフスク」ニ於テ陸軍ヨリ此

艦船ヲ受取リマシタ、其時ニハ大部分壞サレテ居リマシタガ、コチラカラ人ヲ派遣イタシマシテ出來ルダケノ修理ヲ致シマシテ、今日實際使用シ得ル船ハ三隻アル、他ニ小サナ通報艦ガアリマス、是等ノ船ハ海洋ニ出テ行動スルコトニハ誠ニ不便ナ船デアリマスルガ、併ナガラ天候如何ニ依ツテハ絶対ニ不可能デアルト云フ性質ノモノデハナイノデアリマス、一昨年ヨリ昨年ニ掛ケマシテ、「ハバローフスク」竝ニ黒龍江沿線……鐵道沿線ニ於キマシテ、陸軍ガ活動イタシマシタ時ニ、此艦隊ガ終始協同動作ヲ執タノデアリマス、昨年ノ結氷前多少ノ流水ハ冒シマシテモ、協同動作ヲ執タノデアリマス、併ナガラ昨年結氷前後ニ於キマシテ「ニコラエウスク」方面ニハ、私共ハ危險ヲ感ジナカツタノデ、從ツテ此河用砲艦ヲ「ニコラエウスク」方面ニ下航サセマシテ、「ハバローフスク」附近ニ於ケル協同作戦ノ任務ヲ止メサセテ「ニコラエウスク」附近マデ下航サセマシテ、警備ニ任ズルト云フ必要ヲ認メナカツタ譯デアリマス、ソレカラ其次ハ此結氷ニナル前ニ「ニコラエウスク」ノ守備ヲ陸軍ニ託シテ何故海軍ガ引揚ゲタカ、斯ウ云フ御質問ノヤウニ拜聽致シマシタ、之ヲ一言ニシテ申シマスレバ、現ニ海軍ガ有シテ居リマスル所ノ軍艦ハ「ニコラエウスク」ニ冬營スルニ適シナイ船ノアル爲ニ引揚ゲタノデアリマス、之ヲ一つノ理由ニスル分ニハ、是ハ寧ロ重ナ理由デアルト申シテ宜シイノデアリマス、既ニ海軍ガ冬營シ得ザリシガ爲ニ、陸軍ト協議致シマシテ陸軍ノ守備兵ヲ派遣シタト云フ譯デアリマス、次ニ支那砲艦ガ冬營方出來ルノニ、ナゼ日本ノ軍艦ガ冬營出來ナイカ、是ガ重ナ御質問ト思ヒマス、茲ニ少シク専門的ニ涉ツテ私ハ御話ヲシテ御了解ヲ得タイト思ヒマス、ヨク新聞ナドニ出テ居リマス、色ニナ人ガ私ノ所ニ來マシテ、此問題ニ付テ質問ニ接スルノデアリマス、又當局ト致シマシテモ、此點ニ付イチャ十二分ニ研究ヲ遂グテ居リマス、今日私共ノ研究致シマシタ結論ヲ先づ以テ申上ゲマスレバ、前申上ゲマシタル通り、現有艦隊ヲ以テハ「ニコラエウスク」ニ冬營不可能ナリト云フシテモ是非トモヤラナクチャナラナイト云フ場合ニハ、是ハ尙ホ再考ノ餘地アリト申シテ宜シイノデアリマスガ、技術上ノ點ニ於キマシテ、又危險ト云フ點ヲ避ケテ、サウシテ「ニコラエウスク」ノ如キ所ニ軍艦ヲ冬營サセルノデ、是ニ危險デアル、斯ソ云フコトニ私共ノ研究ノ結果ハ到達致シテ居ルノデ、是ニ

ハ少シク説明ヲ要シマス、然ラバ何故ニ支那ノ軍艦ガ冬營シタカ、是ガ直グニ起ル問題デ、日本ニハ支那ノ軍艦ノ如キ船ヲ持タナイノデアリマス、絕對ニ持タナイノデハアリマセヌ、ソレハドウ云フ譯カト申セバ、揚子江ニ使ツテ居リマス所謂「リヴァーガンボート」、河用砲艦ハ支那ガ「ニコラエウスク」ニ冬營サセタ軍艦ト大同小異ノモノデアル、之ヲ持ツテ行ケバ冬營サセラレルノデアリマス、併シ是ハ急ニ海洋ヲ航シテ「ニコラエウスク」ニ入ルガ如キコトハ出來マセヌ、ノミナラズ揚子江ノ警備任務ハ一日モ離スコトハ出來ナイ船デアリマス、御承知ノ通リ此黒龍江ハ隨分大キナ河デアリマシテ、私ハ參ツタコトガアリマセヌガ、圖ニ依ツテ見マスルト、「ニコラエウスク」ニ於テハ河幅約日本ノ一里アルサウデアリマス、其三分ノ一若クハ四分一ノ幅ダケガ航行ガ出來ルノデ、ソコハ深イ所、其ノ他ハ淺イ所デアリマス、兩岸ニ接シテ：我ガ海軍ノ持ツテ居リマス所ノ軍艦デ、此眞中ノ深イ所ヲ航行シ得ル船ハアルノデアリマス、併ナガラ沿岸ニ接シテ淺イ所ヲ行キ得ル船ハナイノデ、河川ニ於マシテハ結氷前竝ニ解氷前後ニハ流水ガ始マリマス、流水ナルモノハ御承知ノ如ク、軍艦ハ勿論、普通ノ船舶ニ對シテモ非常ナ禁物デアリマス、流水ニ衝撃シ若クハ流水ニ鎖サレ、沈沒シタト云フ例ハ多々アルノデアリマス、斯様ナ譯デアリマスルカラ、御承知ノ通リ大同江、鎮南浦アタリニ商船ガ航行シマスルノモ、流水ガ始マリマスレバ航海ハモウ止メテシマフ、商賣ヲ止メル、解氷期ニ於マシテモ流水ガ終ラナケレバ航行ヲ始メナイ、是ハ現在實際ヤツテ居ルノデアルカラ、然リト云フノデアル、流水ガ恐シイカラデアリマス、流レノナイ所デアリマスナラバ多少危険ヲ冒シテモ、河川ニ於ケル流水ニ對スル如キ危険ハナイノデアリマス、黑龍江ハ相當ノ流速ガアリマス、二三哩、五六哩ノ速力ヲ有ツテ居ル、其速力ヲ有ツタ折リニ上流ヨリ流レテ參ル、潮流ノ關係ニ依ツテハ海洋カラ流水ガ這入ツテ參ル場合モアル、斯ウ云フ「ニコラエウスク」ハ狀態ニアルノデアリマス、斯様ナ所ニ軍艦ガ碇泊致シテ居リマシテ上流若クハ下流ヨリ晝夜間断ナク流水ニ衝撃サレテハ、是ハタマラナイ、是ハモウ素人ノ御方が御想像下サツテモ御了解出來ルト思フ、殊ニ船ガ碇泊致スノハ錨ヲ入レテ居ルカラ、其錨網デモ切ラレマシタナラドウスルコトモ出來マセヌ、斯様ナ危険ヲ冒シテ冬營シタクチャナラヌ必要ハ私ハ認メナイノデ、ノミナラズ、假ニ冬營ヲ致シタト致シマシテ……我ガ海軍ニ於キマシテ冬營ノ經驗ハ持ツテ居ルノデアリマス、支那ノ大沽若クハ營

口ニ冬營致シタ時代モアルノデアリマス、其準備ハ餘程以前ヨリ準備ヲ要シマシテ、單ニ碇泊ヲ致シテ自然ニ凍リ著カレルノハヤツテ居ルノデアルカラ、又乘員ノ如キハ艦内ニ寢泊リハ出來マセヌ、結氷中ハ乗員ハ番兵等ヲ殘シテ凡テ陸上生活ヲスルノデアリマス、又艦内ニ於キマシテハ「バイブ」ノ如キハ凍リ著カレテ破裂スル、ソレニ防衛モ致サナイヂヤナリマセヌ、機械ノ樞要部ハ外ヅシテ是亦防寒ノ裝置ヲ致サナイヂヤナリマセヌ、兵器ニ於キマシテモ然リデアリマス、其準備ハ一通りデハナイノデアリマス、斯様ナコトマデシテ冬營スル必要ハ當時私ハ認メナカッタノデゴザイマス、單ニ先ニ申上ゲマシタ通り、海軍ニ有シテ居ル所ノ軍艦ノミニ付イテ申セバ左様ナコトデアリマシテ、若シ是非トモ冬營シナイデハナラヌト云フ時ニハ、支那砲艦ノ如キ船ヲ持ツテ行ク外ハナイノデアリマス、支那砲艦ハ揚子江ニ居リマシタ船デアリマス、丁度日本、英吉利、亞米利加等ニ有ツテ居リマス船ト大同小異ノモノデアリマス、ソレヲ非常ナ遠洋航海ノ準備ヲ致シマシテ、種々ナ艤装ヲ變ヘテ困難ニ困難ヲシテ昨年「ニコラエウスク」ニ到著致シマシタガ、黒龍江ニ上ツテ彼ハ上流ニ行カウト致シタノデアリマス、唯今阪本君ノ御述ベニナリマス通リニ、露西亞ヨリ砲擊ヲ受ケテ十月ニナツテ「ニコラエウスク」ニ歸ツテ參リマシタ、「ニコラエウスク」ニ冬營ヲ致サウトシタノデアリマス、是モ拒マレタノデアリマス、露西亞カラ……併シ遂ニ浦潮ニ居リマス我が官憲ノ周旋ニ依ツテ、「ニコラエウスク」ヲ出ヤウトシテモ出ルコトガ出來ナイノデアリマス、モウ既ニ外ハ流水ガ始ツテ居リマス、天候ガ惡シクナツテ居ル、河用砲艦ガアノ時期ニ外洋ヲ航行スルノハ沈沒ハ確然タルモノデアル、彼ハ冬營セザルヲ得ザル狀態ニアツタノデアリマス、而シテ「ニコラエウスク」ニハ露西亞ノ帝政時代カラ露西亞ノ船モ常ニ多少冬營シテ居リマス、其狀況ナドハ詳シク分ツテ居リマス、支那砲艦ハ露西亞ノ船ガ冬營イタシ居ツタト同様ナ冬營方法ヲ採タノデ、ソレハドウスルカ、「ニコラエウスク」デハ御承知ノ通リ外港ト内港トアル、外港内港ハ或程度マデ防波堤ニ依ツテ流水ガ防イデアル、此處ニハ流水ハ參ラナイノデ、是等ノ淺イ所デ、流水ノ來ナイ所デ、サウ云フ所ニ繫留イタシマシテ、俗ニ申ス氷「ドック」ト云フモノヲ造ルノデ、下カラ段々結氷シテ參ル、其上ニ船ガ乗ツカル、船ノ周圍ノ氷ヲ壊シマシテ、サウシテ突ツ張リカツテ其處ニ冬營ヲスル、四方カラ凍リ著カレテ、シメ著

カレテ居ルノデ……斯様ナコトハ河川ノ中央部、流速ノアル流水地帶ニ於テ
ハ出來マセヌ、サウシテ乘員ハドウシテ居ッタカ、乗員ハ陸上ニ前申ス通り
居ッタサウデアリマス、兵員ハ領事館ノ附近ニ舍營シテ居ッタト云フ情報ニ接
シテ居リマス、是ハ本當グラウト思ヒマス、而シテ或時期ニ、解氷期ニ接シ
テ或程度ノ者ガ船ヘ歸ッタ、斯ウ云フコトデアラウ、是ハ想像デアリマス、斯
様ナ事情デアル、假リニ我ガ軍艦ガ或必要ガアツテ冬營シテ居ッタシマシテ
モ、軍艦タルノ性能ハ全然無クナツテ居ル、軍艦ハ行動ガ自由ニアツテ初メテ
其勢力ヲ發揮シ得ル、凍リ著カレテハ何モナラヌ、唯斯様ナ場合ニ於キマシ
テハ、乗員ガ其力ヲ持ッテ居ルノデアル、即チ携帶兵器ヲ持ッテ陸上ニ於テ活
動スル、陸兵ト同ジコトニ歸著スルノデアリマス、或ハ必要ニ際シテ軍艦内
ニ搭載シテアル小サイ機關銃位ハ擊テルカモ知レマセヌ、水ニ浮カンデ居ラ
ナイ船ニ大キナ大砲ハ擊テルモノデアリマセヌ、要スルニ斯様ナ場所ニ軍
艦ガ碇泊ヲシテ、警備ノ任務即チ兵器ヲ或場合ニハ使用シナクチヤナラスト
云フ理由デアリマスルナラバ、陸軍ヲ増シタ結果ニナル、而シテ軍艦ハ非常
ナル危険ヲ冒カスト云フコトニ相成ル、私ハ斯様ナ危険ナ目ニ軍艦ハ遭ハセ
タクナイト考ヘル、支那砲艦ノ發砲云々付テハ外務大臣カラ御答ガアリマ
シタカラ、私カラ申上グマセヌ、三宅中佐ヨリ屢々危険トノ情報ヲ送ッタ云々、
三宅カラ報告ノアリマシタノハ一月ノ、日ハ覺エマセヌガ十日以後デアツテ、
其情報ノ意味ハ過激派ガ漸次增加シツ、アル、斯様ナ意味ノ報告ハ軍令部ニ
參ッテ居ル、危険デアルトカ何トカ云フ如キ報告ハナイノデ、而シテ三宅ヨリ
陸戰隊ノ救援ヲ請ヒマシタ電報ガ二度參ッテ居リマス、其二ツノ電報ガ同日
ニ届イテ居ル、間ガ確カ二日隔ッテ居ルト思ヒマス、二十一日カニ向フヲ發
シマシタノガ、二十四日午後ニ届イテ居ル、ソレカラ一兩日置イテ發シマシ
タノガ矢張リ同日ノ午後ニ届イテ居ル、是レ以外ニハ救援ヲ求メテ來タコト
ハナイノデ、丁度三宅ハ領事館ニ居ッタサウデアリマスカラ、領事ト相談ヲシ
テ兩方カラ打ッタノデアラウ、是ハ私ノ想像デアリマス、此兩電報ヲ同日ニ受
ケマシタ迄ニハ、救援ト云フコトニ付テハ何等ノ電報ニ接シテ居リマセヌ、
ソレカラ海軍デハ早クカラ救援隊ヲヤルトカヤラストカ云フ説ガアツテ、擦ッ
タ揉ンダシテ居ッタサウダ、其ノ經緯ハドウカト云フコトデアリマスガ、是ハ
意見ノ交換ハ致スノデアリマス、研究ヲ致シマス爲ニハ種々ナル
意見ノ交換ハ致スノデアリマス、私ハ其一々ノ說ヲ直接ニ聞イテ居リマセヌ、

併シ私ガ問題ヲ出ストシテモ、今ヤラウトシタラドウカ、ヤラナイトシタラ
ドウカ、斯ウ云フ問題ヲ提供スルノデアリマス、ソレデアリマスカラ種々ナ
ル意見ノ交換ハシタニ違ヒナイ、結論ヲ實行シタ、斯ウ云フ譯デアリマス、
シテ居リマス、ドチラカト申シマスレバ海軍ノ意見ト致シマシテハ、救援隊派遣困難ト云フ
意見ガ常ニ多カツタ、併シドウカ出來ナイカ出來ナイカト云ッテ、其方ノ研究
ヲ進メラレタト云フ事情デアリマス、是ハ内幕ヲ御話致シマス、尼港問題ニ
付テノ御質問ハソレダケデ大概盡シタカト思ヒマスガ、若シ抜ケマシタラド
ウカ後デ御話ヲ願ヒマス、領事居留民ノ引揚ゲ、是ハ外務大臣カラ答辯ガア
リマシテ、「オコック」ノ方面ノ御質問ガ最後ニアリマシタ、「オコック」ノ方
面ノコトハ先達テ新聞ニ情報ガ出マシタ、アノ前夜アノ新聞記事ト同様ナ情
報ニ接シタノデ、ソレ迄ハ何等情報ニ接シタコトハナイ、實ハ此事件ノ爲デ
ハアリマセヌ、「カムチャッカ」カラ「オコック」海ニ於キマシテハ、我が漁業
者ノ出テ居ル爲ニ、該方面ニ於ケル漁業者ノ主腦部、若クハ農商務省カラ年
々海軍ニ希望ガアリマス、警備艦ヲヤッテ吳レロト云フ希望デアリマス、デ
派遣ヲ致シテ居ッタノデアリマス、併シ今年ハ「ニコラエウスク」問題ガ起キ
マシタノデ、軍艦ヲ增派シタノデ、平年派遣イタシマスノヨリモ少シ多クヤッ
テアリマス、漁區ハ御承知ノ如ク「カムチャッカ」ノ兩岸ガ最モ盛ンナノデ、殊
ニ西海岸ハ最モ盛ンナノデアリマス、「オコック」ノ沿岸モ相當ニ居ルサウデ
アリマスガ、是ハ點々散在シテ居ルト云フニ過ギナイト云フ話デアリマス、
是ハ詳シイコトハ私ハ存ジマセヌ、氣候ノ關係ト石炭ノ關係トニ依リマシテ、
先ヅ第一ニ「カムチャッカ」方面ニ警備艦ハ參ルノデアル、サウシシテ漸次漁業
者ガ北ノ方ヘ參リマスニ從ッテ警備艦モ北ノ方ヘ參ッテ「オホツク」海ニ參ル、
丁度今月ニ至リマシテカラ、「オホツク」海方面ニ漁業者ガ多數渡航シツ、ア
ルト云フコトデアリマス、其一部ノ者ハ前ノ新聞ニ出マシタ所ノ情報ニ接シ
テ引返シテ來マシタ、斯ウ云フ話モ聞イテ居リマス、最初ハ「カムチャッカ」
ノ沿岸カラ漁業者ガ初メテ漸次北航シテ行ク、斯ウ云フ事情デアリマス、ソ
レニ伴ッテ軍艦モ漸次北航スルト云フ譯デアリマス、「カムチャッカ」ノ兩岸カ
ラ丁度アノ沿線ニ立チマシテ、チヨット圖ヲ一見イタシマシテモ、海岸線ハ約
二千哩内外モアラウカト思ヒマス、其間ニ點々散在シテ漁業者ガ居ルノデア
リマス、故ニ軍艦ガ之ヲ保護イタシマスルニハ、其沿岸ヲ巡航イタシ、露西

亞帝政時代ニハ露西亞政府カラモ警備艦ガ常ニ出テ居リマシテ、是等ト折衝イタシマシタコトガ往々アルノデアル、今日ハソレハアリマセヌ、是ガ實行ノ方法デアル、現在ハ軍艦ヲ三艘出シテ居ル、驅逐艦ヲ四艘出シテ居ル、是ダケノモノヲ以テ先ヅ「カムチヤッカ」沿岸……丁度沿岸ノ警備ニ任ジサシテ居ルノデアリマス、丁度此方面ハ御承知ノ如ク未測ノ海面ガ多イ、露西亞デ作リマシタ海圖モアリマスルガ、極クザットシタモノデ安心シテ航行ハ出來ナイノデ、爲ニ測量ヲシナガラ航行ヲスルト云フ實情デアリマス、ソレヲ今日實行イタシテ居リマス、唯今御詫ノヤウニ此漁區ハ過激派ノ爲ニ損害ヲ受ケタト云フコトデアリマス、是ハ新聞記事ニアリマス通リノ情報ニ接シタ以外ニハ、海軍省ハ何等情報ニ接シテ居リマセヌ、何レ既ニ警備艦ガアチラヘ遣ツテアリマスルカラ、是ガ視察ヲ致シマシテ向フノ情況ヲ何レ報告イタスダラウト思ヒマス、何分通信不便ナ所デ、或ル程度マデハ外洋ニ出テ無線電信ノ到達距離ニ入ッテ、初メテ報告ニ我ムガ接スルノデアリマス、多少ノ時日ヲ要シヤウカト思ヒマス、「カムチヤッカ」方面ハ無線電信ガ直通イタシマスルカラ、時々情報ハ分ツテ居リマス、此後ノ事ハ其ノ情報ニ接シマシタ上デ、尙必要有レバモウ少シ軍艦ヲ増派シナクチヤナラヌカモ知レマセヌケレドモ、實ハ該方面ニ派遣イタスニ適當ナ船ノ缺乏シテ居ルノニ困ツテ居ルノデアリマス、大キナ船ハ遣ラレマセヌ、大體是デ御答ヲシ丁タ考ヘマス○阪本鉄之助君 詳細ノ御説明ヲ煩ハシマシテ感謝イタシマス、外務大臣ハ一月七日ニ石田領事ノ電報ナルモノハ著イテ居ラヌ、斯様ニ立派ニ御答ヘニナリマシタガ、一月十一日及十七日ニハ接シテ居ル、斯ウ云フコトデアリマス、日ガ少シ違ツテ居ルダケノコトデアリマスルガ、兎ニ角一月十一日、十七日ノ兩回ニハ石田領事ノ電報ニ接シテ御出デニナルノデアリマス、併シ是ハ餘リ危急ヲ告ゲテ居ルト云フ意味デハナカツタ、斯ウ云フコトデアリマスルガ、大シタコトデナイノニ態、電報ヲ打ツ必要ガアリマセヌカラ、何レカ電報マラヌ電報ダ位ニ御覽ニナツタモノデアリマセウカ、當時ノ大臣ノ心理狀態ヲ承ハリタイ、又即チ十一日、十七日兩回ノ電報ハ、陸海軍大臣ヘハ御廻シニナツテ居ルカドウカ、唯今海軍大臣ノ御説明ニ依リマスルト、殆ド同時ニ三宅中佐ヨリ矢張リ電報ニ御接シニナツテ居ルヤウデアリマスカラ、海軍省デハ御

承知ニナツテ居ルノデアリマスル、兎ニ角陸海軍兩省ニ御移牒ニナツテ居ルカ
ドウカ、又唯今申シタソレヲ御受ケニナツタ時ニ、如何ニ御感ジニナツテ其儘
ニサレタカト云フコトヲ、モウ少シ立入ッテ承ハリタイ、抑、普通ノ順序カラ
考ヘマシテモ、既ニ一月上旬ニハ「コルチャック」ノ政府ガ顛覆イタシテ、情
況ガ險惡デアルト云フコトハ此報告書ニモ書イテアル、既ニ「當局ハ同月中
旬第十三師團主力ノ派兵ヲ行ヒ」云々トアリマス、既ニ假令彼ノ地カラ何等
ノ報告ガ無クテモ、一月中旬カラ既ニ「オムスク」政府ガ倒レタト云フコトデ
アレバ、是ハ何カ騒動ガ起コル、赤化スルノデハナイカト云フコトハ想像シ
得ルノデアル、次イデ「一月下旬ヨリ二月上旬ニ至リ沿、黑兩州各地ニ於テ
政變相踵ギ、尼港方面亦其餘波ヲ受ケ情況ハ俄然一轉シ過激派ノ勢力ハ尼港
附近一帶ニ及ビ」云々斯ウ云フコトモ此處ニ書イテアリマス、是等ノ情況ガ
既ニ御分リニナツテ居レバデス、彼カラ何等ノ情報ガ無クトモ、餘程容易ナラ
ザル形勢ニナツテ來タカラ、何カ是ハセネバナラヌト云フコトニ付テ浦潮司令
官ニ向ツテ訓令ヲ發セラレテ、或ハ海軍トシテハ海軍相當ノ行動ヲナサレタ
ト云フコトハ、有リ得ベキ筈デアラウト思ヒマス、ドウモ外務大臣ハ一面領
事ヨリ報告ヲ受ケラレテ之ヲ如何ニ御取扱ヒニナツタカ、又陸軍省トシテハ浦
潮ニアレダケノ司令官ヲ派遣サレテ居ル、哈府ニモ相當置イテアルノデアリ
マスルカラ、是等ハ尙ホ陸軍大臣ハ海軍大臣以上ノ情報ト云フモノハ時々刻
刻來テ居ルコトデアラウト思ヒマスルガ、今日ハ餘リ陸軍ニマデ瓦ツテ御尋
ねスル積リデハアリマセナンダケレドモ、勢ヒ此關係トシテハ一應陸軍大臣
ニモ、當時ノ情況ヲ承ハラザルベカラザルコトニナツタノデアリマス、即チ此
間ニ於ケル浦潮司令官及ビ哈府ニ居ル所ノ人々ノ本省ニ對スル所ノ點、本省
及ビ參謀本部等ニ對スル所ノ舉動ハ如何デアルカ、又之ヲ送ラレル陸軍側ノ
御考ハドウデアツカト云フコトヲ一ツ尙ホ承ツテ見タイ、曩ニ先ヅ外務大臣
ノ唯今ノ七日ト申シタノハ一日ト假リニ訂正ヲ致シテ、矢張リ曩ニ溯ツテ本
マデノコトデアリマスルガ、兎ニ角サウ云フ人ハナカ／＼東京アタリニ來マ
スルト色ミナ所ニ御目ニ掛リニ出タリスルモノデアリマシテ、殊ニ斯ウ云フ
外務大臣ハ御會ヒニナラナカツタ云フコトデアリマス、斯様デアレバソレ
員ハ御伺ヒ申シタ通リドウ御感ジニナツタカ、又第二ニハ島田某ト云フ者ニ
必要ヲ帶ビテ居ルモノデアルカラ、廣ク歩ルイタダラウト思ヒマスルガ、外
務大臣及ビ陸軍大臣等ヘハ申出ナカツカドウデスカト云フコトヲ一應伺ツテ

見タイ、ソレカラ此結氷期中ニ軍艦ヲ派遣スルコトニ付キマシテ縷々御説明ガアリマシテ、得ル所ガゴザイマシタガ、サウ致シマスト、我ガ海軍ハ結氷期中ニハ冬營スル船ト云フモノハ殆ド持タヌノデアル、殆ドデナイ全ク持タヌノデアル、僅ニ揚子江ニアル所ノ一隻デアリマスカ二隻デアリマスカ艦ガアルダケ、斯ウ云フコトニ承知イタシテ宜シイノデアリマスカ、又黒龍江ニ繫イデアル所ノ露國ノ……捕獲ノ軍艦ハ相當ナル優勢ナルモノガ其中ニハ、數隻アルト云フコトヲ承ハッテ居リマスガ、是モ矢張リ結氷期ニ於テ或ル行動ヲ取ラシムルニ堪ヘザルモノデアリマスルカ、堪ヘテモ先キニ御述ベニナッタ如ク尼港ハ餘リ危險トハ見ナカッタノデアルカ、果シテ必要デアルナラバソレハ相當ナル行動ヲ執ラセルコトガ出來ルノデアルカ、其點ヲ一應承ハッテ置キタインデアリマス

〔國務大臣子爵内田康哉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵内田康哉君) 唯今ノ御質問ニ答ヘマスガ、私ノ此月ニ受取リマシタ電報ハ、先刻申シマシタ電報ハ二ツデハアリマセヌ、十一日附ノガ十五日著イテ居ル、其電報モ御質問ニアッタ如ク、居留民ノ引揚トカ、或ハ陸戦隊ノ派遣トカラ請求シタ電報デハナイ、形勢ハ惡化シツ、アルケレドモ目下危険ト申ス程デモナイト云フ電報デアル、無論全般ノ形勢ヨリシテ萬一ナコトガアッテハイカナイト云フコトハ、無論考ヘテ居ル次第デアリマス、是モ自ラ程度ガアリマシテ今日尼港ノ殘虐ヲ見タ跡カラスウシタラ宜イ、アシタラ宜カッタ云フコトハ澤山ノ註文ガ出マスケレドモ、ソレハ其時ノ狀況ニジテ適宜ノ處置ヲスルヨリ外ナイ話デアル、ソレガ二十六日ニ接シマシタ電報ガ、始メテ陸戦隊ノ請求ヲシテ來タ話デ、ソレガ始メテデアッテ終リデアル、其後ニハ電報ハ參リマセヌ、其電報ニ接シマスルヤ否ヤ、是マデ御答辯ヲ致シマシタ通リ、陸海軍當局トモ十分ノ話ヲ途ゲテ、兎モ角モ至難ノコトトハ思ヘルケレドモ、出來得ル限り盡サウト云フノデ、小樽ヨリ派兵ノコトニシタケレドモ、到底海上ノ模様ガ之ヲ許サナイト云フコトデ之ヲ引返シタ次第デアリマス、又外務省ガ總テ此事件ニ接シテ受ケマス所ノ電報ハ、一々必要ナルコトハ陸海軍當局ニ廻シテ居ル次第デアリマス、御質問ノ電報モ無論參ッテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ島田ノコトニ付テ御質問デアリマシタガ、私ハ當人ニハ一回モ會ツタコトハアリマセヌ、左様御承知ヲ願ヒマス

〔國務大臣田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(田中義一君) 前回ニ阪本サンカラノ、「ハバロフスク」ノ山田旅團長ノ電報ニ對シテノ御尋デゴザイマス、ソレニ先づ御答ヲ致シテ置キマス、「ニコラエウスク」「ハバロフスク」ノ間ノ通信機關ト云フモノハ、二月六日以來全ク日本ノ通信機關ハ杜絶シテ居ルト云フコトハ御承知ノコトデゴザイマス、而シテニ月ノ二十八日ニ兩軍ガ協調ヲシタト云フコトハ旅團長ガ知ッテ居ルノデアリマス、其後「ハバロフスク」ニ於テハ全ク協調サレテ居ルモノト考ヘテ居ツタノデアリマス、然ルニ三月十四日ニ突然「ハバロフスク」ノ革命軍司令官ナル者カラ旅團長ニ對シテ「ニコラエウスク」ノ町ニ於テ十一日カラ再ビ戰鬪ガ起ツタト云ウテ來タノデアリマス、デ互ニ此戰鬪ヲ中止スルコトニ盡力致シタイモノデアルト、斯ウ云フコトヲ云ウテ來タノデアリマス、ソコデ旅團長ハ十一日ノ夜カラノ出來事ハ如何ナル出來事デアルカハ知ラナイト云フコトノ判斷ガ能ク附クノデアリマス、ソニデ十五日ニ唯今ノ戰鬪ノ休止ノコトヲ言ウテヤツタノデアリマス、デ此旅團長ハ戰鬪ノ休止ヲサセテ兩方ガ協調ヲシタト云フコトハ知ツテ居リマスガ、三月十四日ニ至ツテ始メテ又戰鬪ガ起ツタト云フコトダケラ知ツタノデアリマスカラ、直ニ其戰鬪ノ休止ヲサセタノデアリマス、其十一日ノ夜カラノ經過ハ旅團長ハ知ラナイノデアリマス、左様御含ミヲ願ヒマス、此機會ニ於キマシテ……私ハ先達テ以來種々ニ此事ニ付テ取調ベテ居リマス、先づ第十四師團長ガ石川少佐ニ如何ナル任務ヲ與ヘテ派遣ヲシタカ、其後石川少佐ハ唯今モ御話ガアリマシタ如ク、海軍ノ方ナリ外務省ナリニ救援ヲ求メタト云フコトヲ度々聞クノデアリマスカラ、或ハ中央部ノ方ニハ來ヌデモ出先ノ方ニデモ向ツテ、彼ガ何等カ救援ヲ求メテ來タコトハ無イカ、其邊モ取調ベタノデアリマス、其經過ヲ御参考ノ爲ニ此所デナリシマシタ通リ、陸海軍當局トモ十分ノ話ヲ途ゲテ、兎モ角モ至難ノコトガ與ヘマシタ任務ハ斯ウ云フ任務デアリマス「部下ニ中隊機關銃二ヲ指揮シ尼港派遣隊トナリ五月二十四日哈府出發水路尼港ニ到リ同地派遣隊ト交代シテ其任務ヲ繼承スベシ尼港派遣隊ハ余ノ直轄ス交代終ラバ速ニ前派遣隊ヨリ繼承シタル事項ヲ詳報スベシ」斯ウ云フコトガ主モナルモノデアリマス之ヲ見マスルト唯ダ其任務ヲ繼承セイト云フコトダケデアル、サウシマスレバ十二師團カラ出シマシタノハ大正七年ノ九月十八日デゴザイマス、其命令ノ

要旨ハ「歩兵第二十四聯隊第二大隊長鹿島少佐ハ部下大隊(二中隊及大行李省ク)ヲ率キテ十九日哈府ヲ出發船舶輸送ヲ以テ尼港ニ至リ冬營ノ準備ヲ爲シ同地ヲ守備スベシ」斯ウ云フノデアリマス、ソコデ尙ホ第十四師團長ハ是ガ行キマス時ニ細カシイコトヲ注意ヲ與ヘテ居リマス、即チ内政ニ干涉スルナト云フコトマデ、既ニ出發スル時ニ注意ヲ與ヘテ居リマス「露國地方ノ行政ニ關シテハ軍事行動上已ムヲ得ザル場合ノ外ハ之ニ干渉スルヲ避ケルモノトス」、是ハ人民ニ對シテハ成ルベク穩便ノ手段ヲ執リ、殊ニ掠奪的行爲及ビ風紀ニ付テハ、嚴ニ部下ヲ戒飭シテ、「國民ト共ニ帝國軍隊ノ名譽ヲ保持スルコトヲ要ス、獨塊ノ捕虜アル時ハ縱令我ニ抵抗セザル者ト雖モ、聯合軍ノ捕虜トシテ之ヲ取扱ヒ、便宜ノ地點ニ收容シテ、師團長ニ報告スルモノトス、尼港附近ニ於ケル左ノ事項ニ關シ特ニ注意シテ報告スルコトニ努ムベシ」、ソレハ「一、尼港灣ノ軍事上ノ價值殊ニ結氷期ニ於ケル狀況、物價及運輸材料、尼港ノ行政及政治的關係、各種ノ利源、列國民ト露國官民トノ關係、列國民ノ政治的及經濟的施設、又ハ計畫ノ實情」斯ウ云フヤウナコトヲ始終取調べ種々報告セイト云ツテ居リマス、尙石川少佐ヨリ増援ノ請求ナシ、但シ大正八年九月二十一日付命令デ、機關銃二ヲ新タニ増加配屬シタ、ソレデ石川ハ最初ハ二挺ヲ持ツテ居ッタノデアリマスガ、是デ見ルト、更ニ師團長ガ之ニ機關銃二挺ヲ増加シテヤツタモノト見エマス、ソレカラ島田ノコトニ付テ御尋ハ、島田ト云フ人ハ元私ハ能ク承知シテ居リマス、初メテ第十二師團ノ出征シマスル時ニ、其前ニ於テ一二回會ウタコトガアリマス、大正七年ニ……其以來會ウタコトハアリマセヌ、外務大臣ノ必要ト認メラレル情報ハ、今大臣ノ述ベラレタ通り種々私ハ受取ツテ居リマス、此狀況デ見マシテモ、大體モウ此守備隊ハ向フデ冬營ヲスルノデアル、モウ氷ガ張リ詰メタト云フ時ニハ、此守備隊ハ全ク獨立シテヤルモノデアルト云フコトハ、豫テ覺悟ヲ致シテ居ッタコト、思フノデアリマス、又如何ニ斯ウ云フ事變ノ起リマシタ場合ニ於キマシテモ、豫テチャント出ス者モ出サレル者モ、サウ云フ覺悟ヲ持ツテ居リマス、デアリマス、併シ斯様ナ事柄ハ全ク居留民ニマデ慘害ガ及ブト云フコトハ、如何ニモ悲慘ナ狀態デアリマスケレドモ、之ヲ全クノ軍事的見地カラ見マシテ、斯様ナ事柄ハ所謂戰鬪ニハ決シテナイト云フコトノ想像ハ出來ヌノデア

リマス、又後カラ考ヘマスルト、斯ウデヤツタラウ、アアヂタラウト云フコトガアリマスルケレドモ、其ノ當時ノ狀況ニ引較ベテ其ノ事柄ハ判斷イタシマスルト、所謂戰鬪ト云フモノハ其ノ當時ノ狀況ニ基クモノデアリマスカラ、私ハ此師團長ナリ司令官ナリノ、之ガ手落デアッタハ思ハズノデアリマス、其點ハドウカ一ツ此戰鬪ノ經過ト云フコトデアルト云フコトニ付テ、御諒察ヲ願ヒタイノデアリマス、併シ先刻ニ責任ガ當局大臣ニアルト仰セラレタ、私モ此責任ト云フ上ニ付キマシテハ、善後ノ處置ヲヨクシナクチヤナラヌト云フコトニ於テ、責任ハ深ク感ジテ居リマス、又此事柄ハ別トシテ、斯様ナ事柄ガアリマシテ、陛下ニ對シ奉ツテハ、誠ニ宸襟ヲ惱シ奉ツタ次第デアリマス、國民ノ義憤ヲ招イタ次第デアリマス、其點ニ付キマシテハ、私ハ親切ヲ缺カヌ積リデアリマス

〔國務大臣加藤友三郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(加藤友三郎君) 阪本君ノ御質問ハ、至極御尤モノ御質問デアリマシテ、先刻實ハ其點マデ申上ゲル積リデ居ツテ、ツイ落シタ譯デアリマス、即チ御質問ノ要旨ハ、露西亞ヨリ押收シテアル河用砲艦ハ「ニコラエウスク」ニ冬營ガ出來ルカ、出來ナイカト云フ點ニ歸著シテ居ルヤウニ思ヒマス、是ハ「ニコラエウスク」ニ冬營イタサウト考ヘレバ、出來ル積リデアリマス、然ラバ何故ニ冬營シナカッタカ、是ガ次ニ起ル疑問デアリマス、是モ所見ヲ申上ダマス、先刻モ申上ゲマス通リ、第一當時ニ於キマシテ陸軍ニ警備任務ヲ引繼ギマシタ以上、海軍トシテ十分ニ軍艦タル性能ヲ發揮シ得ザルガ如キ狀態ニ於テ警備任務ヲスル爲ニ、特ニ軍艦ヲ冬營サセル必要ハ認メナカッタノデアリマス、是ハ根本ノ當時ノ頭デアリマス、一方ニ於キマシテ河用砲艦ハ昨年結氷前ニ於キマシテ、「ハバロフスク」方面ニ於テ結氷ニ至ルマデ使用シ、共同動作ヲ執ツテ居リマス、此必要モ該方面ニ於テアッタノデアリマス、ノミナラズ、之ヲ下向サセテ「ニコラエウスク」ノ警備任務ニ服サセルト云フ必要ヲ認メナカッタ、斯ウ云フ譯デアリマス、若シ陸軍ノ守備兵ダケデ足リナイト云フコトナレバ、陸兵ヲ増シテ貰フ外ハナイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、カト思ツテ調べタノデアリマスルガ、何等出先ニ於テモサウ云フコトハナイノデアリマス、併シ斯様ナ事柄ハ全ク居留民ニマデ慘害ガ及ブト云フコトハ、四日哈府ノ革命軍ノ司令官カラ協議ヲ受ケテ、山田旅團長ナル人ガ……協議デハゴザイマセヌ、電報ニ接シテ戰鬪中止ノコトニ喙ヲ容レラレタト云フコ

トハ誠ニ奇怪ナコトデアリマシテ、殊ニ唯今承ハリマスト、尼港ノ守備ハ大井司令官ノ直轄ニ屬スル所ノモノデアル、浦潮ノ司令官ノ直轄ニ屬スル守備隊ニ向ッテ、他ニ居ル旅團長ガ敵軍ヨリ協議ヲ受ケテ而カモ戰鬪中止ノ勸告……命令スペキ職權ハナイ、即チ勸告デモ兎ニ角石川少佐カラ見レバ上官デアル、敵軍ノ司令官ト協議ヲシテ戰鬪中止ノ勸告電報ヲ發シタト云フコトハ筋ノ違ツタコトデアリハスマイカ、恰モ敵ノ言フコトヲ聞イテ味方ノ言フコトノ情報ハ接シテ居ラヌ、接スペキ機關、味方ノ情報ニ接スル……現狀ヲ少シモ知ラナイ、暗中摸索デ、敵軍ノ唯協議ニ於テ戰鬪中止ヲ勸告シタト云フコトハ、誠ニ奇怪至極ナコトデアルト存ジマス、而カモ石川少佐ハ十三日ニ戰死ヲ致シテ居ル、其勸告ヲ受ケルベキ少佐ハ二日前ニ死ンデ居ル、十五日デアリマスカラ三日前ニ……死ンデ居ルト云フコトサヘ分ラナイ人ガ、其人ニ向ッテ勸告ヲスルト云フヤウナコトハ實ニ軍ノ行動トシテハ奇怪ニ存ジマスカラ、此邊ニ付テ精シク承ハリタイト思ヒマスガ、陸軍大臣ノ御態度誠ニ御謹慎ナ態度ヲ拜シマシタカラ、何等此コトニ於テハ承ハルコトハ止メマス、私ハ質問ハ是デ打切りマス

〔國務大臣田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(田中義一君) 唯今ノ再度ノ御尋ノコトニ付キマシテ、チヨット茲デ私ガ申上ゲテ置ク必要ガアルト思ヒマスカラ申上グマス、唯今私ガ石川少佐ニ與ヘタ任務ハ第十四師團長ガ與ヘタ任務デアリマス、即チ尼港派遣隊ハ余ノ直轄トスト云フコトハ、即チ大井司令官ノ直轄ニ非ズシテ第十四師團長ノ直轄デアル、斯ウ云フ意味ト御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ山田旅團長ハ、私ノ考ト致シマシテハ、既ニ最初戰鬪ヲシテ居ッテ、其戰鬪ヲ中止シテ協調ヲシタノデアリマス、ソコデ又戰鬪ガ起ッタ、斯ウ云フコトデス、其戰鬪ガ又起ッタ云フコトニ付テ、前ニアレダケナ協調ガ出來タト云フテ居ルノニ、ドウデアラウカト云フコトニ付テ疑ヲ有ツテ居ッタ云フコトハ、私ハ其當時ノ情況無理カラヌコトダト思ヒマス、ソレ故ニ前ノ師團長ノ指圖ノ如ク、更ニ戰鬪ヲ中止ヲ言ッテヤッタ云フコトハ、成ル程其結果ハ河本中尉ノ悲慘ナル最後ケレドモ、「ハバロフスク」ノ狀況トシテサウ云フ狀況ハ知ラナカッタノデアリマス、ソコハ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○江木千之君 私ハ極ク簡單ナ質問デアリマスガ、總理大臣ニ二點伺ヒタイ

ノデアリマス、極ク簡單デアリマスルカラ一問ヅ、質問致シマス、第一ニ伺ヒタイノハ尼港ノ事件ニ付テ、初ハニ中隊ヲ守備ニ充テ、置ケバ「コルチサク」軍ヲ……是レデ事足レリトシテ一中隊ヲ置カレタンデアリマスガ、其後ノ状況ガ變化シテ救援隊ヲ出サナクチヤナラヌト云フノデ、第七師團四中隊……四中隊カ五中隊、砲兵一中隊ヲ派遣スルト云フコトヲ決セラレテ、ソレモ約馬五百頭ヲ用意シテ既ニ出發シカケテ水ノ爲ニ進ムコトガ出來スト云フノデ中止ニナッタンデアリマスガ、此時總理大臣ハ如何ニ考ヘラレタンデゴザイマセウカ、我ミ普通ノ人情トシテ感ズル所ハ、若シ豫メ尼港ノ備ヲ手厚クシテ置イタナラバ、今日ノ心配ハナカッタト云フ感ハ何人ニモ起ルノデアリマス、手薄デアッタカラ、之ニ五中隊砲兵一中隊ヲ救援トシテ派遣シヤウトセラレタガ、ソレガ到底實行ガ出來ストナッタ場合、更ニ最初ノ守備ガ少シ手が足リナカッタト云フコトヲ遺憾ニ感ゼラレタコトハ無カッタノデアリマセウカ、殊ニ又水ガ解ケテ救援隊ガ著シテ見ルト、本邦人一人ノ隻影ヲ見ズト云フ誠ニ悲慘ナル有様ニ在ツタノデアル、此場合ニ於テハ更ニモウ少シ最初ニ守備ヲ殖シテアッタナラバ宜カッタト云フ御感ジハ、一向サウ云フ御感ジハ起ラナカッタノデアリマスカ唯其點ダケヲ第一ニ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(原敬君) 唯今感情ヲ基礎トスル質問デアリマス、ドウ云フ感じヲ持ツタト云フコトニ相成リマスレバ、普通ノ人ノ感ズル通リニ感ジテ居ルノデアリマス、固ヨリ澤山ノ兵ガ居リマシタナラバト思フノハ人情デアリマス、併ナガラ是ダケノ兵ヲ以テ是ダケノ邦人ヲ保護スルト云フヤウナコトハ、是多少御考ニナリマスレバ分リマセウガ、ソレハ實戰ハ當局ノ指揮ニ待タナケレバナラヌ、是デ宜シイト思フ所ノ派遣ヲシテ置イタト云フコトデアリマスカラシテ、其間ニ何等手落モ失策モナイコト、思フ、併ナガラ更ニ澤山ノ者ガ居リマシタナラバ差支ヘナカッタ、普通ノ人情トシテハ左様ニ感ジマス、併シ是ハニ中隊デ足リルカ足ラヌカノ……置キマシテモ慘殺ノ手ヲ加ヘタナラバ、其結果ヲ起スハ當リ前ノコトデアラウト思ヒマス、私モ澤山ノ兵ヲ置キマシタナラバ「バルチザン」ナドハア、云フ亂暴ナコトハサレナカッタノデトハ、私トシテモ思ハザルヲ得ヌノデアリマス

〔議長公爵德川家達君議長席ニ復ス〕

尙更仕合セデアル、イロ／＼ノ感ジガイロ／＼起ル譯デアリマス、是ハ責任問題デモ事實問題デモナイ、感情論ニシテ澤山ノ兵ガ居レバ宜カッタト云フニ

○江木千之君 唯今ノ御感想ガアッタ云フコトヲ伺ヒマスレバ、ソレデ第一ノ問ニ付テハ満足イタスノデアリマス、成ル程多イ程宜カッタラウト言フ感ジガ起ルト仰セラレルガ、併シ軍事當局ガ更ニ五中隊ヲ出シ砲兵一中隊ヲ出シタナラバ救援ハ足リルト考ヘタノデアルカ、何モソレ以上出ス必要モナカッタラウト思ヒマスガ、兎ニ角最初ノ備ガ手厚クアッタナラバ此出來事モ出來ナカッタノデアラウ、無論其後ノ御感想デアリマスガ、サウ言フ御感想ガアッタト言フコトデアリマスナラバ我ミト其點ハ感ヲ同ジクスルノデアリマス、ソレデ其御感ジヲ承ツテ置イテ第二ノ御尋ネガ致シタインデアリマス、過日藤村男爵ノ質問ニ對スル御答ノ中ニ此出來事ニ遭遇シテ 陛下ニ對シ奉ツテハ恐懼ニ堪ヘヌ、斯ウ云フ御言葉ガアリマシタガ、當時私ハ此御答ヲ承レバ殆ド此問題ハ解決スルト考ヘタノデアリマスガ、其後種々質問セラレル人ガアッテ、其御答ヘガアッタニ拘ラズ、少シマダ私共ハ了解ニ苦シムヤウナコトニ至ツタノデアリマスガ、併シ矢張リ私ハ藤村男爵ニ答ヘラレタ此出來事ニ對シテ陛下ニ對シ奉ツテハ恐懼ニ堪ヘヌト云フ精神ヲ有ツテ御出デノコト、考ヘルノデアリマス、唯今第二ノ御尋ネニ對シテノ御感想ヲ持タレル總理大臣ガ

陛下ニ對シ奉ツテハ此出來事ニ付テハ恐懼ニ堪ヘヌト云フ感ヲ有セラレルナラバ、私ハ此問題ハ此所ニ解決シヤシナイカト考ヘル、私ハソレダケ承ツテ置ケバ宜イデアルノデアリマス、今日マデ此問題ニ付テ貴族院ニ於テ多數質問ヲ發セラレタノデアリマスガ、苟シクモ 陛下ニ對シ奉ツテ、恐懼ニ堪ヘヌト仰セラレルナラバ辭表ハ何時出サレルノデアルカ、進退伺ハ何時出サレルノデアルカ、斯様ナコトヲ立入ッテ御尋ネセラレタ方ハ今日マデ一人モナインデアリマス、併シナガラドノ方ニシテモ、今日マデ然ラバ何時辭表ヲ出サレル、進退伺ヲ何時出サレルナド、云フヤウナコトヲ仰セラレタ方ハ一人モナイ、勿論部分的ニ見マスレバ當時ノ狀況ハ二中隊デ足レリト云フ軍事當局ハ考ヘマシテ、其後事變ニ際シテ、更ニ五中隊、砲兵一中隊ヲ出サウトシテソレ等ガ出テ行ッタナラバ救援ガ出來ルト考ヘラレタノデ、其所等ニ付テハ軍事専門眼ヲ以テ見ルト色々解釋ガアリマス、種々アリマセウガ、ソレ等ハ我ミ素人ガ議會ニ於テ餘リソレ等ノコトヲ論議スルト云フコトハ望マナイノデアリマスガ、果シテ其所ニ落度ガアリトスレバ、段々調べガ進行スルニ當ツテ軍法會議ト云フモノガアル、軍法會議ニ附セラレルコトモアラウン、或ハサウシナ

カッタノデアラウ、カッタノデアラウ、無論其後ノ御感想デアリマスガ、要スルニ七百ノ生靈ガスノ如キ悲慘ノ最期ヲ遂ゲタト云フコトハ兎ニ角是ガ地震ノ爲ニ土地ガ陥落シテ無惨ノ死ヲ遂ゲタナド、云フコト、ハ達ツテ軍事當局ノ爲スコトハ落度ガナカッタラウガ、矢張リ總理大臣ノモット澤山居タナラバ或ハ此悲慘ナ出來事モ免レタカモ知レマセヌト云フ御考ノ起ルノハ、天災地變ト違ヒ、人爲ヲ以テ免レルコトガ出來タカモ知レヌト云フ御考ガアルカラ、其御考ヲ有ツテ居ラレテ、サウシテ且ツ 陛下ニ對シ奉ツテ恐懼ニ堪ヘヌトスウ仰セラレルナラバ私ハ此以上伺フ必要ハナイト考ヘルノデアリマスガ、總理大臣ノ過日藤村男爵ニ御答ヘニナリマシタ言葉ハ唯今私ノ解シマシタヤウナ御趣意デアリマセウカ、念ノ爲メ之ヲ承ツテ置キタイト考ヘル

○國務大臣(原敬君) 誤解ノ無イヤウニ致シタイト考ヘル、兵ガ澤山居リマシタナラバ危險ガナカラウト感ジマスノハ人情デアリマス、誰モサウ感ズルカラ私モ左様ニ感ジタ、ソレニ依ツテ以テ當時アレダケノ兵ヲ置イタコトガ失策ナリト云フ結論デアリマスレバ御同様デアリマス、當時ニ於テアレダケノ兵ヲ以テ足レリト致シタト云フコトハ決シテ手落チヤ、失策、放慢デハナイト思フ、然ルニ誰ノ人情カラモ澤山居ル程危險ハ少ナイ譯ダ、斯ウ思フダケノ話デ、是ハ憲法、議院法、其他ノ關係ヨリ權利義務、責任論ヲ申スノニ非ズシテ、唯感情論ト解釋イタシマス、感情ナレバ何人モ左様ニ感ズルデアラウ、私モサウ感ジテ、依ツテ以テアレダケノ兵ヲ置イテ失策ナリト云フ結論デアリマスレバ、私ハ御同意イタサヌ、又 陛下ニ對シ奉ルコトノ御質問デアリマスガ、是ハ權利義務ノ問題デハナイト思ヒマス、責任ノアルナシノ關係ナシト思フ、責任ガアリトスレバ尙更相當ナルコトヲ致スノガ我ミノ當然ノコト、考ヘル、左様ナル措置ヲ執ツタノデアリマス、此邊ヲ誤解ノナキコトヲ希望イタシマス

〔議長公爵德川家達君議長席ニ著ク〕

○江木千之君 總理大臣ノ御答ハドウモ少し了解シ兼ネマスルガ、モウ少シ多數ノ兵ヲ置イタナラバト云フ感ジハ普通ノ人情ニ於テハアル、其感ジヲ有ツテ居ルト云フ御言葉デアリマス、是ハ無論道德上ノ觀念デアッテ……

其コトガ何モ法律上ノ觀念デハナイノデアリマスカラ、尙總理大臣ニ於テモ其人情ガアラセラレルト云フコトナラバ、如何ニモ御尤ト感ズルダケノコトデアリマス、サウ云フ御考ノアル總理大臣ガ、此事件ノ起ツタノハ 陛下ニ

對シ奉^フテ甚^ハ恐レ多イコトデアル、斯ウ云フ御考ヲ持タレルト云フコトナラバ、天災地變ニ依^フテ尼港ガ陷落シテ我ガ居留民ガ皆亡^クナ^ッタト云フノトハ餘程事情ガ違^フト考ヘルノデアリマスルガ、其點ガ左様ニ御考ニナラヌノデアルカドウカ、若シ、陛下ニ對シ奉^フテ恐入ルガ一點モ責任ハナイ、斯ウ云フコトニナルト如何ニモ了解ガ出來カネルノデアリマス、又責任ガマルデナイト云フコトヲ斷言セラレテ、或ハ、陛下ニ對シテ恐入ル所ガナイト云フ御話ニナルト、全ク私共ノ考ト齟齬スルト云フコトニ至ルト、我ミハ我ミトシテ我ミノ考ノアル所デ如何ナル方法ニ依^フテカ之ヲ發表シナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘルノデアルガ、甚^ハダスノ如キコトハ好マシクハ考ヘヌノデアリマス、總理大臣ハ如何ニモ此事ハ人爲ニ依^フテ、ヤリ方ニ依^フテ或ハ今日ヨリ考ヘルト免レタカモ知レヌ、併ナガラ當時自分共ガ是レ以上ノ處置ハナイト考ヘテヤ^ッタンドアルガ、今日ヨリ考ヘテ見ルト全クノ天災地變^デナイ以上ハ、或ハ人爲ニ依^フテ此事ヲ免レタカモ知レヌデ遂ニ此事ガ起^フタト云フニ至^フテハ如何ニモ、陛下ニ對シ奉^フテ恐懼ニ堪ヘヌ次第デアル、斯ウ云フ御考ガ起ルベキデアラウト考ヘマスガ、其ノ御考ガ起ルト云フコトデアレバ、私共ハ夫レ以上御質問申スコトモナインデアル、決シテ我ミハサウ云フ御考ガアルナラバ辭表ヲイツ出スヤ、進退伺ヲイツ出スヤ、サウ云フ御考ノアル方ガ中議院ニ出テ來ラレル筈ハアルマイ、斯クノ如キコトハ私ハ御尋ネスルト云フ考ハナイノデ、今日マデノ此議場ノ有様ヲ見マスト、斯ノ如キ言葉ヲ發セラレルモノハ今後ト雖モ恐ラクハ私ハナカラウト考ヘル、唯如何ニモ非常ナル事件ガ起^フタンデアルノデ、我ミハ如何ニモ今陸軍大臣モ宸襟ヲ憐マシ奉^フタトスウ申サレタ、即チ恐懼ニ堪ヘヌト云フコトヲ述ベラレテ居ルノデアル、其御趣意ノアルカナイカラ承リタイ、且^シ此場合ニ申添ヘテ置キタイト思フモノハ、初メ陸軍大臣ノ答辯ガアッタニ付テ質問者タル阪谷男爵ハ満足セラレ、私モ其後外務大臣ニ對スル質問ニ於テ如何ニモ立派ナ御答デアル……陸軍大臣ノ御答ハ立派ナ御答デアルト言フコトヲ申シタ、尙又外務大臣ノ御答辯ニ付テハ私ハ念^フ押シテ置イタ所ガ、ソレニ付テハ更ニ御發言モナカッタノデ、私ノ言フ所ハ御承認ニナ^ッタモノト考ヘタ、然ル所藤村男爵ヘノ御言葉、或ハ衆議院ニ於テノ御答辯ガ少し齟齬シテ居ルト言フノデ、世間デハ或ハ陸軍大臣ガ二枚舌^フ使フトカ、三枚舌^フ使フトカ、外務大臣ガ豹變シタト言フヤウナコトヲ、色^ム申シテ居リマスルガ、又私ノ一旦感服シタコトモ取消ス

ヤウナコトニナルデアラウト言フ說モ伺^フタノデアリマスガ、私ノ感服シタコトヲ取消スノハ何デモナイコトデアルガ、併シ此事タルヤ我國ノ風教上ニ非常ナル影響ヲ及ボスト考ヘルノデアル、私ガ感服シタト云フノハ何ニ依^フテ居ラレルト考ヘタノデアル、或ハ此憲法政治ニナ^ッテ議會ニ應答セラル、間ニハ古武士一偏デハイカヌカモ知レヌ、併ナガラ其精神ハ失ハレテ居ラヌ、斯ウ確信シテ居ルノデアル、殊ニ國務大臣ト申シテモ軍服ヲ著テ、陸軍ノ將官デ内閣ニ列シテ居ラレルノデアル、是レ即チ軍人デアル、古武士ノ精神ハ決シテ失^フテ居ラヌ人ト、私ハ確信シテ居ル、又外務大臣ノ如キモ亦私ハ其人ト爲リハ承知シテ居ルノデアル、決シテ一枚舌^フ使フ、豹變スルト云フヤウナ人格ノ方デアルトハ考ヘテ居ラヌ、サウ云フ御方ガ責任ヲ取ル、斯ウ云ハレタコトハ私ハ確カニ是レハ、陛下ニ對シテ恐入ル、斯ウ云フコト、受取^フタノデアリマス、ソレガ若シ左様デナクシテ私ノ感服シタルガ間違デ、決シテサウ云フヤウナ精神デハナカ^ッタンド、アレハ他所ノコトヲ云^フテ居ラレ、或ハ又一度ハサウ云^フタガ、サウデナイト云^フテ一枚舌^フ使^フタ、斯ウ云フコトガ若シ事實デアリマシタナラバ、私ハ人ヲ見ルコト甚^ハ不明ナリト云フ評ハ甘ンジテ受ケル、ノミナラズ若シサウ云フ事實デアルナラバ、不明ナリト云フ評ハ私ハ喜ンデ受ケルノデアリマスガ、苟モ國務大臣トシテ斯ノ如キ人ミデ居ラレタナラバ、實ニ私ハ國家ノ爲ニ是ハ情ケナイ始末デアルト考ヘルノデアル、ガ私ハ決シテサウデナイ、當初考ヘタコトニ今日デモ私ハ決シテ間違ヒナイト考ヘテ居ル、私ハ矢張リ外務大臣ハ立派ナ國士デアリ、陸軍大臣ハ立派ナ軍人デアル、私ノ敬服シタ點ニ於テ間違ヒハナイト私ハ考ヘル、又左様ニ信ズル節モアルノデアリマス、ドウカ總理大臣ニ於カレテモ私ノ信ズル所ノ如キ御意思デアルコトヲ希望シテ、之ニ對シテハ然リト云フ御答ヲ得タイト思フノデ、私ハ何モ内閣ヲ攻撃シテ快トスルト云フ精神ハ私ニハ毛頭ナマスカラ、之ニ對シテ此一言ノ御答ヲ承^フテ置ケバ、私ノ任務モ之ニ盡キルノデアル、國務大臣(原敬君)重ネテ申シテ置キマスガ、ア、云フ擊殺ニ會ウタト云フヤウナル悲報ニ接シタル時ノ感情ハドウデアッタカト云フ御尋ネデアリマスカラ、貴族院議員トシテ或ハ上下ニ對シテ我ミノ任務ヲ終ルト考ヘルノデアリマスカラ、之ニ對シテ此一言ノ御答ヲ私ハ承リタイト考ヘルノデアリマス

テ、甚ダ冷淡ノコトヲ申シタヤウデアリマシタケレドモサウ云フ趣意ニ他ナラヌノデアリマス、後カラ考ヘマスレバモット兵ガ居ッタラ宜カラウト云フコトハ無論考ヘマス、尙又居留人ガ引上ゲテ居ッタラ宜カラウト云フ感情モ起リマス、尙ホ進ミマシテ「バルチザン」ト衝突シナイヤウナ何カ方法ガナカッタカト云フヤウナ感情モ起リマス、非常ニ千差萬別デアリマス、併シ責任論ト云フヤウナコトハ、感情ヲ以テ斷定ハ出來ナカラウト私ハ考ヘル、感情ト責任トハ冷靜ニ判断スペキコトデアルマイカト私ハ考ヘル、唯感情ガ左様デアッタカラト云ウテ、同時ニ責任論ヲソレニ依ッテ斷定スルト云フコトハ、餘リニ感情ノミニ趨ツテ居ルノデハアルマイカ、理性ノ上カラ考ヘナケレバナラヌノデハナイカト思ウテ居ルノデアリマス、サウシテ上 陛下ニ對シ奉ッタコトニ付テハ、何モ議場ニ於テ……辭表ヲ出ス、進退伺ヲ出ス者ハアルマイカト云フヤウナ御尋ネデアリマシタガ、ソレハ私共ノ關スル所デハアリマセヌ、今日サウ云フコトハ承ッテ居リマセヌ、私トシテモ亦左様ナコトハ申シタノデハアリマセス、藤村君ノ御質問ニ對シテモ、簡單ナガラモ 陛下ニ對シ奉ッテハ、責任ノアルトカナイトカ云フヤウナ問題デハナイノデアリマス、斯様ナ出來事ヲ生ジマシタナラバ責任ガアレバ尙更ラ、責任ナシト雖モ相當ナルシタノデアリマス、決シテ此點ニ於テ、我々ハ強辯ヲ費シテ、又ハ此コトヲ等閑ニ附シテ居ルト云フヤウナル次第デナイト云フコトヲ御了解ヲ願ヒタイノデアル

○國務大臣(子爵内田康哉君) 或ハ江木君ノ唯今御述ベニナリマシタ事柄ヲ、私ガ能ク聽取リ兼ネタ點ガアリハシナイカトモ思ヒマス、他日ノ誤解ヲ防ギマスル爲ニ、私ガ江木君及ビ藤村君ニ對シマシテ、其事件ニ關スル責任云々ノ御質問ニ對シテ答ヘタ趣旨ヲ、重ねテ此所デ申上ゲテ置キタイト思フ、私ノ申シマシタコトハ當時ノ事情、總テノ狀況ニ顧ミマシテ、盡スダケノコトハ盡シタ積リデアル、然レドモ調査ノ上、失策ナリ過失ガアルナラバ敢テ問ニ答ヘマシテ、何カ私ガ不可抗力ト云フヤウナル文字ヲ使ッタヤウニ、新聞ナドニ出テ居リマスケレドモ、是ハ決シテ私ニ於テ使ッタ覺エガナイノデアリマス、唯當時藤村君ガ議席ヨリ更ニ質問ヲサレマシタ時ニ、實ハ不可抗力ト

云フ文字ヲ御使ヒニナリマシタコトヲ、後ニ速記録デ承知シテ居リマンシタケレドモ、私ノ耳ニハ這入リマセヌ、唯若シ過ガ發見シタナラバ、之ニ任ズルカト云フ御質問ヲ主眼ト心得マシテ、然リ……左様デゴザリマスト云フ御答ヲ致シタ次第デアリマス、左様ドウカ御承知ヲ願ヒマス

○江木千之君 過日私ガ外務大臣ニ質問ヲ致シマシタノハ、此事件タルヤ、單ニ陸軍大臣ノミノ引受ケデハナカラウ、外務大臣ニ於テハドウ云フ御考デアルカト云フコトヲ伺ッタ所ガ、當時西比利亞ノ狀況ハ斯ウ云ウデアッタ言フコトヲ縷々御述ベニナリマシタカラ、ソレニ對シテ私ハ部分的ノ狀況ノ御報告ハ如何ニモサウデアツタラウ、ケレドモ西比利亞全體ヲ大觀シテ見ルト、西比利亞ノ狀況ト云フモノハ油斷ノナラヌモノデアル、朝ニタヲ圖ラレズト云フ有様デアル、「コルチヤック」ノ政府ガ立ツカト思フト倒レルシ、「セメヨノフ」ガ立ツカト思ヘバ直キ又勢力ヲ失フ、或ハ我々ガ「チエック、スローヴァック」ヲ救援シテ居ルト、何時ノ間ニカソレガ過激派ニ變ジテ我ニ矛ヲ向ケルト云フヤウナコトガ出來スル、或ハ緩衝地帶ヲ設ケルト云フヤウナコトヲ口ノ先ニ云フ者ガアッテ、ソレヲシヤウト思フト、存外サウハイカヌト云フヤウナ譯デ、西比利亞ノ狀況ト云フヤウナモノハ實ニ變化極マリナシト云フ今日有様デアル、ソレハマダ露西亞ガ今敵國トシテ扱ッテ居ル譯デハナイノデアル、即チ處々ニ領事館ヲ置イテ居ル位ノコトデアルカラ、外務大臣ハ外交上ヨリ種々ノ消息ヲ得テ、之ヲ軍部ニ報告イタス務ハアルダラウト思フ、其方カラ考ヘルト西比利亞ノ狀況ヲ大觀シテ、軍部ニ注意ヲ與ヘテ然ルベシト考ヘル、ソレ等ノコトノナカツタノハ多少手抜カリガアルト云フ御考ハナイデアルカ、無論部分的ノ狀況ヲ御報告ニナツテ居ルコトハ、一々了承イタスノデアルガ、併ナガラ西比利亞ノ大勢ヲ見テ、大勢上ノ御觀察カラシテ、無援孤立ノ地ニアル居留民ノ保護ニ付テハ念ニハ念ヲ入レナケレバナラスト云フヤウナコトハアリサウナモノダト思フガ、今ニシテ顧ミルナラバ、多少手抜リガアッタ云フヤウナ御感想モアツタラウト考ヘル、斯ウ云フコトヲ申シテ私ノ質問ヲ終ツタノデアリシテ、決シテ一枚舌ヲ使ッタ覺エハ毛頭ゴザイマセヌ、又先日ハ藤村君ノ御質問ニ答ヘマシテ、何カ私ガ不可抗力ト云フヤウナル文字ヲ使ッタヤウニ、新聞男爵トノ御回答デハ、又サウ云フ意味ハ少シクハッキリシナイヤウナ點モ出テ來タノデアリマシタガ、遂ニハ今御述ベニナツタ通り、藤村男爵カラ不可抗力デアツタカト云フ質問ガアツタノニ對シテ、然リト唯一言答ヘテ居ルノデアリ

マス、ソレ故ニ世間デハ外務大臣モ不可抗力ト言ハレタト云フヤウナコトニ
ナッタノデアリマセウガ、併シソレハ外務大臣ノ御答ニ不可抗力ト云フコトハ
ナイト云フコトハ、今御述べニナリマシタ通り私モ承知シテ居ル、唯大體上
カラ外務當局トシテ、モウ少シ御注意ガアッタラ宜カラウノニ、今日トシテハ
多少ノ手抜リガアッタト云フコトハ、御認メニナラザルヲ得ナイデアラウト云
フコトヲ申シタノニ、ソレニハ何等御答ハナクシテ、御承知ニナッテ居ルノデ、
私ガ外務大臣ニ對シテ質問ハモウソレデ盡シタト實ハ考ヘテ居ツタノデアリ
マス、總理大臣ノ御答ハ稍、私ノ趣意ニ適フガ如ク、又然ラザルガ如ク、ハッ
キリ突止ムルコトハ出來マセヌガ、尙ソレハ退イテ速記録ニ付テ熟考シテ、
更ニ伺フコトガアレバ、又機會ハイクラモアラウト思ヒマスルカラ、ソレニ
從ツテ致サウト考ヘマス

〔男爵阪谷芳郎君發言ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 之ニテ通告ヲ全部終了イタシマシタ阪谷男爵ガ發
言ヲ求メラル、ヤウデアリマスガ何カ……

○男爵阪谷芳郎君 去ンヌル三日、本員ノ質問イタシマシタ尼港問題ノコト
デ、簡單ニ申上ゲマシテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○男爵阪谷芳郎君 本員ガ去ンヌル三日尼港事件ノ責任ニ付キマシテ承リマ
シタ事柄ガ、本員ニ於キマシテハ一段落ヲ告ゲタリト考ヘテ居リマシタノデ
ゴザイマスガ、段々ソレ以來數日間ノ質問應答ニ依リマシテ、又唯今江木君
ト總理大臣トノ質問應答ニ依リマシテ、再ビ迷宮ニ這入ッタヤウナ感ガ致シマ
ス、併シ既ニ數日間討論ヲ經マシタルコトデゴザイマスデ、又再ビ此處ニ質
問ヲ繰返スト云フコトハ、是ハ容易ナラザル時間ヲ要スルコト、考ヘマスル
カラ……デ本員ハ更ニ適當ナル時機ニ重ネテ質問イタシタイト考ヘマスノ
デ、其コトダケ一言申述ベテ置キマス

○男爵藤村義朗君 私ノ九日ノ質問ニ對シテハ、何モ御答辯ハコザイマスマ
イカ……

○國務大臣(原敬君) ソレハ私ニ對スル御質問ノコトデスカ

○男爵藤村義朗君 左様デゴザイマス

○國務大臣(原敬君) 御答イタシテモ宜シウゴザイマス、併シ時ガ掛カラウ
ト思ヒマスガ……併シ其翌日ノ御質問デ其コトハ盡キテ居ルト解釋シテ御答

マス、ソレ故ニ世間デハ外務大臣モ不可抗力ト言ハレタト云フヤウナコトニ
ナッタノデアリマスレバ、更ニ御答辯イタスコト、致シマス
ナイト云フコトハ、今御述べニナリマシタ通り私モ承知シテ居ル、唯大體上
カラ外務當局トシテ、モウ少シ御注意ガアッタラ宜カラウノニ、今日トシテハ
多少ノ手抜リガアッタト云フコトハ、御認メニナラザルヲ得ナイデアラウト云
フコトヲ申シタノニ、ソレニハ何等御答ハナクシテ、御承知ニナッテ居ルノデ、
私ガ外務大臣ニ對シテ質問ハモウソレデ盡シタト實ハ考ヘテ居ツタノデアリ
マス、總理大臣ノ御答ハ稍、私ノ趣意ニ適フガ如ク、又然ラザルガ如ク、ハッ
キリ突止ムルコトハ出來マセヌガ、尙ソレハ退イテ速記録ニ付テ熟考シテ、
更ニ伺フコトガアレバ、又機會ハイクラモアラウト思ヒマスルカラ、ソレニ
從ツテ致サウト考ヘマス

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 唯今藤村君ノ重ネテノ御質問デアリマシテ、翌日答辯
イタシマシタノデ尙ホ盡キナイト云フ御見込デアリマスガ、成程御演説ノ全
體ヲ拜見イタスト、アレデ盡キテハ居ラヌヤウデアリマスガ、ソレニ依ツテ更
ニ御答イタシマス、前ノ御質問ハ二點ニ歸著スルヤウデアリマス、第一點ハ
國民ノ密著ノ關係アル國防ノ新規計畫ハ大變ナ影響ヲ有ツテ居ルト斯ウ云フ
コトデアリマス、成程今日經濟界モ色ニナッテ居リマスルカラ、此場合ニ國
防ニ必要ナル經費ヲ求ムルト云フコトハ、多少經濟界ニ取ツテモ困難ナル事情
ヲ生ジマスコト、思フ、併シ之ニ依ツテ此國防計畫ヲ致シ、國防計畫ニ對スル
財源ヲ求メテ增收案ヲ提出イタシタイト云フコトヲ以テ、國民思想ニ影響ア
ルモノトハ考ヘマセヌ、從ツテ第二ノ御質問ニナッテ居リマスル此國防計畫ヲ
延期シテハ如何カト云フコトデアリマスガ、是ハ今日ノ場合延期スルコトハ
出來ナイノデアリマス、然ラバ斯様ナル大切ナルモノガアルニ拘ラズ、解散
ヲ致シテ暫ク延期ノ據所ナク相成ッタノハドウカト云フコトニ、此御質問ノ全
體ヲ拜見イタスト考ヘルノデアリマスルガ、是ハ彼ト此トノ比較ヲ申シマス
レバ、觀ル所ニ依ツテ色ニアリマセウケレドモ、國民一般ノ休戚ニ關スルコト
デアリマス、一般ノ思想ニ關スルコトデアリマス、全體ニ關スルコトニ付テ
ハ、國民ノ公平ナル判斷ヲ求ムルハ已ムヲ得ヌノデアリマス、サウ云フ場合
ニハ數箇月是モ遲レマスルコトモ尙忍バザルヲ得ヌト考ヘテ居リマス、之ヲ
忍シダガ故ニ、更ニ國防計畫ヲ一時延期スルトスウ云フコトハ、今日ノ事態
ニ於テ出來兼ヌルノデアリマス、之ヲ以テ御質問ノ二點ニ對スルコトハ盡キ
ルト思ヒマス

○男爵藤村義朗君 唯今總理カラ私ノ質問ノ速記録ニ對スル御返事ガゴザイ
マシタガ、伺ヒマス所デハ更ニ要領ヲ得テ居リマセヌノデアリマス、併ナガ
ラ是レハ此上ハ議論ニ相成リマスノデ、具體的ノ質問ハ何レ豫算會其他ニ於
テ致シタイト思ヒマス、尙ホ一ツ申残シテアルコトガアルノデスガ、御許シ

ヲ得マシテ此席カラ一言申上ゲタウゴザイマスガ、宜シウゴザイマスカ……ソレハ此度ノ尼港事件ハ在留人民ガ虐殺ニサレテ、而モ非常ニ惨メナ惨酷ナル目ニ遭ツテ虐殺ニサレタノデアリマスガ、此曠古未會有ノ悲慘事ニ對シマシテ、列國ハ何等同情ヲ有ツテ居ラレヌヤウニ私ハ存ジマスガ、如何デゴザイマセウカ、實ハ從來我國ニ天災地變不幸不凶ノ事ガ起リマスルト云フト、縉盟

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナケレバ 日程第二、第三ハ一括イタシテ議題トシ同一ノ特別委員ニ付託致シマス、第一裁判所構成法中改正法律案、政府提出、第一讀會、第二、定年ニ因ル退職判事檢事ノ恩給ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會、本日ハ通牒文ノ朗讀ハ省略イタシタイト考ヘマス、御異議アリマセヌカ

親交國ノ君主、大統領若クハ政府カラハ、必ズ同情慰問ノ懇切ナル電信或ハ書簡ニ接シテ居ルコト、思ヒマス、始終ソレ等ノコトハ私ハ新聞紙上ニ依テ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

伺シテ居リマスガ、今回ノ事ニ付キマシテハ、唯一セメヨノフ」カラ大井吉令
官ニ同情ノ電報ガアリマシタ外ニハ、何等モ新聞デハ見テ居リマセヌガ、ド

〔左ノ通牒文及議案ハ
ニ徵フ〕

カニガラモ、外何ノ同情ノ言葉モ參ス。居リテヤニサイマセウカ。色
色排日トカ何トカ云フ思想ガ起ツテ居リマス際、尙又政府ノ西班牙對策ニ付
シテノハトヨ。

裁半所標成法中改正法律案

モ氣ニ掛リマスノデ、列國各元首、政府カラ尼港ノ問題ニ付キマシテ何等カ
同憲憲明ノ言葉ガダリマシタカ、ダリマセヌデゴザリマスカ、是ダケ

大正九年七月九日

チヨット伺テ置キタウゴサイマズ

〔國務大臣子爵内田康哉君演擅二登ル〕

○國務大臣(子爵内田康哉君) 唯今ノ御質問ニ御答ヲ致シマスガ、私ノ接觸

シテ居リマスル所ノ在京各大公使ニリ。面會ハ管説ニ悲憫ガニトアル。云フ同情的ノ言葉ヲ得テ居リマス、改メテ各國大統領又ハ政府ヨリ公然タル書面デナリ、或ハ電報ナリデ受ケタコトハゴザイマセヌ、左様御承知ヲ……。

○議長(公爵徳川家達君) 本日ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第一、公爵
徳大寺公弘君、侯爵醍醐忠重君、子爵松平康民君、男爵後藤新平君、田邊輝
實君、山田春三君、和田維四郎君、下條正雄君、田中源太郎君請暇ノ件、德
大寺公爵病氣ニ付會期中、醍醐侯爵公務上會期中、松平子爵病氣ニ付會期中、
後藤男爵病氣ニ付會期中、田邊君病氣ニ付會期中、山田君病氣ニ付八日間、
和田君病氣ニ付會期中、田中君病氣ニ付會期中ノ請

暇デゴザイマス、何レモ許可ヲ致シテ御異存ゴザイマセヌ力
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

裁判所構成法中改正法律案

內閣總理大臣 原敬
司法大臣 伯爵大木 遠吉

裁判所構成法中左ノ通改正ス

外國語ノ通譯ヲ要スル裁判所及檢事局ニ通譯官ヲ置クコトヲ得
第七十一条ノ二前三條ノ規定ノ適用ニ付テハ、判事又ハ、檢事タレ

第七十一條ノ二 前二條ノ規定ノ適用ニ付テハ半事文ハ檢事タル資格ヲ有スル司法省各局長司法省參事官ノ在職ハ之ヲ判事ノ在職ト看做ス

第七十四條ノ二ヲ第七十四條ノ三トス
第二回目二二二零完長手續不二五

第七十四條ノ二 大審院長年齢六十五年其ノ他ノ判事ノ職ニ在ル者年齢六
十三年ニ達シタルトキハ退職トス但シ司法大臣ハ控訴院又ハ大審院ノ總

會ノ決議ニ依リ五年以内ニ於テ期間ヲ定メ仍在職セシムルコトヲ得

第七十九條第一項中「勅任又ハ奏任」ヲ「親任勅任又ハ奏任」ニ改メ同條第三項中「勅任僉事」ヲ「親任僉事」ニ改ム

第八十條ノ二 檢事總長年齢六十五年其ノ他ノ檢事ノ職ニ在ル者年齢六十

第八十六條中「區裁判所及檢事局」ヲ「區裁判所檢事局及書記長ヲ置カサル

「地方裁判所」ニ改メ「地方裁判所ノ書記課ニ監督書記ヲ置ク」ヲ削リ同條

第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

地方裁判所ノ書記課ニ書記長ヲ置クコトヲ得

第八十八條中「書記長」ノ下ニ「及通譯官」ヲ加フ

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

定年ニ因ル退職判事検事ノ恩給ニ關スル法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正九年七月九日

内閣總理大臣

司法大臣 伯爵大木 遠吉

原 敬

定年ニ因ル退職判事検事ノ恩給ニ關スル法律案
本法施行ノ際現ニ判事又ハ檢事ノ本官ニ在職スル者本法施行後引續キ判事
又ハ檢事トシテ在職シ裁判所構成法第七十四條ノ二又ハ第八十條ノ二ノ規定
ニ依リ退職シ恩給ヲ受クヘキ場合ニ於テハ其ノ恩給年額ハ官吏恩給法第五
五條ノ規定ニ依リ計算シタル年額ニ其ノ百分ノ五十二相當スル金額ヲ加ヘ
タルモノトス

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ判事検事相互ニ轉任シタル場合ハ引續キ在職シ
タルモノト看做ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣伯爵大木遠吉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵大木遠吉君) 唯今議題ニナリマンシタ裁判所構成法中ノ改正
法律案並ニ恩給ノ改正法律案、之ニ付テ一應ノ御説明ヲ申上ゲマス、先づ裁

判所構成法中改正法律案ノ此重要ナル點ハ、判事及ビ檢事ノ退職ニ付キマシ
テ、一定ノ年限……年齢ヲ設ケマシテ、而シテ後進ノ進路ヲ開キ、又新陳代
謝ノ途ヲ促シ、以テ此司法部内ノ氣風ヲ茲ニ刷新ヲ致サムトスルノガ其重要
ナル點デアリマス、第二ニハ、檢事總長ノ地位ヲ向上シマシテ、之ヲ親任官
ニマデ爲スコトガ其ニデアリマス、其他通譯官、書記長ノ任免等ニ付キマシ

テ改正ヲ企テタノデアリマス、是レハ御承知ノ如ク司法部内ノ氣風ノ刷新ニ
付キマシテ最モ必要ナル案デアリマスルガ故ニ、何卒十分ニ御審査ノ上ニ御

協贊アラムコトヲ願フノデアリマス、尙細カキ事ハ何卒此委員會ニ於キマシ
テ十分ニ申述ベタイト思フノデアリマス、ドウゾ宜シク、ソレカラ恩給ニ付
キマシテハ今回ノ定年ニ因リマシテ退職ニナル所ノ者ニ對シマシテ、是レニ
ゾ是モ何卒御審議ノ上御協贊ヲ願ヒタイノデアリマス

○男爵佐竹義準君 私ハ司法大臣ニ質問ガアリマス、細カイ事ニ付キマシテ
ハ、何レ委員會ニ於キマシテ、種々御討議ガアルコト、存シマス、併ナガラ
此裁判所構成法中改正法律案ノ骨子トナツテ居リマス所ノ判事ノ定年ヲ設ケ
ラレタト云フコトハ、私共ノ見解ニ依リマスト、憲法ニ抵觸シテ居ルヤウニ
存ジマス、憲法ノ條項ニハ憲法第五十八條ニ「裁判官ハ法律ニ定メタル資格
ヲ具フル者ヲ以テ之ニ任ス」第二項ニ「裁判官ハ刑法ノ宣告又ハ懲戒處分ニ由
ルノ外其職ヲ免セラル、コトナシト、斯ノ如ク明記サレテ居ルノデアル、而
シテ一方裁判所構成法ニ依リマスト、構成法ノ第七十四條ニハ「判事身體若
ハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルコト能ハザルニ至リタルトキハ司法大臣ハ控
訴院又ハ大審院ノ總會ノ決議ニ依リ之ニ退職ヲ命スルコトヲ得」、裁判所構成
法ノ方ハ詰リ一ノ例外法ヲ設ケラレテ、憲法デ司法權ノ獨立ト云フコトヲ保
障サレル爲ニ憲法第五十八條ニ其規定ガアル、然ルニ此度定年ヲ決メラレタ
ト云フコトハ、如何ナルモノデアリマセウカ、是ハ憲法ト全ク抵觸ガナイト
御認メニナルノデアルカ、又ハ抵觸ハアルケレドモ之ヲ避ケル途ガアル、斯
ウ云フコトデアルカ、抵觸ガナイト云フコトナラバ何故ニ抵觸ガナイカ、又
抵觸ガアルナラバ之ヲ避ケル如何ナル方法ガアルカト云フコトノ御説明ヲ
伺ッテ置クコトハ、此際最モ必要ト存ズル、ソレダケ……

〔國務大臣伯爵大木遠吉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵大木遠吉君) 御答ヲ致シマス、憲法ニ抵觸ハ致サナイ、斯
様ニ考ヘルノデアリマス、其理由ハ決シテ年齢ガ定年ニ達セリト雖モ、其
ノ官ヲ剥グノデハナイノデアリマス、縦シ判事タリ檢事タル者ト雖モ、檢事
ハ終身檢事ナルガ如キ者ヲ、官ヲ剥グコトハ致サナイ、唯ダ職ガ停マル、斯
様ナ譯デアルカラ決シテ憲法ニ抵觸シナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○男爵佐竹義準君 私ハ決シテ官ヲ剥グトハ申シマセヌ、憲法ニ剥グトハ書 レバ裁判所構成法七十四條ヲ適用シタ事例ハナイ、判事ハ固ヨリ非常ナル保イテゴザイマセヌ、此職ト官トハ大變趣ガ違ヒマス、憲法ノ五十八條ニハ「裁判官ハ刑法ノ宣告又ハ懲戒ノ處分ニ由ルノ外職ヲ免セラル、コトナシ」ト斯

○國務大臣(伯爵大木遠吉君) 職ヲ退クノデアリマス、職ヲ退クト云フコトハ委員會ハ憲法ニ抵觸ナサズス様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、尙詳シイコトハ委員會デ十分ニ御話シタイト思ヒマスガ、貴重ナ時間ナルガ故ニ是ダケ御了解ヲ得ルコトガ出來ルト信ジマス、左様ニ御願致シマス

○男爵佐竹義準君 何レ委員會デモ十分ニ伺ヒマセウガ、憲法ニ抵觸ヲシテ居ル居ラヌト云フコトノ理由ハ、一見此處デ十分御説明ニナル方ガ、委員會ニ於テ討議ニ大變都合ガ好クハ無イカト存ジテ質問シタノデアリマスガ、此

以上御説明ガ無イト云フコトデアレバ是レデ質問ヲ止メマス

○江木翼君 私ハ此法案ニ付キマシテ大體ノ事ダケニ關シテ一つノ質問ヲ致シタイ、處ガ御質問致シマス前ニ事實上ノコトニ付キマシテ政府ノ御答辯ヲ得テ置キタイ、唯今佐竹男爵カラ質問ガアリマシタガ、裁判所構成法七十四條ニ判事身體又ハ精神ノ衰弱ニ因ツテ職務ニ堪ヘナイ場合ニハ決議ニ依ツテ退職ヲ命ズルコトガ出來ル、此條項ヲ判事ニ御適用ニナリマシタ事例ハ最近ニドノ位ゴザイマセウカ

〔政府委員鈴木喜三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(鈴木喜三郎君) 江木君ニ御答イタシマス、構成法ノ七十四條ヲ適用致シマシテ退職ヲ命ジタコトハゴザイマセヌ

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス

○江木翼君 私ハ未ダ質問ノ本題ニ這入ラナイノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 跡デ願ヒマス

〔岡書記官朗讀〕

裁判所構成法中改正法律案外一件特別委員

侯爵細川護立君 伯爵寺島誠一郎君 男爵小澤武雄君
松室致君 仲小路廉君 男爵若王子文健君

男爵島津久賢君 磯部四郎君 矢口長右衛門君

○江木翼君 餘リ細ミシタ質問ハ時間切迫ノ場合止メマス、大體政府ノ此法案提出ノ御經過ニ付テ一二チヨット承ツテ置キタイト思ヒマス、唯今承リマス

○國務大臣(伯爵大木遠吉君) 江木君ニ御答イタシマス、今ノ御尋ハ行政裁判所、或ハ會計検査院等モ今ノ定年齢ノ如キ設ケラ企テル議ハナカッタト云フ御尋デアリマスガ、左様ナ議ガアリマセヌ、左様御承知ヲ願ヒマス

○江木翼君 モウ一遍伺ヒマス、其議ガナカッタ致シマシタナラバ何ガ故ニ然ルコトガ御詮議ニナラナカッタノデアリマスカ、同ジク憲法上獨立ノ機關、立法府或ハ政府ニ對シテ獨立ノ位置ヲ保ツテ居ル行政裁判所、會計検査院、是ハ憲法六十一条ニ規定セラレテ居リマス、一方ハ憲法七十二條ニ規定セラレテ居リマス所ノ兩方トモ獨立ノ機關而モ其ノ官吏ノ身分ノ保障ト云フモノハ殆ド同様デアル、然ルニ一方ニハ之ヲ行ヒ、一方ニハ之ヲ行ハナイト云フノハ、如何ニモ彼是權衡ヲ得ナイヤウニ思フノデアリマス、此點ニ對スル政府ノ御見解ハ如何デアリマスカ、恐ラク是ハ全般ニ瓦リマスコト故ニ、總理大臣カラ御辯明下サルノガ一番早ク分ルカト思ヒマス

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 唯今ノ江木君ノ御質問ハ全般ニ瓦リマスカラ、御説ノ通リ私ガ答辯イタシタ方ガ便利デアラウト考ヘマス、私ガ此處ニ申スマデモナク、法律ハ必要カラ起ルノデアリマスルガ、今日ノ所ニ於キマシテハ行政裁判所、會計検査院ニ同様ナル法律ノ規定ヲ設クルヤウナル必要ヲ認メマシタナラバ更故ニ提出イタサヌノデアリマス、他日又左様ナル必要ヲ認メマシタナラバ更ニ提議スル場合ガアリマセウケレドモ、今日ニ於テハ其必要ヲ認メマセヌノデアリマス

○江木翼君 全ク要領ヲ得マセヌデゴザイマスガ、唯ダ時間ヲ潰スダケデゴザイマスカラ私ハ委員會ニ於テ此點ハ御審査アルベキコト、思ヒマスカラ、モウ質問イタシマセヌ

○矢口長右衛門君 極ク簡單ナル質問デゴザイマスカラ此處カラ司法大臣ニ

…唯今此コトハ委員會デ述ベルト云フ御答デアリマスガ、此問題ノ質問ノ

…極ク簡單ナル問題ヲ僅カニ止メテ、而シテ他ニ質問者ガアルノニ委員會

デ説明ヲスル、此處デハ餘リスルナト云フヤウナコトハ、此議事ヲ重ンズル

上ニ於テ如何ナモノデアリマスカ、ソレモ非常ニ質問ガ出デ…澤山續出シ

テ非常ニ時間ヲ要スルト云フ場合ナラバ、ソレハ特別、成ルベク此議會ノ議

事トシテ出來得ルダケ質問ヲ此議會デシテ…本會議ニ於テスルノガ宜イ、

斯ウ云フ私ハ意見、特別委員會ハソレニ對スル少數ノ人、又聽ク人モ極ク僅

カデアリマス、然ラバ時間ノ許スモノハ成ルベク主義トシテ本會議ニ於テ質

問ヲサセル、其處デ質問應答ヲ致シマスレバ、委員會ニ於テモ其邊ヲ盡サレ

マス、然ルニ是レハ委員會ガアルカラト云シテ、他ニ質問者ガアルノニ、ソレ

ヲ打消シテ質問ヲ致サセナイト云フ風ニスル司法大臣ノ意見ハ、私ハ少シ認

メナイノデアリマス、之ニ對シテ御感想ヲ一ツ伺ヒタイモノデアリマス

〔國務大臣伯爵大木遠吉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵大木遠吉君) 唯今ノ御質問ニ答ヘマス、矢口君ハ委員會ニ

於テ尙ホ詳細ヲ述ベルト云フコトヲ質問者ニ御話シヲシテ其了解ヲ求ムルコ

トハ怪シカラヌト云フヤウデアリマスガ、決シテ怪シカラヌコトハナイ、其ノ

方ガソレハイカヌ、委員會デハイカヌカラ是非此處デ言ヘト云ヘバ格別、政

府トシテハ是レハ委員會デ此徑路イキサツハ十分ナル御話ヲシテ了解ヲ求ム

ルコトデアルカラ、其席ニ讓テ御了解ヲ願ヒタイト云フコトニ何等怪シカラ

ヌト云フコトハ何ニモナイ、私ハ斷ジテ矢口君ノ御質問ニ同意ヲ表セナイ、

ルニハ及バヌヤウデアリマスガ、是レダケ御答ヲシテ置キマス

○矢口長右衛門君 唯今ノ御言葉ノ間ニハ少シ見解ノ違ヒガアリマセウシ、

聞クノハ…唯一人ノ質問ニ對シテ答ヘタノデ、全般ニ瓦リマシタノデゴザ

イマセヌ、ソレダケヲ御聞キイタシマス、御答辯ガナイナラバソレデ宜シウ

ゴザイマス

○國務大臣(伯爵 大木遠吉君) 今ノ御趣意ハ能ク判リマセヌガ今一回…

○矢口長右衛門君 唯今ノ質問ガ明瞭デナイト云フコトデアリマスガ、幾ラ質問者ガゴザイマシテモ其御方ニ對シ説明ヲナサレテ、他ノ全般ニ瓦ツタノデ、ハアリマセヌ、私ノ伺フノハ質問ハ委員外ノ他ノ者マデ抑ヘタヤウニ考ヘル、イマスカ…私ノ伺ヒマスノハ他ノ議員ノ口ヲ止メマスコトハ、私ハ甚ダ本意デナイン、甚ダ受取レナイ…

○國務大臣(伯爵大木遠吉君) 私ハ質問者ニ御答辯イタシマシタ、他ノ議員ニ向ッテ何等發言シテ居リマセヌ、他ノ質問セザル議員ニ向ッテ私ハ委員會ノ時ニ御了解ヲ得タイト云フコトヲ申ス必要ガナイン、ソレハ申サナイン、唯質問者ニ向ッテ御答致シタ、左様御承知ヲ願ヒマス

○矢口長右衛門君 私ハ全般ニ瓦ツタト、斯ウ解釋イタシマシタ…(聽取シ難シ)私ハ全般ノ斯ウ云フ議員ニ向ッテ一同ニサウ云フ希望ヲ述ベタ、唯一人デナイト思ヒマス、全般デナイト云フコトナラバ、私ハ構ヒハ致シマセヌ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第四、大正八年法律第五號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

大正八年法律第五號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月九日

衆議院議長奥繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

大正八年法律第五號中改正法律案

大正八年法律第五號中左ノ通改正ス

「百五十五萬五千四百八十八圓」ヲ「二百十七萬七千六百八十三圓」ニ改ム

參 照

大正八年法律第五號

第一回國勢調査施行ノ爲市區町村ニ於テ要スル經費ニ充テシムル爲國庫ハ百五十五萬五千四百八十八圓ヲ限り之ヲ道府縣ニ交付ス
前項ノ規定ニ依リ交付スル金額ノ割合ハ内閣總理大臣之ヲ定ム

〔政府委員小川平吉君演壇ニ登ル〕

○政府委員(小川平吉君) 本案ハ物價騰貴ニ基ク經費ノ不足ヲ補ヒマスル爲

ニ、第一回國勢調査ニ伴フ市區町村ノ經費ニ對スル交付金ヲ四割程増額イタシマス所ノ法律案デゴザイマス、ドウゾ御審査ノ上御協賛アラムコトヲ希望

イタシマス

○議長(公爵德川家達君)

特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔岡書記官朗讀〕

大正八年法律第五號中改正法律案特別委員

侯爵佐佐木 行忠君 子爵土方 雄志君 子爵竹屋 春光君

男爵調所 恒徳君 男爵野田 龜喜君 男爵藤堂 高成君

西久保 弘道君 石橋 謙二君 近岡 理三郎君

○議長(公爵德川家達君) 日程第五、實業教育費國庫補助法中改正法律案、

政府提出、衆議院送付、第一讀會

實業教育費國庫補助法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十日

衆議院議長奥繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

實業教育費國庫補助法中改正法律案

第六條ノ二 主務大臣ハ第二條ニ規定スルモノノ外第一條ノ金額ノ範圍内

ニ於テ北海道府縣ニ對シ實業補習教育獎勵ニ必要ナル補助金ヲ交付スルコトヲ得

第七條中「第二條」ヲ「第二條及前條」ニ、「八分ノ一以内」ヲ「一部」ニ改ム

〔國務大臣中橋德五郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(中橋德五郎君) 本案ハ今回、實業補習教育ノ獎勵ヲ致シタイノデアリマス、主トシテ教員ノ專任、教員ノ獎勵ヲ致シタイト云フノデ豫算ノ

中ニ十五萬圓バカリ經費ヲ見積ツタノデアリマス、ソレガ爲ニ從來アリマスル法案ノ改正ヲ要シマスカラ提出イタシマシテ、衆議院ヲ通過シテ來マシタヤウナ次第デアリマス、ドウカ宜シク御審議ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔岡書記官朗讀〕

實業教育費國庫補助法中改正法律案特別委員

伯爵林 博太郎君 子爵大給 近孝君 子爵野 村 益三君

北條 時敬君 荒川 義太郎君 男爵阪井 重季君

福原 鎧二郎君 男爵岩 佐 新君 江原 素六君

○議長(公爵德川家達君) 日程第六、鐵道敷設法中改正法律案、政府提出、

衆議院送付、第一讀會

鐵道敷設法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十日

衆議院議長奥繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

鐵道敷設法中改正法律案

鐵道敷設法中左ノ通改正ス

第七條第一項第一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 中央豫定線ノ内山梨縣下甲府ヨリ靜岡縣下岩淵ニ至ル鐵道中山梨縣

下甲府ヨリ丸瀧ニ至ル鐵道

同項第八號末尾ニ左ノ如ク加フ

及本線ヨリ分岐シテ山形縣下米澤ニ至ル鐵道中新潟縣下坂町ヨリ山形縣

下今泉ニ至ル鐵道

同項第十一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 奥羽豫定線ノ内巖手縣下盛岡ヨリ山田ニ至ル鐵道

同項第十八號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 山陰及山陽連絡豫定線ノ内廣島縣下廣島ヨリ島根縣下濱田ニ至ル鐵

通中島根縣下江津ヨリ廣島縣下三次ニ至ル鐵道

同項第三十號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 九州豫定線ノ内福岡縣下飯塚ヨリ原田ニ至ル鐵道中同縣下長尾ヨリ原田ニ至ル鐵道

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) 鐵道敷設法中改正法律案ノ提出ノ理由ヲ陳述イタシマス、此法案ハ曩ニ四十二議會ニ提出ニナリマシテ、其際ニ政府當局ヨリ提

案ノ理由ハ詳細ニ陳述イタシテ居ルト存ジマスガ、尙私ハ是ニ數言ヲ添ヘテ御参考ニ供シタイト存ジマス、帝國鐵道ノ主義ハ國有ニ致スト云フコトハ年來既ニ定シテ居ルコトデアリマスガ、其理由ハ改良ハ勿論ノコト、全國ニ多數ノ鐵道ヲ敷設イタシマシテ、出來得ベクンバ津々浦々ニ到ルマデ交通機關ノ完備ヲ來シタイト云フノガ大ナル目的ノ一ツデアッタ心得マス、而シテ爾來、官民ノ力ニ依リマシテ漸次全國ニ鐵道ガ普及イタシタケレドモ、今日マデニ出來マシタ所ハ、未成線ヲ合セマシテ約一万哩ニ過ギヌノデアリマス、歐洲ナリ米國ナリノ列國ニ比較イタシテ見マスレバ、甚ダ遜色アルハ今更私ガ申上ゲルマデモナイコトデアリマス、政府ハ勿論此邊ニ考ヘル所ガゴザイマシテ、内閣ハ屢々迭リマシタケレドモ、歷代ノ内閣、大ニ注意ヲ致シマシテ改良、敷設共ニ努メ來タッタノデアリマスルガ、時ニ財政上ニ於テ已ムヲ得ズ、或ハ建設ヲ緊縮シ、或ハ改良モ思フ通リニイカヌト云フヤウナ場合モアリマシタ前内閣ノ時ニ至リマシテモ大分此事ニ力ヲ盡サレ又現内閣ニナリマシテ力ヲ尙一層之ニ加ヘルコトニナリマシテ曩ニ四十二議會ニ於キマシテ改良ヲ致シマスルト同時ニ、財政ノ許ス範圍内ニ於キマシテ尙線路ノ普及ヲ圖ル計畫ヲ立テマシテ、所謂鐵道敷設法中ノ五線、其他ニ輕便鐵道ヲ二十一線ホド敷設スル計畫ヲ立テマシタコトハ既ニ御承知アラセラレルコト、存ジマス、私當局トナリマシテ、尙當議會ニナリマスルマデニ審査ニ審査ヲ盡シマシテ改良ノ上ニ於キマシテ出來ル限り途ヲ盡シ又輸送ノ必要ニ應ズルダケノ設備ヲ設ケネバナラヌト云フコトハ無論是認シテ居ルノデアリマシテ、實用上不足ノ無イヤウニ致シテ行カナケレバナラヌト云フ此程度ニ於キマシテ改良ヲ第一ニ盡シテ居リマス、第二ニ財政ノ許ス範圍ニ於テハ未ダ敷設ノ足ラザル所ノ地方ニ向テ若クハ幹線トモ聯絡セヌ所ニ向テ聯絡ヲスル線ヲ新設イタスト云フコトノ必要デアルコトヲ認メマシテ、審査研究ヲ遂ゲマシテ、四十二議會ニ提出イタシマシタ案ハ益相當時ナルコトヲ信ジマシタ次第デアリマス、是レハ私當局一個ノコトニ立入りリマシタケレドモ、此機會ニ於キマシテ左様ナル經過モ皆様ニ御訴ヘ申シテ置キタイト云フ考デ一言ヲ添ヘマスル次第デ、ソレデ第一ニハ敷設法ノ改正ヲ要スル、本法案ニ出テ居リマスル通リニ五線ヲ一期線ニ線上ゲテ敷設スルト云フコトニナッテ居リマス、ソレデ此法案提出ノ理由ニ付キマシテハ唯今申上グマシタ處デ宜シカラウト存ジマス、時間ガ迫シテ居ル時ニ長ク申上ゲルノハ甚ダ恐縮デゴザイマスガ、尙委員

會ニ於キマシテモ、十分述ベマスニトハ述ベマスツモリデアリマスガ、丁度諸公ノ御揃ノ場所ニ於テ今少シ御考慮ニ訴ヘ置カウト存ジマスノハ、或ハ世ニ改良ノコトハ甚ダ努メルガ單リ地方ノ建設ニノミ努メテ居ルカノ如ク新聞ナドニモ、チラホラ訛傳ガ傳ハッテ居ルヤウデアリマス、是ハ御調べ下サレバ完備ヲ來シタイト云フノガ大ナル割合ヲ以チマシテ改良ノ方ハ約七分建設ノ方ハ約三分、斯様ナル割合ヲ以チマシテ改良ノ上ニ付キマシテ多大ナル所ノ力ヲ盡シテ居ルト云フコトヲ御承知ヲ願ヒ置キマス、而シテ此力ヲ盡シタ結果ト致シマシテ、將來輸送ニ於テ其需要ニ應ズルニ決シテ不足ナク、斯様ナ確信ヲ當局ハ持テ居ルノデアリマスガ、其詳細ハ委員會ニ於キマシテ、是コソ詳シク申上ゲルコトニ致サウト思ヒマス、而シテ此敷設ヲ新タニ致シマス線路ニ付キマシテハ一本一本ニ就キマシテ私攻究ヲ致シマシタ、或ハ地方ノ開發ヲ主シテシナケレバナラヌ線ト、今日マデ其出來ナカッタ、或ハ線路ノ上ニ於テ是迄缺點トナッテ居リマシタ所ノモノヲ補ツテ、大動脈ノ連絡ヲ全ウスル、斯様ナ見地ノ上ニ於キマシテ、何レモ今日ニ於テ……今日ノ計畫ニ於テ缺クベカラザル線路ヲ出スコトヲ確認イタシマシテ、此趣旨ニ依ツテ議會ノ御協贊ヲ仰グ次第ニナッタノデアリマス、尙改良ノ上ニ付キマシテモ種々ノ點ガゴザイマスルガ、或ハ線路ヲ改良スルトカ、或ハ勾配ヲ低ウスルトカ、或ハ自動運轉トカ、或ハ信號機トカ云フヤウナモノヲ設ケルトカ、停車場ト云フモノヲ改築スルトカ、又機関車ノ如キモノハヨリ善キモノニ改良シツ、アリト云フヤウナ、數多ノ點ニ瓦タテ居リマシテ、當局モ出來得ル限り電化サセタイト思ツテ其法案モ、追ツテ御協賛ニ訴ヘル積リデ居リマス、改良ノ點ニ於キマシテハ、大綱右申上ゲマスヤウニ諸般ノ點ニ於テ力ヲ盡シテ居リマスガ、其以外ニ於テはレガ鐵道ノ機關トカ、走リ廻ルトカ、速力ダケノ關係ノコトデアリマスガ、私ノ最モ心痛イタシテ居リマスコトハ鐵道ノ從業員ト云フモノガ、今日餘リ面白カラザル所ノ外來思想ニ因ヘラレルコトノナイヤウニ、唯ダ之ヲ希望イタシタ所ガ決シテソレデ行クモノデハアリマセヌ、既ニ是レ迄ニ設備イタシタ保健課ト云フモノガ設ケテアリマス、病院ヲ設ケルトカ、慰安ノ途ヲ設ケルトカ、救濟ノ途ヲ設ケルトカ退職ノ時ニハ如何ナル賞與ヲ與ヘルト云フコトニ致シテ、鐵道從業員ニ於テハ恰モ一家ノ如ク、相親和イタシマシテ、此輸送ノ爲メニ一生奉公ヲ致スコトヲ以テ自己ノ名譽ナリ自己ノ樂ミナリト云フコトニ致シテ、是レハ唯一片改良ト云フ文字ハ使ハレマスマイガ、誠ニ隠レタ點モアリ

マスケレドモ、就中此點ニ到リマシテ最モ局ニ居ル者ノ心痛ヲ極メテ居ル點

デアリマス、即チ諸般ノ改良ヲ企テ居ルコトヲ申上ゲル中ニ於テハ、車輛ト

カ線路トカ云フ外ニ於キマシテ、鐵道從業員ト云フモノガカシキ所ノ思想

ニ因ハレナイヤウニ一生懸命ニ國家公共ノ爲ニ從事スルト云フコトヲ十分希

望スルト云フコトニ付テノ改良ガ極メテ必要ダラウト私ハ存ジマスニ付イ

テ、此邊ノ處モ當局微力ノ及ブ限り致シタイト考ヘテ居ル精神モアリマス、

是ハ本案ニ直接關係ガナイヤウデアリマスケレドモ改良ニ力ヲ盡シ、而シテ

財政ノ餘リアル部分ヲ建設ニ力ヲ盡ス積リテ、新ニ此改正法案ヲ提出シタ譯

デアリマスカラ、此議會ニ於テ方針ノアル所ヲ申上ゲ置キマシテ、何卒慎重

御審議アラセラレマシテ、通過スルヤウニ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○湯淺倉平君 本案ニ付キマシテハ私ハ頗ル重大ナル理由ヲ持テ居ル者デ

アリマス、現行鐵道敷設法ノ第一條ニ依リマスト「政府ハ帝國ニ必要ナル鐵道

ノ完成スル爲漸次豫定ノ線路ヲ調査シ及敷設ス」ト云フコトヲ書キマシテ、

第二條ニハ第一項ニ於テ、豫定鐵道線路ヲ列記イタシマシテ第二項ニハ「以

上ノ線路ニ變更増減ヲ要スルモノアルトキハ帝國議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ決定

スヘシ」ト規定シテアルノデアリマス、然ルニ第四十二議會及ビ今議會ニ政

府ノ御提出ニナリマシタ豫算ヲ見マスルト、輕便鐵道ナルモノガ一億五千万

圓ノ追加ヲ企テラレテ居ルノデアリマス、而シテ此方面ニ當ル所ノ線路ハ、

二十一線路アルト云フコトニ承テ居ルノデアリマス、其輕便鐵道ハ、單ニ鐵

道ト稱セラレルモノト其實質ニ於テドウ云フ差異ガアルカト云フコトヲ前議

會ノ委員會ノ速記錄ニ就テ調査イタシマスルト、實質上ノ差異ハ殆ド認メラ

レナイ、斯様ニ相成ッテ居ルヤウデアリマスガ、果シテ然ラバ鐵道敷設法第二

條第二項ニ於テ豫定線路ノ增減變更ヲ要スル場合ニハ帝國議會ノ協賛ヲ經ナ

ケレバナラヌト云フコトガ明ニ定メラレテアルニ拘ラズ何故ニ本案ニ二十一

線路ノ計上ヲ致サレナイ次第デアリマスカ、是ハ本院ノ權限ニ關スル重大ナ

ル問題デアルト思ヒマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスト本院ノ立法協賛權ヲ無視

サレタモノデハナイカト云フ疑ヲ懷ク次第デアリマス、希ハクハ其點ニ付キ

マシテ當局ヨリノ十分ナ御説明ヲ煩ハシタイト思ヒマス、同時ニ鐵道、單ニ

鐵道ト稱スルモノト輕便鐵道ト云フモノトノ區分如何、性質上ノ差異ガ何レ

ニアルヤト云フコトヲ併セテ御説明アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 休憩イタシマス、午後ハ一時三十分ヨリ開會イタ

シマス

午後零時三十九分休憩

午後一時四十分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) 午前ノ會議ニ於キマシテ、御質問ニナリマシタ事項ヲ答辯致シマス、輕便鐵道ハドウ云フ譯デ提出ニナルカ、鐵道敷設法アルニ拘ラズ、此法ノ中ニ入レズシテ之ヲ提出スルノハ、議院ヲ無視シタルモノデ

ナカト云フ御尋ノヤウニ承リマシタ、私ノ見解ハ左様デアリマセヌ、鐵道敷設法ニ於テ掲ゲラレマシタル線路、第一期線並ニ豫定線ガゴザイマス、

是ハ本鐵道トデモ申シマスルカ輕便線ハ本鐵道トハ相違イタシマシテ、本鐵道ヲ敷設スルノハ此上モナイコトデゴザイマセウガ、財政ノ上カラ見、地方

ノ交通機關ノ上ニ見マシテ、本鐵道ヲ敷設セズ、輕便ニシテ交通機關ヲ設ケ

レバ足ルト云フ場合ニ設ケ來タ所ノ鐵道デアリマシテ、是ハ今回ニ始タ譯

デハゴザイマセヌ、既ニ幾多ノ線路ガ輕便式ニ依ツテ敷設スルコトニナリマシ

テ、御院ニモ御協賛ヲ求メマシテ、既ニソレド協賛ヲ與ヘラレテ居ルコト

ハ今更申スマデモナイコト、存ジマス、若シ是ガ議院ヲ無視シタト云フコ

トニナリマスレバ、以前ニ之ニ協賛ヲ與ヘラレタノモ、亦自ラ議院ヲ無視シ

タト云フコトニモナリマセウガ、私ハサウハ思ヒマセヌ、鐵道敷設法ニ依リ

マシテ本鐵道ヲ敷設スルト云フコトガ、先刻申上ゲマシタ通リ財政ノ都合ニ

於テサウハ行キマセヌ、本鐵道ニ致シマスレバ、經費モ澤山掛リマスルカラ、

誠ニ完全ナモノデハゴザイマスルガ、多數ノ線路ヲ開クコトガ出來ナイ、ソ

レヨリハ地方交通機關ノ狀態、地方ノ經濟狀態、開發ノ模様カラ致シマシテ、

以前ノ政府ヨリシテ其提案ヲ致シ、帝國議會ニ於テモ其至當ナルコトヲ認メ

ルガ至當ナリト云フコトニ認メラレマシテ、今日ノ政府ニ限リマセヌ、ズット

提案イタシマシタノモ、此先例ニ依リマシテ、誠ニ結構ナル先覺者ノ始メタ

コトデアルト心得マシテ、提案ヲ致スコトニナリマシテ、其豫算ヲ請求イタ

シテ居ル次第デアリマス、右ニテ御了承ニ預リタイ

○湯淺倉平君 唯今午前ニ於ケル本員ノ質問ニ對シマシテ、鐵道大臣ヨリ御答辯ガゴザイマシタガ、本員ハ尙御答辯ニ満足ヲ致スコトガ出來マセヌノデ、重ネテ伺ヒタイノデゴザイマス、唯今鐵道大臣ノ御答辯ニ依リマスルト、單ニ鐵道ト云フモノト、輕便鐵道トハ、何等カ其間ニ性質上ノ差異ガアルヤニ拜承イタシマシタガ、兩者ノ間に如何ナル差異ガアルデアリマセウカ、唯今ガ安イト云フダケノ差ガアルカノヤウナ御答辯デゴザイマシタガ、鐵道敷設法ハ鐵道ノ建設費ニ付テ、何等ノ規定ヲ致シテゴザイマセヌ、帝國ニ必要ナル鐵道ト云フコトヲ規定シテ居ルノニ過ギマセヌ、而シテ同法ノ第二條ノ二項ハ鐵道線路ノ増減變更ハ議會ノ協贊ヲ經ベキモノデアル、斯様ニ明定イタシテ居リマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、鐵道線路ノ増減變更ハ立法事項デアルト云フコトヲ法律ガ定メテ居ル、既ニ立法事項ナリトシマスルナラバ、議會ノ協贊ナクシテ政府ガ單ニ豫算ニ計上シテ、ソレデ以テ事足レリト言フ譯ニハ參ルマイト信スルノデアリマス、唯今大臣ノ御答辯ニ依リマスルト、是ハ先例ノアルコトデアル、其先例ヲ重ンジタトス様ニ申サレルノデゴザイマスルガ、成程先例ガ全ク無イトハ申シマセヌ、其先例ナルモノハ、鐵道敷設ノコトガ始マリマシテカラ大正八年度マデノ決算ニ就テ之ヲ見マスルト、僅ニ一箇年度二百万圓ニ過ギナインデアリマス、我國ノ財政ノ全體カラ見マシテ二百萬圓ト云フ額ハ極メテ少額デアリマス、又之ヲ特別會計ノ鐵道省所管ノ経費ノミニ付テ見マシテモ、極メテ些々タル額デアリマス、既往ノ例ト申シマスルモノハ、僅ニ極メテ短距離、極メテ須要ノ程度ノ輕イモノ、斯ノ如キモノヲ本線ニ附屬シテ僅ニ拵ヘテ居ルト云フ例ニ過ギナインデアリマス、アルコト、考ヘマス、サリナガラ是ハ極メテ小ナル例デアリマス、然ルニ今回政府ノ御提案ニ依ツテ見マスルト、輕便鐵道建設費ニ對シテ、豫算ノ唯一目ニ一億五千三百万圓ト云フ追加ノ御計算ニナッテ居ルノデアリマス、是ガ先例アリト稱シテ、先例アルガ故ニ斯ノ如キ事ヲ爲シテ差支ナシト云フ當局ノ御意見デアリマセウカ、之ヲ既住ノ例ニ見マスレバ、輕便鐵道ノ建設費ナルモノハ、本鐵道ノ建設費ニ比シテ僅ナルモノデアッタノデアリマス、然ルニ今回政府ノ御計算ニナッタ所ニ依リマスルト、本末ヲ顛倒シテ居ルノデアル、即チ輕便鐵道ヲ建設費ニ於テ莫大ナル額ヲ計上致サレテ、遂ニ鐵道敷設法ニ於

テ議會ガ協贊ヲ致シテ居ル趣旨ヲ沒却サレムトシツ、アルノデアリマス、之ヲ尙且當局ハ適法ノ處置ナリト云フ御考デアリマセウカ、議會ノ立法權ヲ無視スルモノデナイト云フ御考デアリト云フ御考デアリマセウカ、唯今承リマスルト輕便鐵道ハ鐵道ヨリエ建設費ガ安イ、夫故ニ輕便鐵道ハ鐵道ニ非ズ、斯様ナ御答辯ノヤニ承ルノデアリマスガ、前期ノ議會ニ於キマシテ鐵道敷設法改正特別委員會ニ於テ政府當局ノ御答辯ニナッテ居リマスル所トハ、全ク異ナッタ趣旨ニ唯カ、全ク趣旨ノ異タモノトシテ御提案ニナッタモノデアリマセウカ、其邊ヲ改メテ伺ヒタイト思ヒマス、尙重ネテ申シマスルガ、輕便鐵道ナルモノハ鐵道ニ非ズ、斯様ニ御説明ニナッタモノト了解イタシテ宜シウゴザイマスカ、念ノ爲ニ重ネテ伺ヒマス

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) 私ノ言葉ノ足リマセヌ所デ、再ビ御質問ヲ蒙リマシタノハ誠ニ恐縮ニ存ジマス、輕便鐵道ハ鐵道ニ非ズト云フコトハ如何ナルモノデアリマセウカ、鐵道敷設法ニ書イテアリマスルモノハ、尙語ヲ添ヘテ申シマスレバ、本鐵道トデモ申シタラ宜シカラウ、然ルニ此式ノ鐵道ヲ拵ヘマスルノニハ經費モ澤山要ルノデアリマシテ、ソレダケノモノヲ用ヒズシテモノ輸送ノ需要ハ足ルト云フ所カラ比較的費用ヲ減ジマシテ、費用ヲ減ジルト云フコトハ總テ、建設ノ輕便ニナッテ來ルト云フコトヲ意味スルノデアリマス、金高バカリデアリマセヌ、左様致シマシテ運輸交通ノ機關ノ充實ヲ期スルト提出致シマシテ、而シテ帝國議會ニ於テモ是ニ協贊ヲ與ヘラレテ居リマスト云フコトモ私ハ申上ゲタ、此意味カラ申上ゲマスレバ輕便鐵道ナルモノハ鐵道敷設法ニ書イテアル所ノ本鐵道デナイト言ツテモ宜シカラウト思フ、鐵道ニハ相違アリマセヌケレドモ、敷設法ニ謂フ所ノ本鐵道デアリマセズ、略式ノ交通機關ト云フコトニ御了承下サイマシタナラバ是デ御了解下ナレマセウト思フ、單ニ理論一方デ議論ヲ致シマスレバ種々ナルコトガ出來マセウケレドモ、實際上ニ於キマシテハ斯様ナル見地ヨリ、豫算ニ單ニ費用ヲ計上シテ御協贊ヲ求メ、帝國議會モ亦兩院共ニ其見解ヲ是認サレテ是マデ認メ來ラレテ居ツタノデアリマスルト私ハ信ジマスル、此先例ガ憲法違反トカ法律違反ト云フコ

トニナリマスルナラバ、先例アリト雖モ尙考慮致サナケレバナリマセヌケレドモ、現當局モ決シテ憲法違反ニハ非ズ、先覺者モ適當ナル所ノ考案ヲ下シテ、又帝國議會モ亦適當ナル考慮ヲ費サレテ、此是認サレマシタ好慣例トスルト云フコトニ認メマシテ、是ニ提案致シタ次第アリマス、以前ノト云フモノハ僅ナ數デアル、僅カナ數ナラバ宜イガ、經費ガ今回ノハ六万圓以上ニモナツテ、僅カナ經費ノモノガアルカラト言ッテ斯カル經濟ノ集積シタモノガ宜イト云フ譯ニハ行カヌデハナイカト云フ御質問ト心得マス、是ハ程度ノ上ニ於テハ得失ハ輕減シタイノデアリマスルガ、法規違反ト云フコトニハ何等關係ナキコト、私等存ジテ居リマス、既ニ先刻ノ御尋デアリマシテ一本一本ノ數ハ私記憶致シマセヌカラシテ、ザット調べマシタ所デモ餘程ノ數ガ是マデアリマス、決シテ五本ヤ十本デアリマセヌ、斯ル澤山ノ線路ヲ歷代ノ内閣ニ於テ輕便鐵道トシテ豫算ニ請求ジテ兩院ヲ通過シテ居ルノデアリマス、而シテ金高ヲ見マスレバ百万圓ヤ二百万圓デハゴザイマセヌケレドモ、今回ノ金高ハ成程多イニ相違ゴザイマセヌ、數十本ノ鐵道ガ是マデ輕便式デ豫算ニ計上シテ御協贊ヲ求メマシテ、是ハ通過シテ居ル、今度ノハ金ガ倍ニナツテ居ル、ソレ故ニ不都合デアルト云フ御答メデアリマスナラバ、是ハ金高ノ大ナルモノハドウカ外ニ仕方ハアリマセヌカト云フ御話ナラバ承リマスルガ、單ニ金高ガ殖エタカラト言ウテ宛モ法律違反ノ如キノ御尋ニナリマシテハ、政府ニ於キマシテモ左様ニハ思ヒマセヌ、金ノ多イ少イハゴザイマスレドモ、金ノ數ハヨシンバ一億万圓一千萬圓乃至五百万圓ト致シマシタラ、數カラ云ヘバ五百万圓ハ一億万圓ニナルト二十倍一千萬圓ナラバ二倍ダ、成程大ナルモ違デアル、併ナガラ法規違反ト云フコトニ至リマシタナラバ、五百万圓モ法規違反、一千万圓モ法規違反デ、此點ニ於テハ少シモ相違ハナイト思ヒマス、私ハ斷ジテ唯今ノ御質問ノ如キ見解ヲ執ツテ居リマセヌ、併ナガラ此從前ノ政府ノ解釋見解、帝國議會ノ協贊シ來タ所ノ見解ガ宜シクナイカラ、將來改メナケレバナラナイト云フコトニ、新タル法律若クハ帝國議會ノ決議デモ出來マシタナラバ、是ハ謹ンデ奉ジナケレバナラヌ、我ミモ奉ズル譯デアリマスル、從前斯ル線路ガ三十本モ五十本モ線路ガ出來テ居ル、何等異議ナク兩院ヲ通過シテ來マシテ今回輕便式ノ從來ノ式ニ依リマシテ豫算ヲ請求致シタ場合ニ於キマシテ、法規違反、議院ヲ無視シタト云フ御質問ニ對シマシテハ断ジテ無視シテ居ラナイ、此理由ハ上來申述ベマシタ次第ヨリ御答申上ゲテ

○湯淺倉平君 重ネテ御答辯ヲ煩ハシマシタガ、熟々了解ヲ致シ兼ネルノデアリマス、試ニ言ヒ現ハシ方ヲ換ヘテ御尋ネ申上ゲテ見タイノデ、唯今ノ御答辯ニ依リマスレバ、輕便鐵道ナルモノハ鐵道敷設法ニ所謂鐵道ニ非ズ、斯様ナ御答辯デゴザイマシタガ、鐵道敷設法ニ依ラザル鐵道ナルモノガ如何ナル法律ニ依ツテアルノデゴザイマスカ、一方カラハ輕便鐵道ハ鐵道ニアラズトハ言ヘナイ、是ハ然ルベキコト、考ヘマス、輕便鐵道ヲ鐵道ニアラズト云フ御答辯デアリマスナラバ鐵道ニアラズト云フ論法ト同ジコト、考ヘル、併ナガラ一方ニ於テハ輕便鐵道ハ鐵道敷設法ニ所謂鐵道ニアラズ、斯様ナ御答辯ヲ下サレタノデアリマスガ、帝國ニ必要ナル鐵道、果シテ然ラバ輕便鐵道ハ帝國ニ必要ナラザル鐵道、斯様ニ解シテ差支ナイモノデアリマセウカ、又大臣ノ御答辯ニ依リマスト先例ガアル、是ガ唯一ノ御主張ヲ支ヘル根據ニナツテ居ルヤウニ伺ヒマスガ、若シ此先例ガ惡例ナリト致シマシテ極メテ小ナル惡例、諺ニ申ス白璧ノ微瑕ト云フモノデアルト致シマシタナラバ、此微瑕……小ナル惡例ヲ何處マデモ濫用シ妄用シテ遂ニ白璧ノ全部ヲ悉ク瑕ニスル斯云フヤウナ有様ニナル、而シテ現行ノ法律ハ立法事項ナルコトヲ明定シテ居ルノデアリマス、其立法事項ニ屬スル所ノモノヲ段々ニ其經費ヲ減ラシテ、其跡ヲ絶ツコト、シ、サウシテ一面ニハ法律ノ根據ナクシテ輕便鐵道ナルモノヲ排ヘ、其費額ガ急ニ膨脹ヲ致シ、一億五千万圓ト云フ莫大ナル金額ヲ豫算ノ第一目ニ追加ヲスル、斯様ナル政府ノ御計畫ハ果シテ適當ナル處置デアリマセウカ、立法議會ノ協贊權ヲ無視スルモノニアラズト云フ御說デアリマスケレドモ、是ハ唯先例アリト云フコトヨリ外ニ承ルベキ根據ハ少シモ無イト考ヘルノデアリマス、若シ鐵道敷設法以外ニ、輕便鐵道ト云フモノハ斯ウ云フモノデアルト云フ根據ヲ御示シニナルコトガ出來マスナラバ、伺ヒタイト思ヒマス、若シ是レナシト云フコトデアリマスルナラバ、何故ニ鐵道敷設法ノ改正案ニ此線路ヲ計上ニナラナイカト云フコトヲ伺ヒタイトノデアリマス、尙ホ重

ネテ申シマスルガ、輕便鐵道ト云フモノハ如何ニモ輕便ナルモノデアル、簡易ナモノデアル、斯様ナル風ニ聽取レルヤウナ御説明デアリマスケレドモ、二十一年新規ニ御建設ニナラウト云フ線ノ中ニハ、非常ニ重要ナル線ガアルト考ヘテ居ルノデアリマス、又現在ニ於テ鐵道敷設法ニ所謂鐵道、其鐵道ノ延長ヲスルト云フ線ヲ、鐵道敷設法ノ改正ニ依ラズシテ輕便鐵道ト云フコトデ御提案ニナツテ居ル次第ハ何故デアリマセウカ、甚解スルニ苦シム次第デアリマス、重ネテ御答辯ヲ煩ハシマス

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) ドウモ私ハ御問ノ趣旨ヲ能ク諒解シ得ナイノデアリマスルガ、又私ノ御答ガ御諒解ヲ得ルダケニ明白ニ申上ゲルコトガ出來ナカッタノデアリマスルカ、其邊ノ所ハ今日以後ニ速記録デ御問ヒヲ拜見イタシマシテ、尙疎漏ガゴザイマシタナラバ正確ニ御答ヲ致シタイト思ヒマス、唯今ノ中ニ輕便鐵道ノ中ニハ餘程重要ナルモノガアル、斯様ナルモノヲ鐵道敷設法ノ中ニ加ヘテヤラズシテ、先例ガアルカラト云フテ其ノ先例ニ依ルト云フコトハ、惡例デアルナラバ止メナケレバナラヌデハナイカ、斯ウ云フ御質問ト私ノ耳ニ落チマシテゴザイマスル、先刻モ申上ゲマシタ通リニ、此先例ガ惡イ、若クハ法規違反デアルト云フコトニ定マレバソレハ將來變ヘナケレバナラヌ、是マデ歷代ノ内閣ニ於テカラニ、成ルホド數ハ十本ガ二十本ト云フヤウナ違ヒモゴザイマセウ、五本ガ二十本ト云フ違ヒモゴザイマセウガ、同一ノ式ニ於テ御協賛ヲ得來ツテ居ルノデゴザイマス、法規違反トハ心得マセヌ、ソレ故ニ今回モ其式ニ依ツタ譯デアルト云フコトヲ申上ゲタノデ、此點デ、惡イモノナラバ先例ヲ奉ズル必要ハナイデヤナイカト云フ御質問ニ對シマシテハ、御諒解下サルコト、思ヒマス、惡イモノト知ッテ出シタト決シテ私ハ申サヌ、誠ニ適當ナル先例デアルト云フコトヲ信ジテ、ソレニ依ツテ出シタ譯デアルト云フ御答ヲ致シマシタノデアリマスルカラ、惡イト云フコトガ極タナラバ無論改正シナケレバナラヌ、ソレデ御諒承下サルコト、思ヒマス、ソレカラ此中ニハ非常ナル重要なモノガアッテ敷設法ニ追加スベキヤウナモノガアルト云フ御答ヲ致シマシタノデアリマス、當局ノ出シマシタノハ斯様ニ致シテ少シハサズト心得マシテ、不慣レナ私ガ少シク長キニ瓦ツテ御意ヲ得マシタソレハ本鐵道ニ越シタコトハアリマセヌガ、悉ク本鐵道ニ致シマシテハ廣ク

敷設スルコトガ出來ナイ、今日ノ地方ノ狀況ニ於キマシテハ、輕便式デ拵ヘタモノデ交通機關ノ需要ニ應ズルコトガ出來ル、之ヲ本鐵道ノ式ニ依ツテ悉クスレバ、五線ノモノガ僅ニ一線カニ一線ホカ敷ケナクナツテ、普及サセルコトガ出來ナイ、故ニ今日ノ需要ニ應ズルニハ輕便式デ宜シイカラ、將來ハ改良シテ本鐵道ニ直サナケレバナラヌモノアリマセウケレドモ、今日ハ今日ノ需要ニ應ズル、尤モ財政ニ限リアルコトデアリマスカラ、其範圍ニ於テ成ルベク出來得ル方針ヲ執タノデアルト申上ゲテ置キマシタ、是デ重要ナルモノモアルガ地方ノ要求ハ輕便式デ宜シイト云フ見解カラシテ、之ニ依ツタト云フコトハ御諒解ニナルコト、存ジマス、サウデナイ地方ノ狀況モ本鐵道デナケレバナラヌト云フ御意見デアルナラバ、是ハ御意見デアリマスカラシテ、私ハ御意見ヲ遮ツテサウデナイト御質問ノ際ニ爭フコトハ慎ムデ致シマセヌ、唯趣旨ノアル所ダケハ是デ御諒解下サルコト、存ジマス、ソレカラ今一ツハ一億御尋デアツタヤウニ心得マス、是ハ今日マデノ所ハ一億トマデハナツテ居リマセヌケレドモ隨分多數ノ何ヲ、計數ヲ、要求額ヲ斯様ナル式ニ於テ求メ來ツテ居リマスノガ、鐵道院時代ヨリノ經過デアルト存ジマス、殊更ニ今回其慣例ヲ變ジマシテ爲ニスル所アツテ斯様ナルコトヲ致シタト云フコトデハ、斷ジテ無イノデアリマスルカラ、是モ御了承ヲ願ヒタイ、唯金高ガ大キイカラ是ハドウモ面白クナイ、ドウカ外ニ仕方ガアルマイカト云フコトハ御意見ニ屬スルノデアリマス、兎ニ角先例ニ依ツテ出シマシタカラ、百圓ナラバソレデモ宜シイガ、千圓デアルカラシテ不都合デアル、斯様ナ御見解デアラセラル、ナラバ已ムコトヲ得ヌノデアリマス、當局ノ出シマシタノハ斯様ニ致シテ少シモ差支ナイ、殊ニ年度割等ノ如キモソレドモ御覽ニ供シテ御協賛ヲ仰グ譯デアリマスルカラ少シモ差支ナイ考デアリマス、右様ノ見解ヲ以チマシテ今回ノ提案ヲ致シタノデアリマス、御質問ノ御趣意ニ適ツタカドウカ存ジマセヌガ、答辯ノ理由ノアル所ダケハ御了解ヲ願ツテ置キタイ、尙ホ御分リニナラヌコトガゴザイマスルナラバ、何回デモ答辯ノ出來ルダケハ致シマスルガ、若シ先刻モ申上ゲマシタル通リニ御尋ニナツタコト、云フモノヲ充分ニ了解シ得ズ、言葉ノ上等ニ於テ錯誤ガ有ルトカ何トカ云フコトヲ發見イタシマシタコトモ致シマス、是モ附加ヘテ申上ゲテ置キマス

○湯淺倉平君 度ノコトデアリマスルカラ、長クハ申シマセヌ、鐵道大臣ノ御主張ハ先例ガ唯一ノ楯デアツテ法律上ノ根據ハ少シモ御示シニナラナカッタノデアリマスルカラ、其點ニ付キマシテ今一應御尋ヲ致シタイノデアリマス、輕便鐵道ヲ敷クト云フ形式ニ於テ鐵道ヲ建設スレバ經費ハ安ク済ム、財政上其他利益ニナル、ソレ故ニ鐵道敷設法中ニ澤山ナ新線ヲ計上セズシテ、輕便鐵道ト云フ豫算ノ費目デ議會ニ協賛ヲ求メタノデアル、斯様ナ御答辯ガ少シモ私ニハ其趣旨ガ分リマセヌノデアリマス、何トナレバ鐵道敷設法中ニ計上サレルト否トニ依ツテ、鐵道建設費ニ相違ヲ來タス筈ハ無イト考ヘルノデアリマス、鐵道敷設法ノ二條ニ從來列舉サレテ居ル所ノ幾多ノ新線、之ニ附加ヘルニ本回御提案ノ二十一線路ノ中全部若クハ其大部分ヲ重ねテ御提出ニナリマシタ所デ、何故ニ財政上節約ニナルノデアリマセウカ、鐵道敷設法ハ本鐵道ハ斯ノ如ク建設スベシ、輕便鐵道ハ斯ノ如ク安ク……安イ費用ヲ以テ建設スベシト云フコトヲ命ジテ居ル法律デハナイノデアリマス、等シク鐵道デ其線々ニ依ツテ、甲ノ線ハ重要ナ線デアルカラ、建設費ニ幾分多額ノ費用ヲ投ズル、乙ノ線路ハ比較的 important ナ程度ガ輕イノデアルカラ、之ニ對シテハ幾分ノ經費ヲ省ク、斯ウ云フコトニナリマシタ所デ、少シモ差支ハ無イ、然ル數回ノ御答辯ヲ煩ハシマシタケレドモ、全ク了解スルコトノ出來ナイモノデアリマス、若シ尙ホ重ネテ今マデ御答辯ニナッタノト同一ノ御答辯デアリマスルナラバ、重ネテ御答辯ヲ煩ハスノハ無用ノコト、存ジマスルカラ、其御答辯ハ求メマセヌ、若シ唯今伺ヒマシタ點ニ付キマシテ、是マデノ御答辯以外ニ正當ナ理由ヲ御示シニナルコトヲ得マスルナラバ御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス、尙ホ餘リ重ネテ御尋ヲ致シマスルカラ、更ニ御答辯ガアリマシテ不幸ニシテ本員ガ御答辯ニ満足スルコトヲ得マセヌニ致シマシテモ、今回ハ是デ終リマシテ、改メテ伺フ機會ヲ得タイト考ヘマス

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) 基ダ遺憾ナコトデゴザイマスルガ、私ノ御答辯ニ御満足ニナラヌト云フコトハ誠ニ遺憾千萬ニ存ジマス、先刻モ申上グタ通り、悉ク私ノ耳ニ徹底イタシテ居ラヌコトモ有ルカモ知レマセヌガ、若シ左様ナコトガ有リ、又私ノ答辯ガ御問ニ副ハナイコトヲ發見イタシマシタナラバ、

速記録ヲ見テ重ネテ詳細ナル御答ヲ致シマセウト云フコトモ豫告ヲ申上ゲテ置キマシタ、是ハ依然トシテ成ルベク速記録等ヲ拜見イタシマシテ、御満足ノ出來得ラル、マデニ御答辯ヲ致スコトニ努メタイト、私ハ存ジテ居リマス、ソレカラ慣例ガ有ルカラト云フダケデハ満足ガ出來ナイ、斯様ナ唯今ノ重ネテノ御言葉デアリマスルガ、何レ細カナルコトハ尙ホ補充イタス時期モアリマセウガ、慣例モ一ツカ二ツノ慣例ナラバ左様ノコトモ或ハ承ハリ得ルカトモ存ジマスルガ、是マデニ輕便鐵道トシテ鐵道敷設法ニ、改メテ一期線ニ入レマセズシテ建設イタシマシタモノガ確カ三十、四十モ有ルヤウニ存ジマス、斯カル多數ノ線路ガ歷代ノ内閣ニ於テ御協賛ヲ經テ……政府バカリデヤツタモノデハアリマセヌ、而シテ貴族院ニ於カセラレマシテモ更ニ協賛ヲ與ヘラレテ今日マデノ例ヲナシテ來タモノニ從ヒマシテ茲ニ提案ヲ致シテ、今日痛ク御答ヲ蒙ルト云フコトハ、誠ニ私ハ遺憾ニ存ジマス、併ナガラ法規違反等デアリマスレバ、御尤千萬ノコトデアリマスガ、私ハ法規違反トハ心得テ居リマセヌ、居リマセヌト云フ理由ノ説明ガドウモ足ラヌト云フ御言葉デアリマスルカラ、政府ノ見解ハ具サニ速記録ノ御問ニ對シテカラニ申上ゲル機會ガアリマセウ、以上繰返シタノヲ以テ御了解下サルコトナラバ、御了解ヲ仰ギマスルコトデ、又了解セラレヌデ今日ハ是デ止メル、御止メ下サルナラバ私ハ此答辯ヲ以テ今日ハ退クヨリ外アリマセヌ、是ダケヲ申上ゲテ置キマス

〔中村是公君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 中村君ニ申上ゲマスガ、矢口長右衛門君カラ通告ヲ得テ居リマスルカラ、矢口君ガ濟ミマシタラバ貴下ニ御許シスル積リデアリマス、矢口長右衛門君登壇ヲ請ヒマス

○矢口長右衛門君 當席カラ……

○議長(公爵德川家達君) 登壇ヲ請ヒマス

〔矢口長右衛門君演壇ニ登ル〕

○矢口長右衛門君 基ダ暑ノヲ、時間ヲ重ネマシテ議員諸君ニ失禮デゴザイマス、此議會ノ中ニハ鐵道ト云フコトニ付キマシテ、非常ナル老練家ガ幾多見エテ居リマスル、ソレデ其御方ヲ差置イテ私ガ茲ニ質問スルト云フコトハ甚ダ僭越デハゴザイマスガ、以前ノ議會ノ關係上其他ノ行掛カリ上カラ致シテ、一言ノ茲ニ質問ヲ致スノ已ムヲ得ザルノデゴザイマスカラ、ドウゾ暫時御清聽下サレマシテ私ノ質疑ノ要點ヲ御聽キ下サイマスコトヲ希望致シマ

ス、其質疑ニ先ダチマシテ新鐵道大臣ニ一言チヨット申上ゲテ置キマスルガ、質問ニ對シテ何等ノ惡感情ヲ懷カレスコトヲ私ハ希望致シテ置キマス、先刻私ハ司法大臣ニ向ヒマシテ質問ヲ致シマシタ所ガ、非常ニ感情ヲ害シタカノ如ク私ハ甚ダ迷惑ヲ感ジマシタ、苟モ一議員ガ大臣ニ向ッテ質問スル際ニ何等ノ私意ヲ挿マヌ、ソレノミデナク何等ノ意趣ガアツタノデモナイニ、ソレヲ質問シタニ對シテ非常ニ激昂サレタカノ如キ感情ヲサレルコトハ、全ク議員ニ取ツテハ少シク迷惑デアルカラ、ドウカ私ノ質問ニ對シテモ、元田新大臣ハドウカ冷靜ニ御聽キ下サイマスコトヲ希望イタシマス、四十二議會ニ於キマシテ私ハ鐵道ニ對シテ質問ヲ提出致シマシタ、デ其要領ハ何デアルカト云フト、鐵道ハ鐵道省ト云フモノニシテ、而シテ專任大臣ヲ置クト云フコトヲ申シマシタ、其際ハ其理由ハ何デアルカト云フト、院内ノ統一ヲ期セヨ、輸送力ヲ十分ニセヨ、調査ヲ完全ニセヨト云フ此三要件ヲ申上ゲマシタ、デ爾來鐵道院ハ其方針ニ依ツテ果シテ能ク履行サレテ居リマスノデアルカ、院内ノ統一ト云フコトハ、是ハ言フマデモナク事務ヲ進行サレル上ニ於テ最モ必要ナルモノデ、ソレガ群雄割據ノ如ク個々別々ニナッテ居ルト云フコトハ、洵ニ充分ノ發展ヲ期スル上ニ付テ、甚ダ遺憾デアルカラ此點ニ付ケ、注意シテ下サイト云フコトヲ申上ゲマシタコトガゴザイマス、ソレデ茲ニ甚ダ遺憾ナノハ鐵道院前總裁ノ見エナイノハ甚ダ遺憾デアリマスガ、サウ云フヤウナコトヲ申上ゲ、爾來是等ニ付テ充分其邊ハ心ニ期シテ我ノ意ヲ容レラレタコトト信ジテ居リマス、ソレデ或人ハ私ニ斯ウ云フコトヲ言ヒマシタ、今回ハ鐵道省モ出來、專任大臣ガ出來、君ノ理想ガ通ツタラウ、非常ニ愉快ジヤナイカト云フヤウナコトヲ私ノ所ニ態々書面ヲ寄越シタ者ガアリマス、併シソレガ私ハマタ分ラヌ、未ダ新大臣ノ果シテ如何ナル抱負ヲ有ツテ居ルカ、ソレサヘ分ラナイノデアルカラ、院ガ一省ニナッテ專任大臣ガ出來タカラ、ソレデ私ハ満足スルト云フコトハ言ヘナイ、願ハクバ元田大臣ハ如何ナル抱負ヲ有ト欲シタノデアリマス、併ナガラ未ダ其手腕ヲ振ハヌ内ニ……見ナイ中ニ之シテ居ルカ、ドウ云フ即チ經歷ヲ持ツテ居ルカラト云フコトヲバ非常ニ聞カムヘシタノデアリマス、併ナガラ未ダ其手腕ヲ振ハヌ内ニ……見ナイ中ニ之ヲ批評スルノハ甚ダ早計デゴザイマスカラ、私ハ是ハ申上ゲマセヌデ、暫ラク大臣ノ爲ス所ヲ見ムト欲スルノデゴザイマス、ソレデ一言茲ニ質問ヲセムト欲スルノハ、敷設法中改正案、此前回ノト此本回ノト對比シテ見ルト餘り違ヒハナイ、是ハ尤モ前ノ案ヲ踏襲シタカラサウデアルト、斯ウ言ヘバソレマ

ルモノデ、アリマスガ、元田大臣ハ果シテ充分ノ精査ヲ遂ゲラレマシタカ、或ハ前ノヲ唯ダ鵜呑ミニシタノデハナイカト云フ、斯ウ云フ私ハ觀念ガ起ルノデ、マサカニ大臣ハサウ云フ氣遣ヒハゴザイマスマイガ、ドウモサウ云フ觀念ガ何トナクドウモ胸ノ中ニ起ルノデアリマス、ソレヲ一つ御聽キ致シマス、ソドウカ冷靜ニ御聽キ下サイマスコトヲ不公平ヲシナイト云フシテ専任大臣ガ苟モ大臣トシテ政事ヲ行フニハ、サウ云フ不公正ヲシナイト云フコトハ必ズ信ジテ居リマス、而シテ此敷設法中ニモサウ云フ意味ハナイト云フコトヲ信ジテハ居リマスケレドモ、先刻施政ノ方針トカ云フヤウナコトデシヨット御論及ガアリマシタガ、其事ニ付テ思ヒマスル、新大臣ハ此際其邊ニ付テ明カニ意思ノアル所ヲ、簡單デ宜イノデアルカラ御明言ヲ願ツテ置キタイノデアリマス、又詳細ナル外ノコトハ重複ニナリマスカラシテ、私ハ此要點デ止メテ置キマス、宜シク御説明ヲ願ヒマス

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) 矢口君ヨリノ御尋ニ對シテ御答ヘヲ申上ゲマス、第一ニ閱歷抱負トカ云フコトノ御尋ネデゴザイマシタガ、是ハ御間ニナッタノカナラヌノ力能ク分リマセヌガ、私ハ御承知ノ通リニ何等申上ゲル程ノ閱歷ハ無イモノデアリマス、抱負ハ既ニ鐵道省ニ拜命ヲ致シタノデ、今日マデ辭職セズニ居ルノデアリマスカラ多少持ツテ居リマス、併シ今日ハ此處デ一旦申上ゲテハ皆様ノ御迷惑ニナリマスカラ差控ヘタ方ガ宜シカラウト思ヒマス、今回ノ提案ニ付キマシテ、調査ヲ遂ゲタノデアルカ、前ニ出シテアツタカラ鵜呑ミニシタノデアルカト云フ御尋デ、是ハ先刻提案ノ趣旨ヲ申述ブル時ニ豫メ申上ゲテ置キマシタ、政府ハ曩ニ調査審議ノ上ニ四十二議會ニ本案ヲ提出サレテ居ル、是ハ私一個ノコトニ移リマスガ、不肖拜命致シタ以後ニ於キマシテ更ニ審議調査ヲ遂ゲマシテ、愈々以テ此案ノ至當ナルコトヲ認メテ再び提案ヲ致シマシタ、斯様ニ申上ゲタ積リデアリマス、私ノ此ノ審査ヲ遂ゲル時ニ遺憾ニ思ヒマシタノハ、鐵道會議ニ於キマシテハ全然贊成ヲ受ケテ居ルノデアリマス、衆議院ニ於キマシテモ……唯今何トカ黨本位トカ云フ御尋ガアリマシタガ、衆議院ハ貴族院ト違ヒマシテ、各派ノ黨カラ出テ居ル人ノ居ル所デアリマス、是ガ滿場一致デ何レノ黨派モ非難ナク熱望ヲ以テ迎ヘテ今

回モ決議ニナッタ、前回モ然リデアリマス、サウ云フ經過モアリマスルシ、私ノ取調ベニ依リマスレバ適當ノ提案ナリト云フコトヲ確認致シマシテ提案致シタノデアリマス、是ハ委員會ニ參リマシタナラバ御求メガ假ソニ無イト致シマシテモ、私ハ自ラ進ンデ自己ノ所信ヲ御訴ヘ申ス爲メニ、各線路ニ付テ調査ノ模様ヲ御話致シタイト存ジマス、此所デハ略シマス、ソレカラニハ黨本位ト云フコトノ説ガアルガ、ソンナコトハアルマイト云フサウ云フ少々奇怪ナル御尋ネデアリマスガ、ソレハ新聞等ニイロンナコトガ書イテアリマスガ、断ジテ左様ナコトハゴザイマセヌ、ゴザイマセヌノミナラズ、不肖私ガ當局ニ居ル間ハ、断ジテ斯カルコトハ許サヌト云フ決心デアリマス、併ナガラ内外ニ對スル聲望モ乏シイセノデゴザイマスカラシテ、一般ヲシテ之ヲ禁ゼシムルコトガ出來ルカ出來ナイカ存ジマセヌガ、断ジテ不肖其局ニ當ル間ハ、左様ナル間違タルコトハ決シテ致サヌト云フ決心ヲ有ツテ居リマス、御尋ネデアリマスカラシテ、御答迄ニ申上ゲテ置キマス

〔矢口長右衛門君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 矢口君ハ唯今ノ續キデゴザイマスカ

○矢口長右衛門君 左様デゴザイマス、續キデゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○矢口長右衛門君 唯今ノ御答辯ニ依リマシテ、私ノ問ハムトスル所ハ明瞭イタシマシタ、ドウカ國家ノ爲ニ充分國家本位デ此鐵道ノ爲ニ盡サレムコトヲ御望イタシマス

○中村是公君 此席カラ申上ゲテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○中村是公君 私ハ此問題ニ付テ御質問ノ必要ハナカッタノデアリマスガ、先頃湯淺君ニ對シテ當局大臣ノ御辯明ヲ聽イテ、已ムヲ得ズ茲ニ一言御尋ネラセニヤナラヌコトニナッタノデアリマス、ソレハドウ云フコトデアルカト申シマスルト、湯淺君ノ御問ニ輕便鐵道ハ如何ナルモノデアルカ、斯ウ云フ御尋ニ對シテ大臣ノ御答辯ニ依リマスレハ、結局ノ所ハ鐵道デハアルガ、敷設法ニ依ル鐵道デハナインデアル、斯ウ云フ御答辯デアリマス、果シテ輕便鐵道ヲ鐵道デアリ、敷設法ニ依ラザルモノナリト、斯ウ致シマスレバ、苟クモ行政行爲ニ於テ、法規ニ依ラザルモノハアルマイト思フ、如何ナル法規ニ依テ輕便鐵道ト云フモノヲ御認メニナルノデアルカ、又輕便鐵道ノ營業ハ何ノ

規定ニ依テ營業ナサルノデアルカ、又之ヲ建設イタシマスルノニハ、如何ナル法規ニ依ツテ御建設ニナルノデアリマスカ、又敷設法ニ所謂鐵道ニアラズ、併ナガラ鐵道デアル、斯ウ致シマスルト云フト、其輕便鐵道ト云フ本體ハ如何ナル規定ノ下ニアリマスルノデアリマスカ、私ノ見ル所ニ依レバ、輕便鐵道ト云フモノヲ認メタ法規ハ何等承知シナインデアリマス、又輕便鐵道ヲ營業致スベキ營業法ト云フモノモ見マセヌ、又輕便鐵道ヲ建設スベキ建設規定ト云フモノモ承知シテ居ラヌ、カルガ故ニ私ノ惑ヒヲ解イテ戴ク爲ニ、輕便鐵道ハ何ノ規定ニアルノデアルカ、又何ノ規定ニ依ツテ建設スルノデアルカ、反對ニ御尋ネラシテ見タイノデアリマス、輕便鐵道ヲ建設スルノ費用ニ相當スルモノヲ以テ、敷設法ニ依ツテ掲ゲテアル線路ハ建設ハ出來ナイノデアルカ、本線ヲ敷設スル費用ニ制限ガアリマスヤ否ヤ、私ノ記憶スル所ニ依レバ、建設條規ト云フモノハアル、併ナガラ是ノ經費ニ付テノ制限ノアルコトヲ嘗テ承知イタサヌノデアリマス、カルガ故ニ反對ニ御尋ネシタイ、輕便鐵道ト同様ノ費用ヲ以テ本線ヲ建設シタナラバ、法規ニ違反スルヤ否ヤ、此點ニ付テ御答ヲ得タイノデアリマス、最後ニ御尋ネラ致シタイノハ、慣例ニ依ツテ斯ウ云フ御話デアル、其慣例ト云フモノハ如何ナル慣例デアルカ、之ヲ伺ヒタイ、私モ慣例ニ依ツテヤルノデアルト云フコトヲ否認スル者デハナイ、輕便鐵道ハ從來ヤッテ居ルコトハ認メマス、認メマスルガ慣例ト云フモノハ如何ナル慣例ガ、今日迄貴族院衆議院ガ認メテ居ルカト云フコトヲ御尋ネシタイノデアル、私ノ承知イタシマスル所ニ依リマスレバ、今日迄ノ慣例ハ今御尋ネシタヤウナ經費ノ安イノヲ以テ、此輕便鐵道ト見テ居ルト云フ慣例デハナカラウト思フ、所謂線路ヲ法律ニ掲ゲテ、線路毎ニ議會ノ協賛ヲ經ナイト云フノ例外ヲ認メテ來タノデアル、苟モ帝國ニ必要ノ鐵道ハ、我ガ日本帝國ノ鐵道敷設ノ大原則ト云フモノハ、各線路ノ名ヲ掲ゲテ議會ノ協賛ヲ經ナケレバナラヌト云フコトハ、先刻湯淺君ノ御述ベノ通リデアリマス、是ニ對シテハ事業ノ一時ノ便宜ノ處置トシテ、線路毎ニ議會ノ協賛ヲ經ザル

コトヲ得ルト云フ慣例ガ出來タノデアル、是モ私ハ認メルノデアル、是ハ必ズシモ私ハ不當ノ慣例デナイト思ヒマス、殆ド十年ニ垂ントスル間、線路別ニ議會ノ協贊ヲ經ザル慣例ヲ作ツタノデアリマス、所謂不文法トナツテ居ルノデアル、カルガ故ニ私ハ線路毎ニ舉ゲテナナイガ故ニ法規違反デアリ、所謂不文法ニ反スル、慣例ニ反スルモノデアルト云フコトハ申上グヌ、慣例ト云フモノハ、啻ニ線路ヲ明記シナイト云フコトノ例外ヲ設ケタト云フノミガ慣例デハナイノデアル、是ニ伴フニ金額ノ範圍ニ於テ自ラ慣例ガアルノデアリマス、是ハ又金額ノ範圍ニ付テ議會ガ大凡ノ程度ヲ認メテ置カナケレバナラヌト云フコトハ當然ノ話デアル、金額ノ例外ヲ苟モ認メタ以上ニ、大事ノ金額ニ付テ制限ヲ設ケズ、無制限ニ慣例ヲ作ルト云フコトハナイ筈デアリマス、ソコガ段々法律ヲ犯シテ行ク本ニナル、即チ是迄認メタ金額ノ範圍ニ付テ申上ゲマスレバ、八年度迄ノ決算ヲ見マスルト、唯今湯淺君ガ申述ベラレタ通りニ、二千百万圓、輕便鐵道ハ……之ニ對スル本線ノ決算額ハ幾ラアルカト申シマスト二億五千百万圓デアリマス、約十倍以上ノモノガ本線ニナツテ居ツテ、十分ノ一位ニシカ金額ニ於テ慣例ヲ認メテ居ラナイ、八年度迄ノ決算額ヲ見レバ……左モアルベキ筈デアル、ナゼカト申シマスレバ本線ニ掲ゲテアルモノハ二億五千ナンボハ各線路別ニ法律ニ舉ゲテアル、サウシテ各線路毎ニ豫算ヲ計上シテ議會ノ協贊ヲ經ルノデアル、然ルニ拘ハラズ其法律ニ規定シテアル除外例ナルモノニ、ソレ以上ノ金額ノ範圍ヲ認メルト云フコトハ道理ニ於テアルベカラザルコトデアル、ソレデ今日迄ノ慣例ニ依リマスレバ、稍々私ハ當ヲ得テ居ル十分ノ一位ハ行政廳ノ手心ヲ許ス爲ニ其金額ノ範圍ヲ議會ハ認メテ來タ、然ルニ今回御提出ニナツテ居リマスル案ニ依リマスルト、一躍一億五千三百万ト云フモノガ御提出ニナツテ居ル、約十年ニ垂ントスルノニ二千百万ニ對シテ、何倍ニナツテ居ルノデアル、而カモ積リ積ツテ十年間ノ金額ガサウダ、サウシテ本線ニ計上サレタモノハ如何デアリマスカト云フト、一億五千何百万ノ半數ニモ足ルカ足ラヌノ金額ガ掲ゲテアル、サウスレバ鐵道ヲ敷設スルノニ、線路別ヲ舉ゲテ議會ノ協贊ヲ經ロト云フ原則ノ方倍ト云フ數ニ上ルノデアリマス、斯ノ如キ範圍ヲ認メルト云フコトハ、金額ニ於テサウ云フ雁大ナル範圍ヲ許スト云フコトハ、從來ノ慣例デハナイト私ハ思フ、線路別ニ付テ舉ゲテ行クト云フ精神カラ申シマスレバ、必ズヤ金額

ノ上ニモ自ラ制限ガナクテハナラヌ、又慣例モサウナツテ居リマス故ニ、此點ニ付テハ慣例ニ私ハ違反スルモノデアル、即チ慣例ヲ無視シ、法律ヲ段々鑑食シテ行クト云フ事柄ニナルト云フコトハ疑ヒナイヤウニ思フノデアリマス、此點ニ付テハ私ハ別ニ伺フ必要モ認メナカツタノデアリマスケレドモ、再三ノ御問答ヲ聽キマスルト、私ノ理解シテ居ルコトヲ裏切ラレルヤウニナリマスノデ、已ムヲ得ズ茲ニ一言當大臣ノ御答辯ヲ煩ハシタイノデアリマス

〔國務大臣元田肇君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(元田肇君) 唯今輕便鐵道ヲ敷設スル所ノ慣例ノ根據トモナルベキ所ノ法則ハ何レニアリヤト云フ、第一ノ御尋デアツタカト存ジマス、ドウ云フ根據ニ依ルカト云フコト、第二經費支辨ノ安キガ爲ト云フコトデナイト云フ御説明ガアリマシタ末、第三ニ移リマシテ、慣例ト云フモノハ單リ線路ノ建築方法ヤ何カデハナイ、金高マデモ慣例ト云フコトニハ認メナケレバナラヌ、是マデノ慣例ナルモノハ金高ハ小サイ、除外例トモ取ルベキモノデアルガ、今度ノハ金高ガ多イカラ以前ノ例ハ例トナラヌト云フ御主張ノヤウデアリマス、中村君ハ豫テ當局ニ御出デニナリマシテ、親シク鐵道ニ御從事ノ御方デアリマスカラ、極メテ此邊ノコトニハ明ルクアラセラル、コト、確信イタシマス、私ハ唯今ノ二問ニ付テ必ズシモ御意見ニ承服スル譯デハアリマセヌガ、先刻湯淺君ノ御尋ニ對シマシテ、速記錄ヲ見タ上デ尙ホ自己ノ意見ト云フモノニ合ハヌト云フコトガアリ、又足ラザル所ガアリ、御疑惑ヲ來スヤウナコトガアレバ其時ニ補充イタシタイト云フコトヲ願ツテ置キマシタ、御答辯カラシテ更ニ問ハナケレバナラヌコトデアリマスルナラバ、其時ニ御答ヘスルコトニドウカ御許シヲ得タイト思ヒマス、ソレカラ一番仕舞ヒノ慣例ニ依ルト云フノハ經費マデモ認メナケレバナラヌ、本則ノ除外例トナルモノハ、是マデアル自分モソレハ惡イトハ思ツテ居ラヌ、認メル、認メルガソレハ除外例デアル、除外例ト云フモノナラバ本則ニ依ルモノト云フモノガ、例ヘバ十ナラバ、除外例ノモノハ一カ零「コムマ」五倍ノモノナラバ除外例ト言ハレルケレドモ、是カ大キクナツテ來レバ、決シテ先例ト云フモノヲ以テ言見ヲ取ツテ居ルト云フ御言葉デアリマス、御意見ノアル所ハ私ハ辯駁ヲ加ヘルト云フコトハ此場合ニ於テ慎シムベキコト、存ジマスルガ、是モ私ハ全然左様ニハ申サレマセヌト思フノデ、私ノ答辯ノ趣旨ハ大體理論ヲ唱ヘテ論争

ヲシ合フト云フコトデアリマスナラバ、幾多モ理論ハアルデアリマセウガ、

先刻來私ハ理論ニ馳セタコトハ成ルベク避ケテ御了解ヲ願ヒタイト思ツテ、御答ヘイタシタ積リデアリマスガ不辯ノ爲ニ意思ヲ徹底スルコトガ出來ナカッタカ知レマセヌ、先例ニ唯金高ガ少ナイカラシテ、除外例ハ宜シトイト云フノミガ徹底スル譯デハアルマイト思フ、線路ヲ定メテ敷キマスル所ノ其經費ガ

少ナイ多イト云フノミガ除外例ニナル、ナラレヌ、慣例ニナル、ナラレヌト云フコトヲ決スルコトデハナカラウ、サウシテ經費ハ多少殖エマシテモ、其線路ノ實質上ガ同ジ輕便式ノモノデアル先例ガアリマスルナラバ、以前ノガ

百万圓デ濟ンダノデアル、今度ノハ一千万圓ダケ數ガ殖エテ掛ルカラ、先例ニ供スルコトハ出來ナイトイト云フ御議論ハ、私ハ甚だ是ハ適當ナ御見解デアル

ヤ否ヤ、ドウモ容易ク承服ハシ兼ネルノデアリマス、併シ御意見ハ御意見デアリマスカラ、唯是ダケヲ申上ゲテ置キマス、餘リ金高ガ多イカラ是ハモット仕方ガナカツタカト云フ御趣意カラ起ルノデアラウト思ヒマス、成ル程少ナイ

ノデアッタナラバ御満足デアリマセウ、併ナガラ金高ガ少シ大キクナツタカラト言ツテ、直チニ慣例デモ以前ノハ慣例ニナラヌ或ハ中村サンハ、仰セラレ

ナカツタカ存ジマセヌガ、法規違反ニナルガ如キ見解ハ決シテ起ツテ來ナイヤウニ存ジマス、尙ホ此邊ノコトニ付テハ先般四十二議會ノ時ニ於テ、殊ニ中村君ヨリ委員會ノ殆ド全週間ニ亘リマシテ、御質問ガ精シク盡サレテ居ルコトデアリマスカラ、ソレ等ノ邊モ能ク熟讀イタシテ、今回取調ベラスルニ付キマシテ一回ヤ二回ハ熟讀イタシマシタガ、今日悉ク記憶モ致シテ居リマセヌカラ、御趣意ノアリマス所ハ今日ノ御質問ノミデハゴザイマセヌ、篤ト取調べマシテ前二問ニ對スルト共ニ、次回ニデモ御答ヘイタスコトニ致シタイト思ヒマス、是モドウカ左様ニ御了承ヲ願フコトヲ冀ヒマス

○中村是公君 何ダカ御話ニナツタヤウデアリマスガ、金額ノ範圍ニ付テ御辯明ガアツタヤウデアリマスルガ、マダ能ク了解イタシマセヌノデアリマス、ガ、其他三點御尋ネシタイコトハ一切御答ヘハ……是ハ後日御答ヘ下サイマスカ、又今ノ最後ニ御尋ネシタ事柄ニ付テモ能ク了解ヲシナイノデアリマスカラ、是モ亦後日ノ機會ニ於テ承ハルコトヲ得ルモノト承知イタシマシテ、

今日ハ是デ私ハ止メマス

○議長（公爵德川家達君） 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔岡書記官朗讀〕

鐵道敷設法中改正法律案特別委員

子爵酒井 忠亮君 子爵新庄 直知君 平井晴二郎君
男爵古市 公威君 男爵岩倉 道俱君 男爵辻 太郎君

石黒五十二君 山之内 一次君 麻生太吉君

○議長（公爵德川家達君） 日程第七、大正九年勅令第百七十一號承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議付候也

大正九年勅令第百七十一號

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正九年七月十日

衆議院議長奥繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

右帝國憲法第八條第二項ニ依リ承諾ヲ求ムル爲
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正九年七月一日

大正九年勅令第百七十一號

内閣總理大臣 原 敬

海軍大臣 加藤友三郎

外務大臣 子爵内田 康哉

大藏大臣 男爵高橋 是清

陸軍大臣 田中 義一

農商務大臣 山本 達雄

内務大臣 床次竹二郎

文部大臣 中橋徳五郎

遞信大臣 野田卯太郎

鐵道大臣 元田 靖

司法大臣 伯爵大木 達吉

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約ニ依ル財產處理ニ關スル件ヲ裁

可シ之ヲ公布セシム

御名　御璽

大正九年五月二十六日

内閣總理大臣　原敬

海軍大臣　加藤友三郎

外務大臣　子爵内田康哉

大藏大臣　男爵高橋是清

陸軍大臣　田中義一

農商務大臣　山本達雄

内務大臣　床次竹二郎

文部大臣　中橋徳五郎

遞信大臣　野田卯太郎

鐵道大臣　元田肇吉

司法大臣　伯爵大木遠吉

勅令第百七十一號

第一條 獨逸國又ハ其ノ國人若ハ法人ニ屬スル政府管理財產ヲ以テ同盟及

聯合國ト獨逸國トノ平和條約第二百九十七條ニ規定スル支拂ニ充ツルハ

本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 前條ノ政府管理財產ノ上ニ存スル抵當權、質權其ノ他ノ擔保權ヲ

實行セムトスルトキハ其ノ擔保權者ハ第三條乃至第六條ノ規定ニ依リテ

之ヲ爲スヘシ

第三條 前條ノ擔保權者ハ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ其ノ擔保權ヲ特殊財

產管理局ニ届出ツヘシ

前項ノ規定ニ依ル届出ニハ擔保權ノ性質及原因並債權ノ額ヲ表示シ且證

據書類又ハ其ノ謄本ヲ提出スヘシ

第四條 前條ニ規定スル期間ヲ經過シタル後届出ヲ爲シタル擔保權者ハ擔

保權ノ目的タリシ財產ノ殘餘價額ノ限度ニ於テノミ政府管理財產ニ付擔

保權ヲ實行スルコトヲ得

第五條 第二條ノ擔保權ハ辨濟期ニ至ラサル債權、條件附債權又ハ存續期

間ノ不確定ナル債權ニ付テモ之ヲ實行スルコトヲ得

條件附債權又ハ存續期間ノ不確定ナル債權ニ付テハ擔保權ノ實行ハ特殊

權利審查會ニ於テ選任シタル鑑定人ノ評價額ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ

第六條 特殊財產管理局ハ届出アリタル擔保權ノ目的タル管理財產ノ賣却代金ノ中ヨリ管理ノ費用ヲ控除シ其ノ残金ヲ以テ其ノ擔保權者及之ニ優先スル權利ヲ有スル者ニ民法其ノ他ノ法令ノ規定ニ依ル順位ニ從ヒテ支

拂ヲ爲スヘシ

第七條 第一條ニ規定スル支拂ヲ受ケムトスル者ハ本令施行ノ日ヨリ六月内ニ其ノ權利ニ付特殊權利審查會ニ審査ヲ請求スヘシ

特殊權利審查會ハ宥恕スヘキ事由アリト認ムルトキハ前項ニ規定スル期間滿了後ニ於テモ仍審査ノ請求ヲ受理スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ラサル審査ノ請求ハ前二項ノ規程ニ依ル請求者ニ對シ支拂ヲ爲シ仍政府管理財產ニ殘餘アリト認ムル場合ニ限り支拂ヲ爲スコトヲ

トヲ條件トシテ之ヲ受理スルコトヲ得

特殊權利審查會前三項ノ規定ニ依リ審査ノ請求ヲ受理シタルトキハ其ノ

特殊權利審查會ニ對スル支拂ノ請求ト請求スヘシ

第八條 賠償請求ノ目的ヲ財產回収ニ依リ達セムトスル者ハ本令施行ノ日ヨリ五月内ニ其ノ希望ヲ表示シ其ノ權利ニ付特殊權利審查會ニ審査ヲ請求スヘシ

第九條 第七條ニ規定スル審査ノ請求ハ時效ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

第十條 特殊權利審查會審査ノ爲必要ト認ムルトキハ證人又ハ鑑定人ノ訊問其ノ他ノ證據調ヲ爲スコトヲ得

前項ノ證據調ハ裁判所其ノ他ノ官廳ニ囑託シテ之ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ證據調ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第十一條 特殊權利審查會ノ組織及審査ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 特殊權利審查會ハ賠償請求ニ關スル審査ノ請求ヲ理由ナシト認ムル場合ヲ除クノ外同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約ニ依リ事件ヲ管轄スル機關ニ其ノ事件ヲ送付スヘシ

第十三條 第八條ノ規定ニ依ル財產回収ノ希望ノ表示アリタル場合ニ於テ

ハ前條ニ規定スル手續ハ其ノ回收行ハレタルトキ、回收不能ト認メタル

トキ又ハ一部ニ付回收行ハレ他ノ部分ニ付回收不能ト認メタルトキ之ヲ

爲スヘシ

第十四條 特殊權利審査會カ金錢債權ニ關スル審査ノ請求ニ付爲シタル決定ニ不服アル者ハ其ノ決定告知ノ日ヨリ起算シ三月内ニ通常裁判所ニ訴ヲ提起スルコトヲ得

第十五條 内地ニ住居ヲ有セサル者ニ對スル前條ノ訴ハ政府管理財產ノ所在地ノ裁判所ニ之ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ政府管理財產ノ所在地ハ東京市トス

第十六條 朝鮮、臺灣、樺太、關東州及從前ノ占領地ニ存スル政府管理財產ハ特殊財產管理局之ヲ管理ス

第十七條 第一條ニ規定スル支拂ハ本令ニ規定スル手續ニ從ヒ確定シタル金額ニ依リ特殊財產管理局之ヲ爲ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣伯爵大木遠吉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵大木遠吉君) 唯今日程ニ上リマシタ、大正九年勅令第百七十一號ノ此緊急勅令ノ事後承諾ヲ求ムル件ニ付キマシテ一應申上ゲマス、本件ハ同盟國及び聯合國ト獨逸國トノ平和條約ノ實施ニ伴ヒマシテ、獨逸國又ハ其個人又ハ法人ニ屬スル所ノ政府……此帝國政府ノ管理財產ヲ以テ帝國臣民ノ持チマシタ所ノ賠償請求權ノ支拂ニ充當スル手續ヲ速カニ開始スルノ必要ガアルノデアリマス、又帝國臣民ノ財產回収ノ希望表示ノ期限、之ニ關シテノ條約上ノ規定ニ順應セナケレバナラヌ、適應セネバナラヌ、此必要ガアリマスガ爲メニ曩キニ緊急勅令ヲ發セラレタ次第アリマス、然ルニ此緊急勅令ハ將來尙其效力ヲ保タナケレバナラヌ、誠ニ帝國臣民ノ利害ニ關スル事ガ重大デアリマスカラ、茲ニ於キマシテ帝國議會ノ御承諾ヲ求メタイ、斯様ナ譯デ提案セラレタ次第アリマス、何卒此緊急勅令ニ對シテハ、ドウゾ御承諾ヲ與ヘラレムコトヲ希望スルノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔岡書記官朗讀〕

大正九年勅令第百七十一號承諾ヲ求ムル件特別委員

伯爵奥平昌恭君 子爵板倉勝憲君 男爵千秋季隆君
男爵中島久萬吉君 倉知鐵吉君 木場貞長君

○議長(公爵德川家達君) 日程第八、大正九年勅令第四十八號承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議付候也

大正九年勅令第四十八號

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及付候也

大正九年七月十日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長奥繁三郎

大正九年勅令第四十八號

右帝國憲法第八條第二項ニ依リ承諾ヲ求ムル爲

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正九年七月三日

内閣總理大臣 原敬

海軍大臣 加藤友三郎

外務大臣 子爵内田康哉

大藏大臣 男爵高橋是清

陸軍大臣 田中義一

農商務大臣 山本達雄

内務大臣 床次竹二郎

文部大臣 中橋徳五郎

遞信大臣 野田卯太郎

鐵道大臣 元田肇

司法大臣 伯爵大木遠吉

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ獨逸國等ニ屬ル財產管理ノ件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

大正九年三月二十四日

内閣總理大臣 兼司法大臣 原敬

海軍大臣 加藤友三郎

ニ存在ス此ノ場合ニ於テハ其ノ代金ハ別ニ之ヲ保管スヘシ

外務大臣 子爵内田 康哉

第九條 第一條ノ國、國人又ハ法人ハ其ノ者ニ屬スル管理財產ニ關シ處分
其ノ他ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ス

大藏大臣 男爵高橋 是清

第十條 管理財產ハ管理ニ依リテ生シタル權利ニ基ク場合ヲ除クノ外民事
上ノ強制執行又ハ競賣ヲ爲スコトヲ得ス

陸軍大臣 田中 義一

第十一條 財產ノ管理ニ要スル費用ハ本人ニ屬スル管理財產ヲ以テ之ヲ支
辨スルコトヲ得

農商務大臣 山本 達雄

第十二條 財產ノ管理ヲ免ルルノ目的ヲ以テ財產ノ隠匿、處分、毀棄ヲ爲
シ若ハ爲サムトスル行爲アリタル者又ハ情ヲ知リテ其ノ處分ヲ受諾シタ
ル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二條 政府ハ前條ノ財產ノ所有者、保管者其ノ他關係者ニ對シ其ノ財產
ノ所在、種類、數量、價額、權利狀態其ノ他管理ニ必要ナル事項ノ申告
ヲ命スルコトヲ得

第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三月以下ノ懲役若ハ百圓以下ノ罰
金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

第三條 當該官吏又ハ吏員ハ第一條ノ財產ニ關シ調査ノ爲必要ナル場所ニ
立入り若ハ検査ヲ爲シ又ハ其ノ財產ノ所有者、保管者其ノ他關係者ニ對
シ調査資料ノ提供ヲ命シ若ハ供述ヲ求ムルコトヲ得

第一條ノ規定ニ依リ命セラレタル申告ヲ爲サヌ又ハ虛偽ノ申告ヲ爲
シタル者

第四條 第一條ノ財產ノ管理ハ當該官廳ノ管理命令ヲ以テ之ヲ開始ス
管理命令ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示ス

第五條 當該官廳ハ管理財產ニシテ登記又ハ登錄ノ規定アルモノニ付テハ
管理財產タル旨ノ登記又ハ登錄ヲ關係ノ官廳其ノ他ニ囑託又ハ請求スヘ
シ

第六條 前二項ノ規定ニ依ル手續ヲ爲スヘキ財產ノ管理ハ登記若ハ登錄又ハ通知スヘ
シ

第七條 前二條ノ規定ハ財產ノ管理ヲ終了スル場合ニ之ヲ準用ス
第七條 當該官廳ハ管理財產ノ所有者又ハ保管者ニ對シ其ノ引渡ヲ命スル
コトヲ得

第八條 管理ニハ財產ノ換價其他ノ處分ヲ包含ス

政府カ擔保權ノ目的タル管理財產ヲ換價シタルトキハ擔保權ハ代金ノ上
出イタサレタノデアリマシタ、所ガ衆議院ニ於テ承諾ノ可決ニナリマシテ、

外務大臣 子爵内田 康哉

○政府委員(小橋一太君) 大正九年勅令四十八號承諾ヲ求メル件ニ付キ理由
ヲ説明申上ダマス、戰時獨逸、奧太利洪牙利、竝ニ土耳其國內ニ於キマシテ、
我ガ帝國政府臣民並ニ法人ガ受ケタル損害、及ビ以上ノ各國政府ノ人民並ニ
法人ニ對シマシテ、我ガ帝國政府ガ有スル……帝國政府並ニ臣民ガ有スル債
權ハ、我ガ帝國內ニ存在スル所ノ以上各國政府、人民竝ニ法人ガ有スル財產中
ヨリ保證ヲ受クル情勢デアリマシタカラ、大正八年勅令三百四號ヲ以チマシテ財產管理ノ勅
令ヲ公布セラレマシタ次第アリマス、而シテ其ノ勅令ハ尙ホ其ノ效力ヲ存
續セシメル必要アリマシタガ故ニ、第四十二帝國議會ニ其承諾ヲ求ムベク提

アルニ非サレハ之ヲ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第六條 前二條ノ規定ハ財產ノ管理ヲ終了スル場合ニ之ヲ準用ス
第七條 當該官廳ハ管理財產ノ所有者又ハ保管者ニ對シ其ノ引渡ヲ命スル
コトヲ得

第八條 管理ニハ財產ノ換價其他ノ處分ヲ包含ス

政府カ擔保權ノ目的タル管理財產ヲ換價シタルトキハ擔保權ハ代金ノ上
出イタサレタノデアリマシタ、所ガ衆議院ニ於テ承諾ノ可決ニナリマシテ、

貴族院ニ於キマシテ特別委員會ノ議ニ付セラレマシテ、特別委員會ノ議決ヲ經タル儘デ解散ニナリマシタ結果、遂ニ勅令三百四號ハ承諾ヲ得ルニ至ラナカッタノデアリマス、ソレデ政府ニ於キマシテハ大正九年勅令四十八號ヲ以テ、其勅令ノ將來ニ效力ナキコトヲ公布イタシマスルト同時ニ、更ニ本勅令案ヲ憲法第八條第一項ニ依リマシテ、管理ノ必要上勅令ヲ公布シタ次第デアリマス、而シテ尙ホ本勅令ハ財產ノ管理上將來效力ヲ存續セシムル必要アリマスガ故ニ、憲法第八條第二項ニ依リマシテ、帝國議會ノ承諾ヲ求ムベク、提出イタシマシタル次第デアリマス、故ニ何卒御承諾アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際議長ハ御諮リヲ致シタキコトガゴザイマス、日程第八ノ議案ハ前ノ大正九年勅令第百七十一號承諾ヲ求ムル件、此委員ニ付託シタイト考ヘマス、御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第九、明治二十九年法律第十三號中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告

明治二十九年法律第十三號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月十日

右特別委員長

伯爵林 博太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵林博太郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵林博太郎君 明治二十九年法律第十三號中改正法律案特別委員會ノ経過ヲ御報告イタシマス、此法律案ハ從來官立學校ノ教職員ニ對シマシテ、恩給遺族扶助料退隱料等ノ規定ヲ定メタノデゴザイマス、教育機關ノ擴充ニ伴ヒマシテ、今回地方團體立ノ公立諸學校、高等女學校、專門學校、實業學校等ガ出來マスコトニ相成リマシテ、且大學令、高等學校令ノ發布ニ基キマシテ、地方政府立ノ大學高等學校ノ出來ルヤウナ氣運ニ向ツタノデアリマス、デ、此十三號法律ハ唯今申上ゲマスル通り官立ノ諸學校ノ職員ノ恩給扶助料等ニ關

シテ居リマシタノデアリマスガ、此學校機關ノ擴充ト共ニ公立學校ノ教職員ニマデ之ヲ均霑スルノ必要ガ起ツタノデゴザイマシテ、改正案ヲ提出セラレタ次第デアリマス、デ唯今ノ八年度ニ於ケル豫算ニ於テナシマスルノニ依リマスト云フト、學校職員ノ退隱料ニ付キマシテハ、即チ施行豫算ニ於キマシテ、六十六万圓之ニ對シテ大正九年度ノ追加豫算四十五万圓デ、學校教員ノ遣族扶助料ニ付キマシテハ五万六千九百八圓、之ニ對シマシテ此度九年度ノ追加豫算トシマシテ、三万三千四百二十七圓ヲ加ヘラゴザイマス、デ結局全體ヲ綜合シテ見マスルト云フト、約百二十萬圓ト云フコトニ相成リマス、デ此ニ於テ新ラシキ高等學校其他地方團體立ノモノガ、漸次増加スルト云フコトニ付テハ、是等ノ金額ヲ以テ充分ナリヤ否ヤト云フコトニ付テ、特別委員會ハ審議ヲ致シマシタ、デ實況ヲ見マスルト云フト、現在ノ所、公立ノ大學ハ大阪ノ醫科大學、愛知ノ醫科大學ノニツニ止マッテ居リマス、公立高等學校ニ至リマシテハ、將來是ハ出來ヤウトスル氣運ハアリマスルケレドモ、未ダ唯今マデニ於テ設立シテナイノデゴザイマス、依リテ是等ハ極ク少數ノモノト見マスルカラシテ、大體ニ於テ豫算ニ不十分ナル點ハナイト云フコトニ考ヘマス、尙ホ官吏ニ於テハ此度增俸ガ本俸トナッテ從ツテ其恩給、扶助料、退隱料等ニ於テモ、相當ニ生活費ニ於テ潤澤ニナル筈デアルガ、御承知ノ如ク學校ノ職員、並ニ之ニ相當スルモノハ、元來官吏ニ比較シマスルト云フト、薄遇ニ在ルモノデアル、ソレ等ニ付テノ均霑ノ方法ハ當局ニ於テ考ヘタノデアルカト云フ質問ニ對シマシテ、當局ハソレハ出來ルダケ審議ヲ致シテ、官吏ノ增俸ガ本俸トナッテ、之ニ對スル扶助料、退隱料等ヲ設置スル時ニ、之ニ均霑スル額ト同ジ時ニ於テ、學校職員ニ對シテモ出來ルダケ均霑スル方法ヲ講ズルト云フコトヲ明言サレテ居リマス、此ニ於テ特別委員會ハ、是ハ必然的ニ起ル問題デアツテ、官立ノ學校ノミニ對スル法律案ニ、公立ノ教員ノ扶助料等ヲ加ヘルト云フコトハ、當然ノコトデアルト認メマシテ、二回委員會ヲ開會イタシマシテ、其結果全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ次第デゴザイマス、デ御承知ノ通リ、當然然ルベキ點マデ歸著スル案デアリマスルカラシテ、何卒讀會省略ヲ以テ速ニ可決アラムコトヲ希望イタス次第デアリマス、之ヲ以テ特別委員會ノ報告ヲ終リマス

○子爵野村益三君 讀會省略賛成

○子爵西大路吉光君 讀會省略賛成

○男爵阪井重季君 賛成

○侯爵細川護立君 賛成

○伯爵松平頼壽君 賛成

○子爵池田政時君 賛成

○伯爵万里小路通房君 賛成

○子爵大給近孝君 賛成

○鈴木總兵衛君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 林伯爵ノ讀會省略ノ動議ニ、同意ノ諸君ノ起立ヲ
請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、本案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ
立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス、明十三日ハ休會ヲ致シマス、
明後十四日ハ午前十時ヨリ開會イタシマス、議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通
知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會

午後三時五分散會

大正九年七月十二日